

桑名市
生涯学習推進計画策定のための
アンケート調査報告書

平成 28 年3月
桑名市

一 目 次

I	調査の概要.....	1
	1. 調査の目的.....	2
	2. 調査項目.....	2
	3. 調査設計.....	2
	4. 回収結果.....	3
	5. 報告書の見方.....	3
II	結果の総括.....	5
	市民アンケート.....	6
	施設利用者アンケート.....	10
III	集計結果（市民アンケート）.....	13
	回答者の属性.....	14
	1. 生涯学習の活動について.....	17
	2. 桑名市の生涯学習関連施設について.....	25
	3. 桑名市の生涯学習施策について.....	31
	4. 生涯学習の成果について.....	36
	5. 生涯学習についての地域・学校・家庭の連携.....	47
	6. 青少年健全育成を推進するための市の取組み.....	49
	7. その他の回答・自由回答.....	51
IV	集計結果（施設利用者アンケート）.....	55
	回答者の属性.....	56
	1. 桑名市の生涯学習関連施設について.....	59
	2. 生涯学習の成果について.....	62
	3. その他の回答・自由回答.....	66

I 調査の概要

1. 調査の目的

桑名市では、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」あらゆる機会に学習でき、文化・スポーツに親しみ、心豊かな生活を送れることをめざして「生涯学習推進計画」を策定しています。

本調査は、平成 22 年 10 月策定の「生涯学習推進計画」に関して、市民の意識や認知度を把握するとともに、環境整備・支援・事業推進の進捗を知ること、また、市民の生涯学習観、学習成果の生かし方の実態を知ること、平成 29 年度からスタートする次期計画を策定するための資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査項目

<市民アンケート>

- 1 あなたの生涯学習の活動について
- 2 桑名市の生涯学習関連施設について
- 3 桑名市の生涯学習施策について
- 4 生涯学習の成果について
- 5 生涯学習についての地域・学校・家庭の連携について
- 6 青少年健全育成を推進するための市の取組みについて
- 7 あなた自身について

<施設利用者アンケート>

- 1 桑名市の生涯学習関連施設について
- 2 生涯学習の成果について
- 3 あなた自身について

3. 調査設計

■調査地域：桑名市全域

■市民向けアンケート

- ・調査対象：桑名市内に住む 20 歳以上の方から 3,000 名を無作為抽出
- ・調査方法：郵送調査／調査票による本人記入方式
- ・調査期間：平成 27 年 9 月 19 日（土）～10 月 10 日（土）（投函〆切）

■施設利用者向けアンケート

- ・調査対象：桑名市内の生涯学習関連の 34 施設*の利用者
- ・調査票の配布数：34 施設に合計 2,000 枚
- ・調査方法：利用者へ手渡し、（一部）留め置き調査／調査票による本人記入方式
- ・調査期間：平成 27 年 9 月 28 日（月）～10 月 26 日（月）

＊施設利用者アンケートを実施した施設

中央公民館、日進公民館、精義公民館、立教公民館、城東公民館、益世公民館、修徳公民館、大成公民館、大和公民館、桑部公民館、在良公民館、七和公民館、久米公民館、深谷公民館、城南公民館、大山田公民館、多度公民館、長島公民館、長島北部分館、長島伊曾島分館、大山田コミュニティプラザ、スター21、陽だまりの丘複合施設「ぽかぽか」、中央図書館、ふるさと多度文学館、長島輪中図書館、長島ふれあい学習館、市民会館、六華苑、博物館、総合運動公園、桑名市体育館、多度体育センター、長島B＆G海洋センター

4. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
市民アンケート	3,000 件	1,369 件	45.6%
施設利用者アンケート	2,000 件	1,332 件	66.6%

5. 報告書の見方

- 回答結果の数値は、特に単位等の表示がない限り、割合「%」を示しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 質問文末尾に記されている「SA」は単一回答の設問、「MA」は複数回答の設問を表しています。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

Ⅱ 結果の総括

1. 調査結果の総括

<市民アンケート>

■回答者の属性（あなた自身について）

回答者の性別は、「男性」が約4割、「女性」が約6割となっており、女性の回答が多くなっています。回答者の年代は「60歳代」が2割を超えて最も高く、次いで「70歳代」、「50歳代」、「40歳代」、「30歳代」の順となっています。「20歳代」の回答者は全体の1割未満ですが、男女比ではほぼ1：1となっています。

住んでいる地区については、「大山田地区」が約17%と、ほかの地区に比べて回答者が多くなっています。

職業については、「会社員、公務員、団体職員」が約3割、「専業主婦・主夫」と「無職」が約2割となっています。

（1）生涯学習の活動について

「生涯学習」という言葉の認知については、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」が約5割、「聞いたことがあり、内容も理解している」は約3割となっています。年代別では、50歳代～70歳代で内容を含めて認知されている割合が高く、20歳代～40歳代で低い傾向が見られます。

この1年間に行った学習については、「健康・スポーツに関すること」をはじめ、「趣味・芸術的なもの」、「職業上必要な知識・技能に関すること」が2割以上と比較的高い割合を示しました。また、「特になし」と「不明・無回答」の合計は4割弱で、裏返せば6割を超える市民がこの1年間に何らかの学習を行っているとも考えられます。一方、今後学習したい内容を同じ選択肢で尋ねたところ、「健康・スポーツに関すること」と「趣味・芸術的なもの」が35%前後とさらに高い割合を示し、「特になし」はわずかでした。生涯学習を十分に行えなかった人の中に、今後学習したいという意味がうかがえます。

この1年間に行った生涯学習の頻度については、『よく行った』（「頻繁に行った」と「よく行った」の合計）が2割強、「時々行った」が2割、『行わなかった』（「ほとんど行わなかった」と「まったく行わなかった」の合計）が約5割となりました。

生涯学習を『よく行った』（「時々行った」も含む）人の活動場所としては、「公民館、コミュニティプラザなど」、「自宅」の割合が高くなっています。また、行う理由については「趣味を楽しんだり、教養を高めたりする」が6割を超えて最も高く、「健康・体力づくり」「家庭・日常生活に生きがいを見出す」「他の人と親睦を深めたり、友人を得たりする」「自由時間を有効に使う」の順になっています。生涯学習を行っている人の多くは、健康で心豊かな生活、人との交流を求めていることがうかがえます。

生涯学習を『行わなかった』人の理由としては、「仕事が忙しくて時間がない」が4割強と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が3割強となっています。年代別にみると、30歳代～50歳代で「仕事が忙しくて時間がない」が5割を超え高い割合を占めています。70歳代、80歳代以上では「特に必要だと感じない」が最も高くなっています。自発的に行う生涯学習活動の障壁になっているのは、時間ときっかけのなさであることがうかがえます。

（２）桑名市の生涯学習関連施設について

最近１年間で利用した市の公共施設については、「特に利用していない」が５割近くと最も高くなっています。また、利用者が最も頻繁に利用した施設では「図書館、公民館図書室」が３割強と最も高くなっています。

施設利用の理由では、「行きやすい場所にある」が４割強で最も高く、次いで「施設が使いやすい」と「関心がある講座、教室、講演会、講習会があった」が高い割合を示しています。回答者の約半数は、この１年に何らかの公共施設を利用しており、行きやすく、使いやすい施設として図書館や公民館が使われていることがうかがえます。

公共施設利用の問題点については、「利用に関する情報が乏しい」「使える時間帯が希望と合わない」「使える日にちや曜日が希望と合わない」がそれぞれ比較的高い割合となっています。「特に問題点はない」は３割近くと最も高くなっています。年代別でみると、「特に問題点はない」と答えているのは６０歳代以上で３割を超え、３０歳代～５０歳代では「使える時間帯が希望と合わない」、「使える日にちや曜日が希望と合わない」を合わせた割合が４割を超えています。

既存の公共施設の老朽化により、多額の維持修繕・更新費用が見込まれる中、一方では、人口減少・少子高齢化による公共施設利用者の需要も変化しており、そのため、市は公共施設の最適な配置や総量の削減をしつつ、必要なサービスの維持が図れるよう取り組んでいます。こうした状況の中で、生涯学習の場を確保していくのに必要なことをアンケートで尋ねたところ、「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」が、２０歳代で３.５割、３０歳代～５０歳代では４割強と高い割合を示しています。また、「地域に密着した場を利用する」が、５０歳代～７０歳代で３割強と高い割合を示しました。年代が高いほど、地域に密着した場を知っている、身近な場所を利用したいという意思がうかがえます。今ある施設の利用時間を増やすなどの有効活用と、寺院や神社、地区集会所など徒歩圏内にある地域に根付いた場の利用についての検討が求められています。

（３）桑名市の生涯学習施策について

生涯学習に関する情報の入手先については、２０歳代を除くすべての年代で「桑名市や三重県の広報紙」が最も高い割合を示し、５０歳代、６０歳代では７割弱、４０歳代で６.５割、３０歳代で６割弱となっています。広報紙を通じた情報発信が有効かつ求められていることがうかがえます。

充実を望む情報については、「桑名市広報紙（『広報くわな』）」が最も高く、次いで「公民館や市などの公共機関が行う講座や催し物についての情報」となっています。平成２１年実施の前回調査と比較すると、上位にあがる項目や割合にあまり変化はなく、広報紙から情報を入手する人の割合の高さと、広報紙を通じた情報発信の充実を求めていることがうかがえます。

市民の生涯学習参加のために行政が力を入れるべきことについては、「公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設などの整備、機能の充実」が最も高くなっています。これは、２０歳代～７０歳代で最も高い割合となっています。次いで「初心者向けの講座や行事などの充実」が約３割となっており、特に、５０歳代、６０歳代で高い割合を示しています。平成２１年実施の前回調査と比較すると、「活動の発表の場や、地域等で生かせる場の提供」が１２.３％→４.７％に、「指導者や学習ボランティアなど支援者を増やすための支援」が１６.６％→５.６％と割合が低くなっています。生涯学習の輪を広げたり、活動成果を生かすことを視野に入れた項目が前回より低下しています。

桑名市の生涯学習事業や広報冊子の認知度については、学習講座の認知度が低く、「知っている」割合が、くわな市民大学は15%、桑名サテライトカレッジは5.6%でした。同様に、発表会などのイベントでは、市民芸術文化祭は約22%、市民展は約24%、市民体育大会は約18%、ニュースポーツの教室・大会は約12%でした。広報冊子については『広報くわな』を「知っている」は約70%、『公民館くわな』は約33%、『あいりす』は約40%でした。

上と同じ生涯学習事業や広報冊子への参加意思を尋ねると、認知度・参加者の低いくわな市民大学と桑名サテライトカレッジについては、参加意思のある人が3割を超えて高い割合を示しています。公民館学級・講座・サークルは、認知度に対して参加したことのある人、参加意思のある人の割合が低くなっています。市民芸術文化祭、市民展、市民体育大会、ニュースポーツの教室・大会は、「知らない」という割合と参加意思のない割合（「関心はない」割合）がほぼ同じでした。事業や広報紙それぞれの認知度や潜在的なニーズに違いがあることを踏まえた広報のあり方、事業の進め方の検討が求められています。

（４）生涯学習の成果について

生涯学習を通して身につけた知識や技能、経験の生かし方についてアンケートで尋ねました。20歳代～60歳代で「自分の人生がより豊かになっている」が、70歳代で「自分の健康を維持・増進している」が、最も高い割合を示しています。その他、20歳代では「仕事や就職の上で生かしている」、30歳代、40歳代では「家庭・日常の生活に生かしている」、50歳代、60歳代では「自分の健康を維持・増進している」が高い割合となっています。一方、「地域や社会での活動に生かしている」は1割にも達せず、生涯学習の成果を地域や社会につなげる意識や活動には至っていないことがうかがえます。

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かすことについては、『生かしたいと思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）が半数以上を占め、特に、20歳代～40歳代では7割以上が『生かしたいと思う』と答えています。『生かしたいと思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計）は2割弱にとどまっています。

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かすにあたっての障壁では、「生かすことができるまでの段階に到達していない」が3割で最も高くなっています。50歳代以下では、「身近で生かせる活動を見つけられない」「どのような活動に生かすことができるのかわからない」も高い割合を占めていることから、仕事以外の地域活動に対して自分の知識や経験を生かしたいという潜在的意思を持つ市民が一定数いることがうかがえます。

生涯学習の成果を生かし参加してみたい活動としては、20歳代～50歳代では、「趣味・芸術的な学習を支援する活動」をはじめ、「健康・スポーツの指導」「地域の子どものための学習やスポーツを支援する活動」「仕事に関係のある学習に関する支援や指導」「地域でのボランティア活動の支援」「子育てや家庭教育を支援する活動」が1割前後～2割と、一定の割合を占めています。また、すべての年代で「特になし・わからない」が最も高くなっています。

関心のある地域の課題については「健康に関すること」が最も高く約4割、次いで「防災・防犯に関すること」が4割弱、「少子高齢化に関すること」、「子育て・家庭教育支援に関すること」、「まちづくり・地域づくりに関すること」が2割前後となっています。

調査からは、幅広い分野に関心を持ち、生涯学習の成果を地域活動に生かすことへ関心のある市民、また、地域の課題について関心を持つ市民が、どの世代にも一定の割合でいることがうかがえます。こうした潜在意識・参加意思を地域づくりへの自発的な参加に生かせるしくみ、それが新たな楽しみになっていくようなモデルづくりが求められています。

この1年間に行ったボランティア活動の内容を尋ねたところ、「特になし」が7割弱を占め

たほかは、「環境緑化、リサイクル活動」が1割を超えもっとも高くなりました。同じ項目で、今後行ってみたいボランティア活動を尋ねたところ、「地域の安全・防犯に関する活動」「環境美化、リサイクル活動」「子育てに関する支援活動」「高齢者や障害者などに関する福祉活動」の順に高い割合を示しました。「特になし」は1割未満でした。

ボランティア活動を活発化させるために必要な取り組みについては、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」が最も高く、次いで「学校において、奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」「ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターを充実させる」の順に高い割合を示しました。ボランティア活動そのものへの潜在的な関心は高く、情報提供の充実やボランティア教育の充実を求めていることがうかがえます。

学習を通してリーダーや指導者を育成するために必要なことでは、「わからない」が約3割、次いで「地域の次代を担うリーダーを集めて、全市で本格的な研修講座を行う」が約2.5割と高い割合となりました。その他、「まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る」、「さまざまな学習グループや、ボランティア団体をつなぐネットワーク組織をつくる」、「活発なグループ・団体への助成制度を設け、活動を促進してリーダーを育成する」が2割前後となっています。単体の活動に止まらず、市の生涯学習全体の充実をめざした視点からの事業、ネットワークづくりが求められています。

（５）生涯学習についての地域・学校・家庭の連携について

〔親の育成〕〔子育ての助け合い〕〔地域の児童・生徒の支援〕に関する7つの事業の認知度については、「中学校職場体験事業」を「知っている」が4割を超え最も高く、次いで「地域子育て支援センター事業」を「知っている」が約2割となっています。一方、「中学校職場体験事業」以外は「知らない」の割合が「知っている」を上回って最も高く、十分に認知されていないことがうかがえます。親の育成を目的とした事業や子育ての助け合いを目的とした事業については、対象の年代への認知を広げていくことが必要です。また、地域の児童・生徒の支援を目的とした事業については、年代を問わず広く周知させていくことが必要です。

地域の教育力向上のために力を入れるべきことについては、「子どもの安全を地域住民と学校で守る」が4割を超え最も高く、次いで「放課後や週末の子どもの居場所づくりを地域住民が支援する」が約3割となっています。学校と家庭、地域住民の連携推進を必要だと考える市民が、一定の高い割合でいることがうかがえます。

（６）青少年健全育成を推進するための市の取り組みについて

青少年（概ね中学生～高校生）の健全育成を目的とした3つの事業の認知については、「青少年補導活動」を『知っている』（「知っている」と「聞いたことはある」の合計）と「知らない」の割合がほぼ1：1となっています。また、「非行防止のための街頭啓発活動」と「青少年相談」は、「知らない」が5割を超えています。

青少年に対する生涯学習施策として力を入れるべきことでは、「地域におけるイベントへの参加や清掃などのボランティア活動の促進」が約4割と最も高く、次いで「企業や自治体などにおける職場体験の充実」、「障害者福祉施設や高齢者福祉施設などにおける体験学習の充実」が約3割となっています。

実施している事業の認知を広げ、地域で青少年を見守る意識や環境づくりを促進しつつ、青少年に学校以外の学びの場（経験、出会いの機会）を提供することが求められています。

<施設利用者アンケート>

■回答者の属性（あなたご自身について）

回答者の性別は、「男性」が2割弱、「女性」が8割弱となっており、女性の回答が多くなっています。回答者の年代は「60歳代」と「70歳代」がそれぞれ3割前後と高く、60歳代以上で全体の約7割を占めています。回答数の少ない「10歳代」「20歳代」でのみ、男女比がほぼ1：1となっています。

住んでいる地区については、「大山田地区」の施設利用者が約2割となっており、ほかの地区に比べて回答が多くなっています。

職業については、「専業主婦・主夫」が約4割で最も高く、次いで「無職」が2割強、「パート・アルバイト」が1割強となっています。

（１）桑名市の生涯学習関連施設について

アンケートを手にした場所については、「公民館」が6割を超え、すべての年代で最も高くなっています。10歳代では「公民館」と同じ割合で「体育館、総合運動公園、多度体育センター、長島B&G海洋センター」が、20歳代では「公民館」と同じ割合で「図書館」となっています。

アンケートを手にした施設への希望や要望では、「誰でも気軽に参加できるような講座や行事、イベントを増やす」が4割を超え最も高く、次いで「現状のままでかまわない」と「学習・スポーツについての情報のより詳細な提供」が2割強となっています。

市民アンケートと同様、市が公共施設の最適な配置や総量の削減をしつつ、必要なサービスの維持が図れるよう取り組んでいる状況の中で、生涯学習の場を確保していくのに必要なことをアンケートで尋ねたところ、「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」が4割弱と最も高く、次いで「地域に密着した場を利用する」が3.5割、「小・中学校の利用機会を増やす」が2割強となっており、市民向けアンケートとほぼ同様の傾向が見られました。

（２）生涯学習の成果について

市民アンケートと同様、生涯学習を通して身につけた知識や技能、経験の生かし方についてアンケートで尋ねました。「自分の人生がより豊かになっている」が7割弱で最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」、「家庭・日常の生活に生かしている」の順となっています。市民アンケートでは割合の低かった「地域や社会での活動に生かしている」は2割近くありました。また、「生かしていない」は2%強（市民アンケートでは10%強）となっています。

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かすことについては、『生かしたいと思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）が6割強を占め、『生かしたいと思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計）が2割にとどまっています。

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かすにあたっての障壁については、「生かすことができるまでの段階に到達していない」が4割を超えて最も高くなっています。30歳代では、「どのような活動に生かすことができるのかかわからない」の割合が高くなっています。

生涯学習の成果を生かし参加してみたい活動としては、「趣味・芸術的な学習を支援する活動」が3割を超えて最も高く、10歳代～70歳代のいずれの年代でも最も高い割合を示しました。次いで「特になし、わからない」と「地域でのボランティア活動の支援」が2割を超えています。

調査からは、幅広い分野に関心を持ち、生涯学習の成果を地域活動に生かしたいという参加意識を持つ市民が一定割合いることがうかがえます。市民アンケートの結果と比較すると、より生涯学習への積極的な意識が表れています。

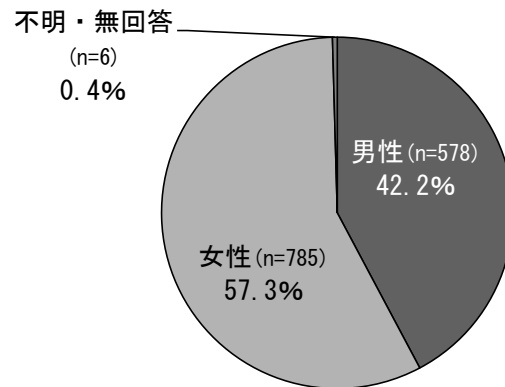
Ⅲ 集計結果(市民アンケート)

回答者の属性

■ F 1 あなたの性別を教えてください。(S A)

回答者の性別は、「男性」が 42.2%、「女性」が 57.3%となっており、女性の方が多くなっています。

N=1,369

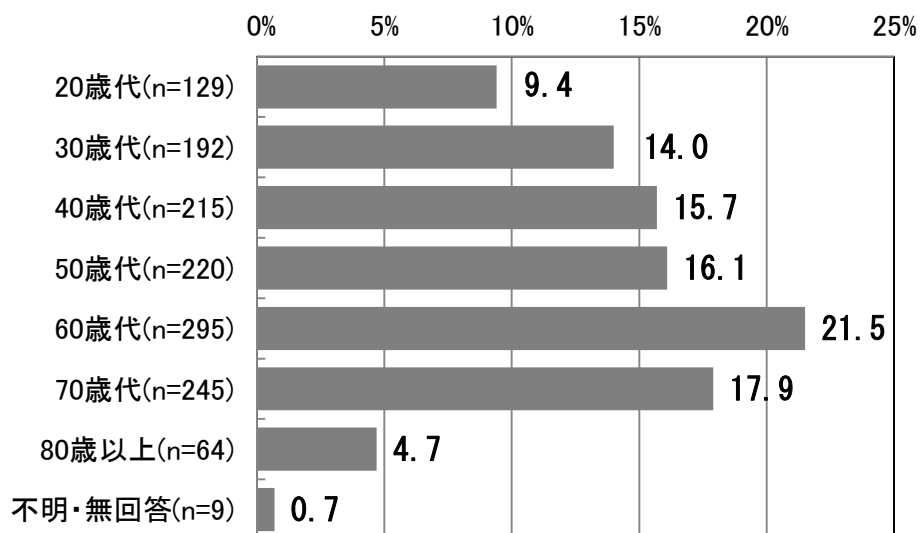


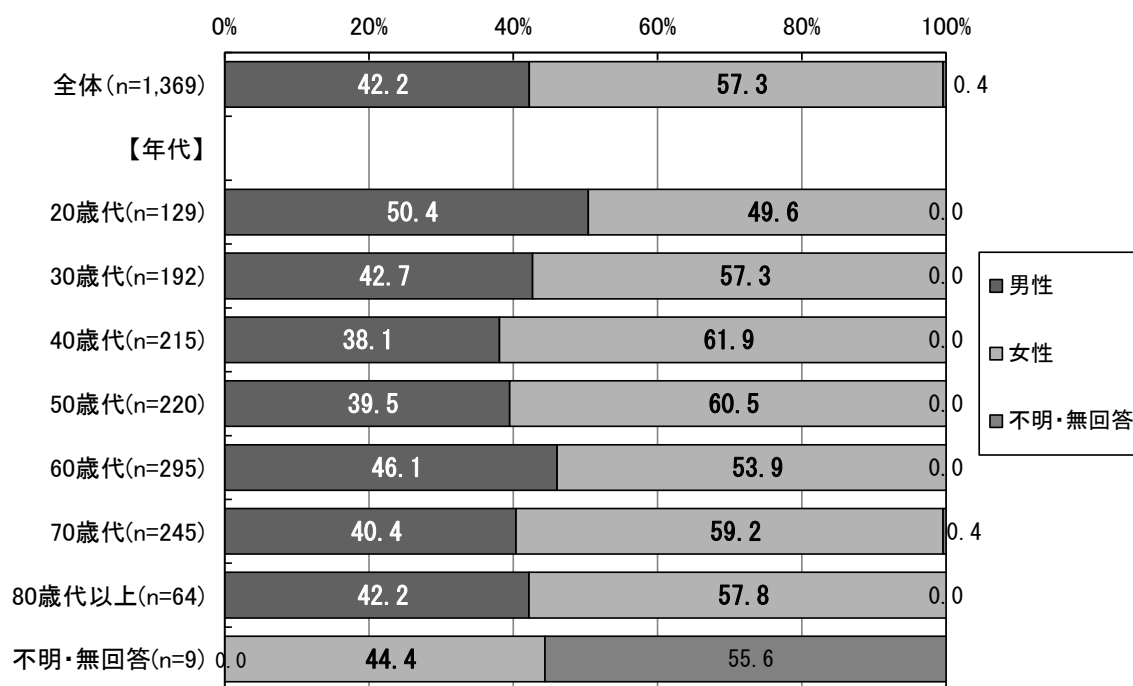
■ F 2 あなたの年代はどれですか。(S A)

年齢については、「60 歳代」が 21.5%で最も高く、次いで「70 歳代」の 17.9%、「50 歳代」の 16.1%の順となっています。

性別でみると、「20 歳代」と「60 歳代」を除き、男性・女性の比率が全体とほぼ同じ 4：6 となっています。

N=1,369

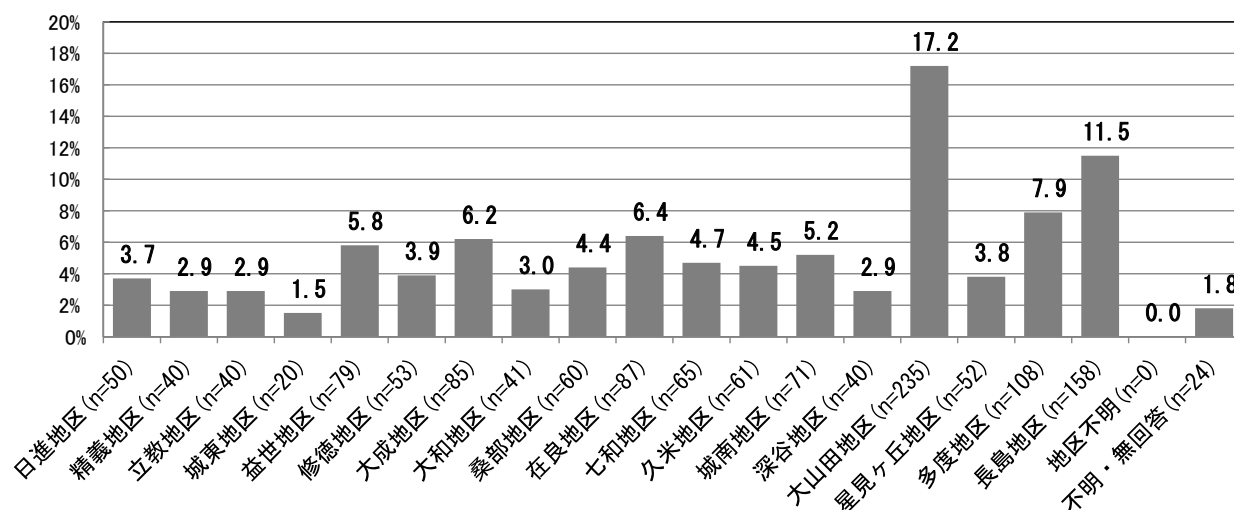




■ F 3 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(S A)

住んでいる地区については、「大山田地区」が17.2%と最も高く、次いで「長島地区」が11.5%、「多度地区」が7.9%となっています。

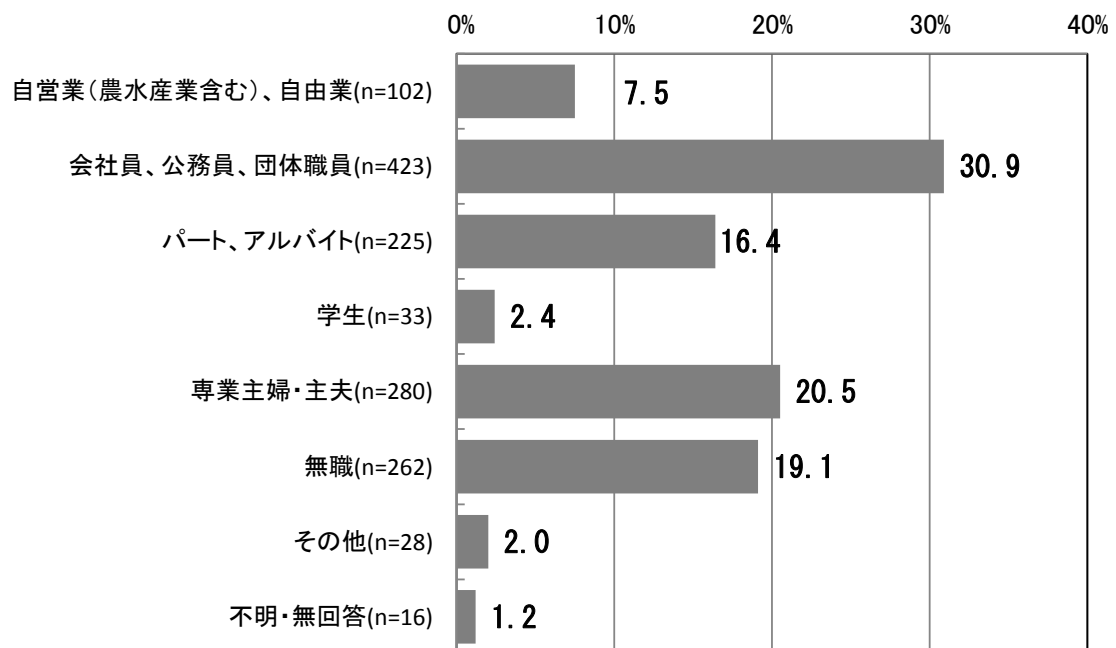
N=1,369



■ F 4 あなたのご職業は次のどれですか。(S A)

回答者の職業をみると、「会社員、公務員、団体職員」が30.9%で最も高く、次いで「専業主婦・主夫」が20.5%、「無職」が19.1%となっています。

N=1,369

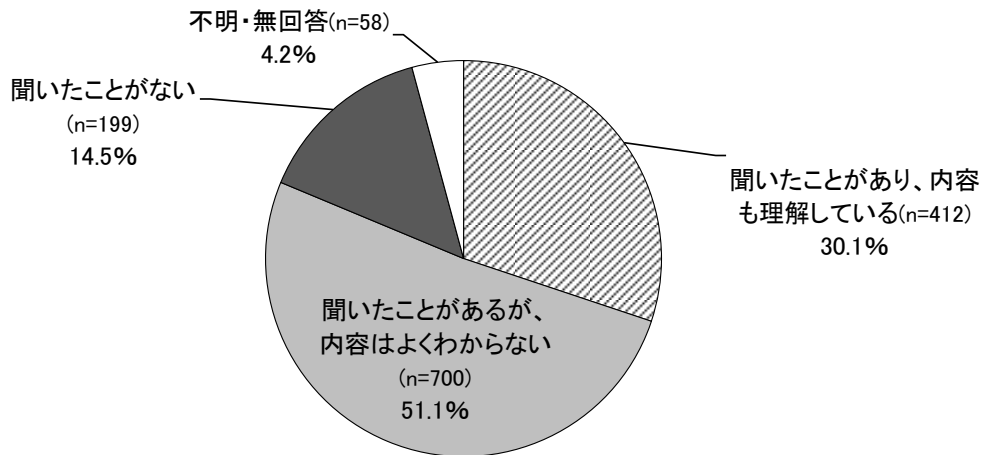


1. 生涯学習の活動について

■問1 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(SA)

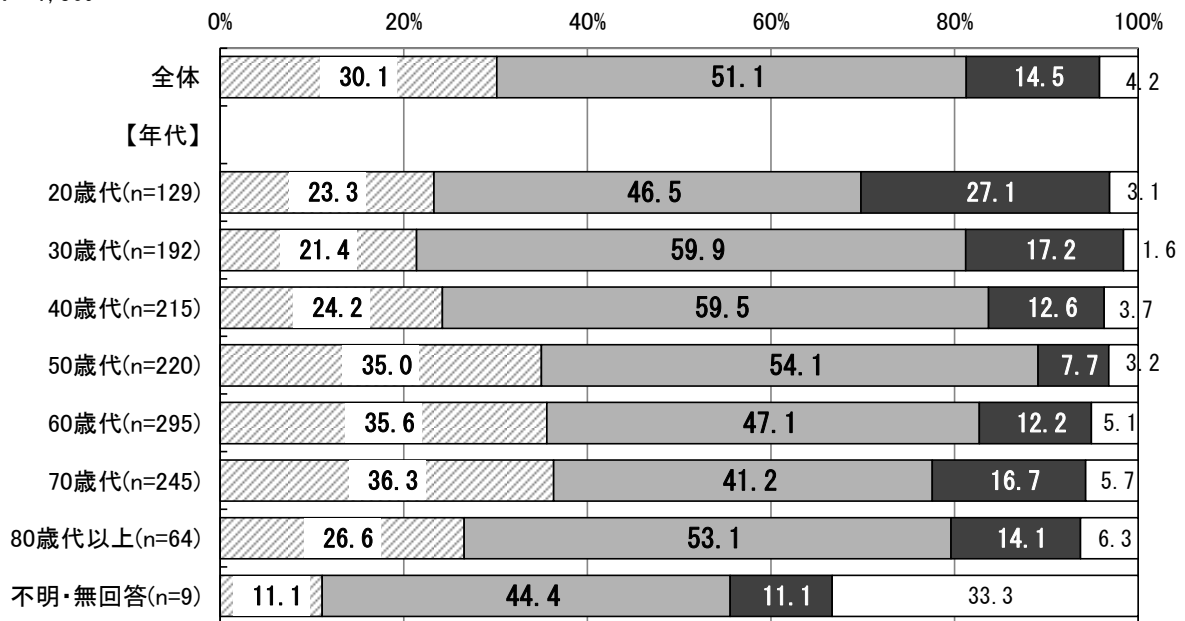
「生涯学習」という言葉の認知については、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が半数以上の 51.1%と最も高く、「聞いたことがあり、内容も理解している」は、30.1%となっています。また、「聞いたことがない」は、14.5%となっています。

N=1,369



年代別でみると、30歳代と40歳代で、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が6割弱と高くなっています。50歳代～70歳代で「聞いたことがあり、内容も理解している」が全体より高く35%を超える一方、50歳代では「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が5割以上となっています。

N=1,369



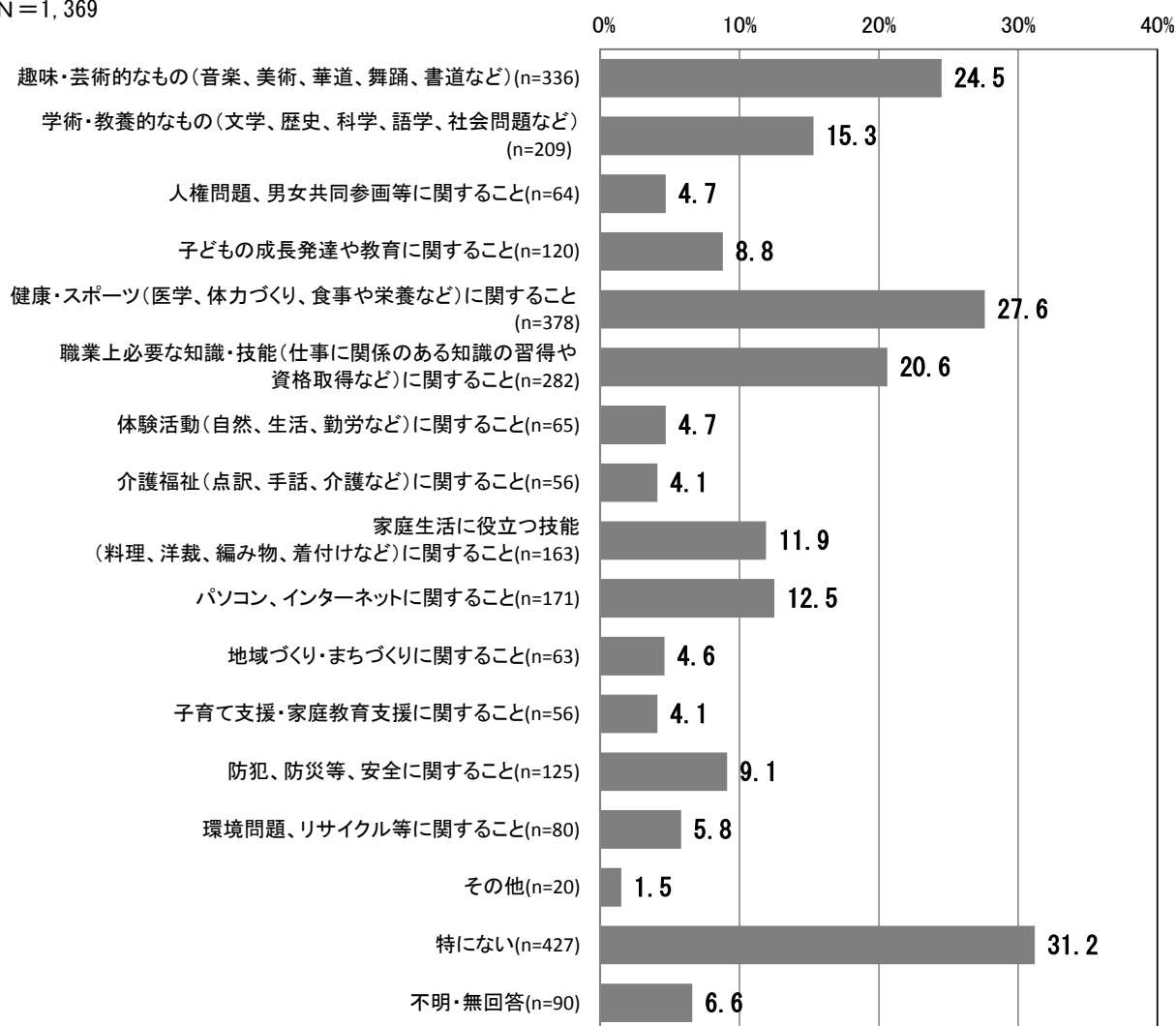
☐ 聞いたことがあり、内容も理解している ☐ 聞いたことがあるが、内容はよくわからない
☒ 聞いたことがない ☐ 不明・無回答

■問 2（１） あなたは、この１年間にどのような内容の学習をしましたか。（MA）

この１年間に行った学習では、「特にない」が31.2%と最も高く、次いで「健康・スポーツに関すること」が27.6%、「趣味・芸術的なもの」が24.5%となっています。

同じ選択肢で行った前回調査とほぼ同じ傾向、割合を示していますが、「職業上必要な知識・技能に関すること」は11.6%から20.6%へと2倍近くとなっています。

N=1,369



【比較】 H. 21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	趣味的なもの	27.6	273
2	教養的なもの	14.2	141
3	人権問題、男女共同参画等に関すること	4.9	49
4	子供の成長発達や教育に関すること	9.2	91
5	健康・スポーツに関すること	25.4	251
6	職業上必要な知識・技能に関すること	11.6	115
7	体験活動に関すること	2.5	25
8	介護福祉に関すること	3.5	35
9	家庭生活に役立つ技能に関すること	8.4	83
10	パソコン、インターネットに関すること	8.5	84
11	地域づくり・まちづくりに関すること	3.2	32
12	子育て支援・家庭教育支援に関すること	4.5	45
13	防犯、防災等、安全に関すること	6.7	66
14	環境問題、リサイクル等に関すること	5.9	58
15	その他	1.4	14
16	特にない	29.9	296
17	無記入	4.9	49
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

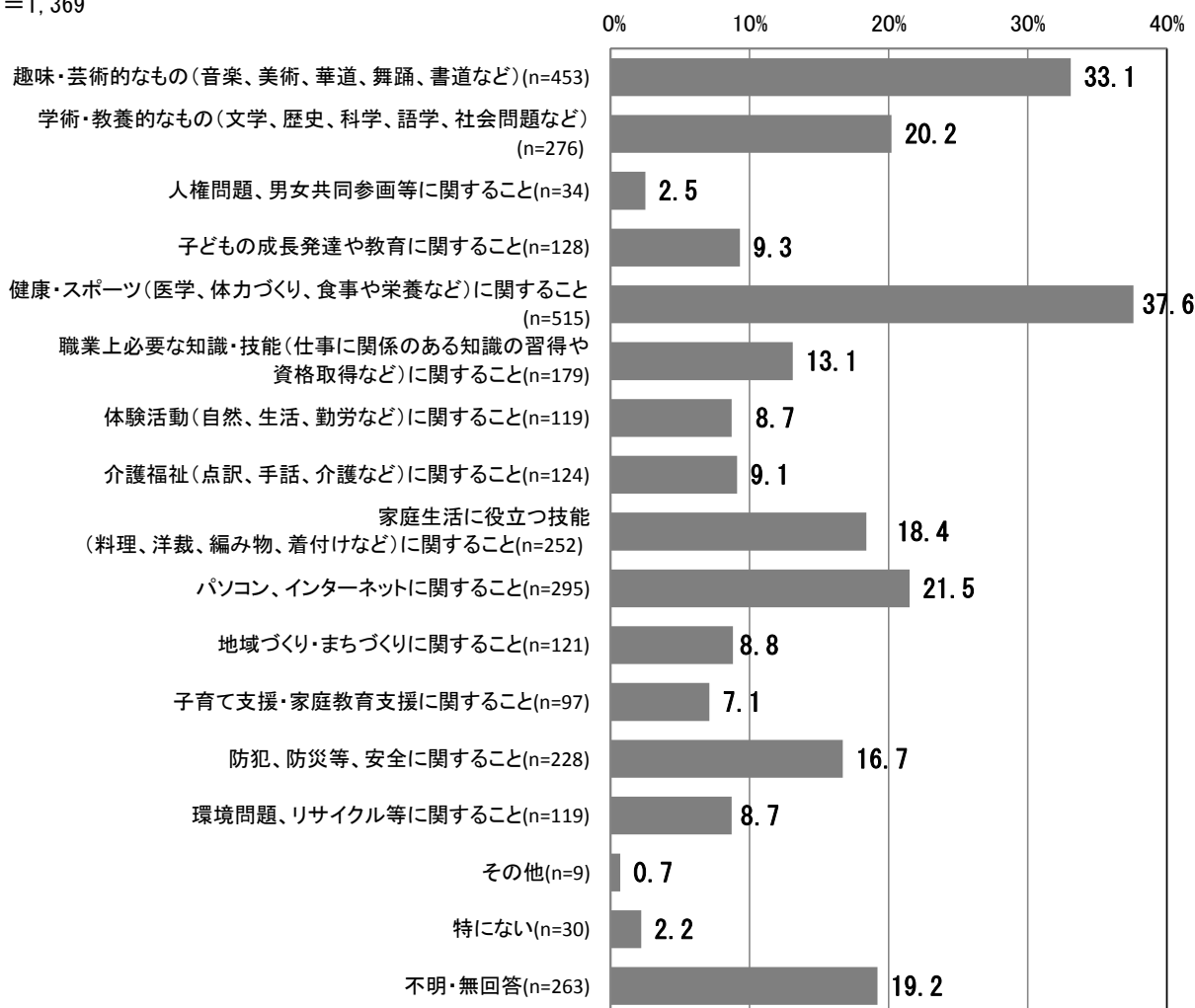
■問 2 (2) 今後学習したいと思う内容（継続を含む）を3つまで選んでください。
(MA)

今後してみたい学習では、「健康・スポーツに関すること」が37.6%と最も高く、次いで「趣味・芸術的なもの」が33.1%となっています。

年代別では、50歳代以上で「健康・スポーツに関すること」が、20歳代～40歳代で「趣味・芸術的なもの」が高くなっています。

H.21 調査でも「健康・スポーツに関すること」が32.1%と最も高く、次いで「趣味・芸術的なもの」が28.4%でした。

N=1,369



【比較】 H. 21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	趣味的なもの	28.4	281
2	教養的なもの	18.9	187
3	人権問題、男女共同参画等に関すること	1.7	17
4	子供の成長発達や教育に関すること	7.6	75
5	健康・スポーツに関すること	32.1	318
6	職業上必要な知識・技能に関すること	11.1	110
7	体験活動に関すること	6.4	63
8	介護福祉に関すること	7.9	78
9	家庭生活に役立つ技能に関すること	14.2	141
10	パソコン、インターネットに関すること	14.0	139
11	地域づくり・まちづくりに関すること	5.6	55
12	子育て支援・家庭教育支援に関すること	5.8	57
13	防犯、防災等、安全に関すること	12.5	124
14	環境問題、リサイクル等に関すること	10.1	100
15	その他	0.4	4
16	特にない	0.4	4
17	無記入	33.3	330
	サンプル数 (%ベース)	100.0	990

(単位: %)

	趣味・芸術的なもの	学術・教養的なもの	人権等に関するもの	子どもの成長発達や教育に関するもの	健康・スポーツに関するもの	職業上必要な知識・技能に関するもの	体験活動に関するもの	介護福祉に関するもの	家庭生活に役立つ技能に関するもの	パソコン、インターネットに関するもの	地域づくり・まちづくりに関するもの	子育て支援・家庭教育支援に関するもの	防犯、防災等、安全に関するもの	環境問題、リサイクル等に関するもの	その他	特になし	不明・無回答
全体 (N=1369)	33.1	20.2	2.5	9.3	37.6	13.1	8.7	9.1	18.4	21.5	8.8	7.1	16.7	8.7	0.7	2.2	19.2
【年代】																	
20歳代 (N=129)	40.3	23.3	2.3	14.7	33.3	31.8	14.0	3.9	22.5	14.7	11.6	11.6	11.6	8.5	-	2.3	8.5
30歳代 (N=192)	30.7	16.1	2.6	27.1	29.2	25.5	8.3	8.3	21.9	20.8	5.7	21.4	11.5	3.6	-	2.6	12.0
40歳代 (N=215)	40.0	26.5	2.3	14.0	39.5	22.3	10.2	9.3	22.8	24.2	5.6	6.0	14.9	8.8	0.9	0.9	9.8
50歳代 (N=220)	40.9	23.2	3.6	4.5	43.6	11.8	9.5	10.5	19.1	28.6	8.2	5.0	20.0	9.1	0.5	2.3	11.8
60歳代 (N=295)	31.5	21.4	3.4	2.4	43.1	3.1	10.5	9.5	16.3	23.7	12.5	4.1	23.7	10.5	0.7	2.4	19.7
70歳代 (N=245)	24.5	14.3	1.2	2.4	38.0	2.0	4.5	9.4	15.1	18.8	11.0	2.0	14.7	11.0	0.8	1.6	35.1
80歳代以上 (N=64)	17.2	12.5	-	1.6	20.3	-	-	12.5	6.3	7.8	1.6	-	12.5	6.3	1.6	4.7	53.1
不明 (N=9)	22.2	11.1	-	33.3	22.2	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1	44.4

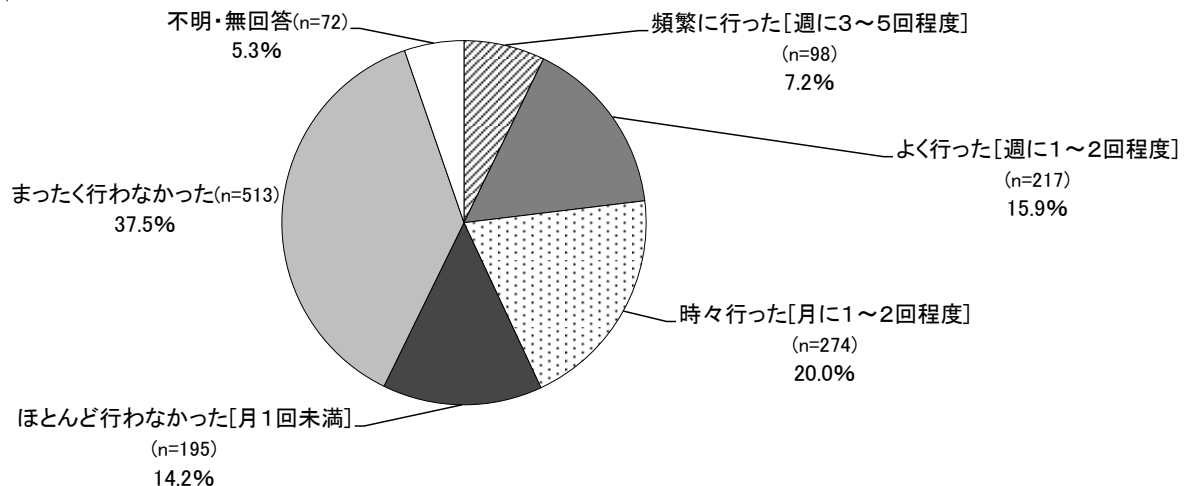
■問3 あなたは、この1年間に生涯学習をどの程度行いましたか。(SA)

この1年間に行った学習頻度については、『よく行った』(「頻繁に行った(週に3～5回程度)」と「よく行った(週に1～2回程度)」の合計)が23.1%となっています。また、『行わなかった』(「ほとんど行わなかった(月1回未満)」と「まったく行わなかった」)の合計)が51.7%となっています。

年代別でみると、20歳代で『よく行った』が最も高く、36.4%となっています。30歳代～50歳代と80代以上では、『行わなかった』が5割を超えています。

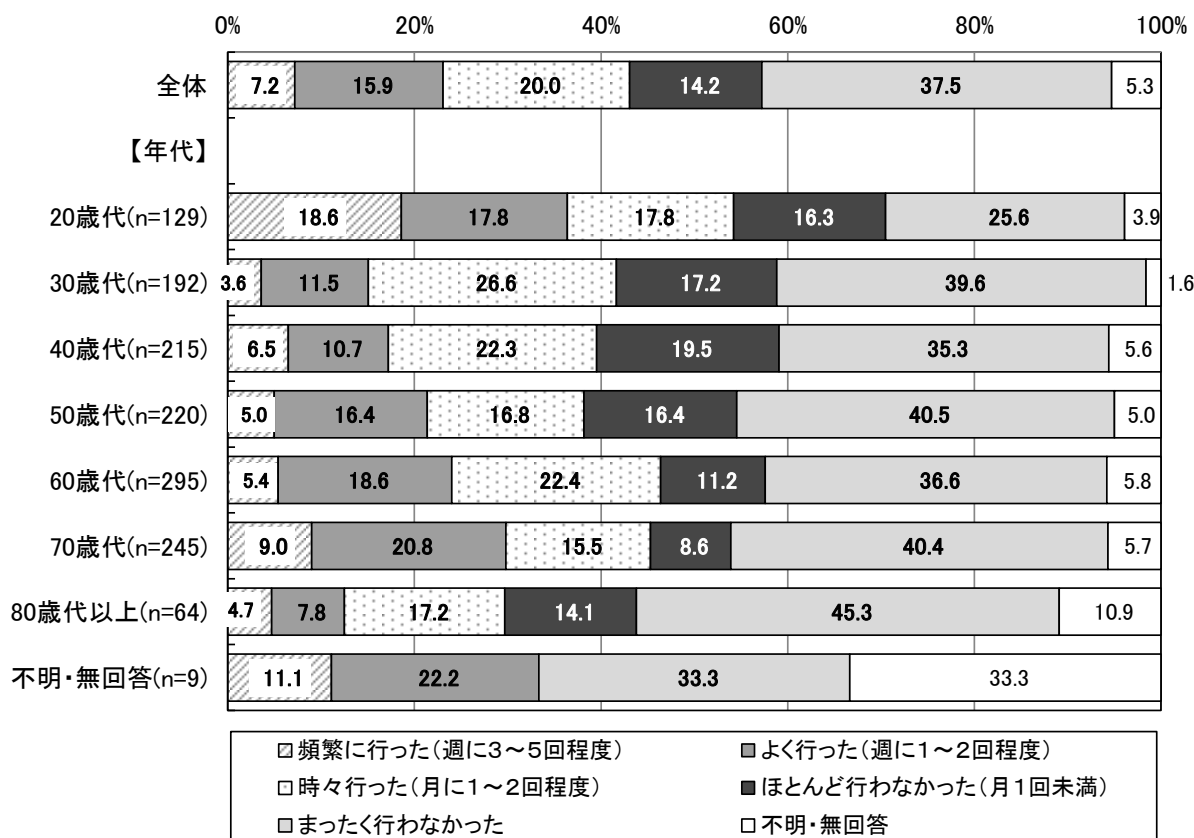
H.21調査と比べると、『よく行った』では19.6%から23.1%へと3.5%増え、『行わなかった』では61.0%から51.7%へと9.3%減っています。

N=1,369



【比較】H. 21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	頻繁に行った	4.3	43
2	よく行った	15.3	151
3	時々行った	17.1	169
4	ほとんど行わなかった	13.1	130
5	全く行わなかった	47.9	474
6	無記入	2.3	23
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

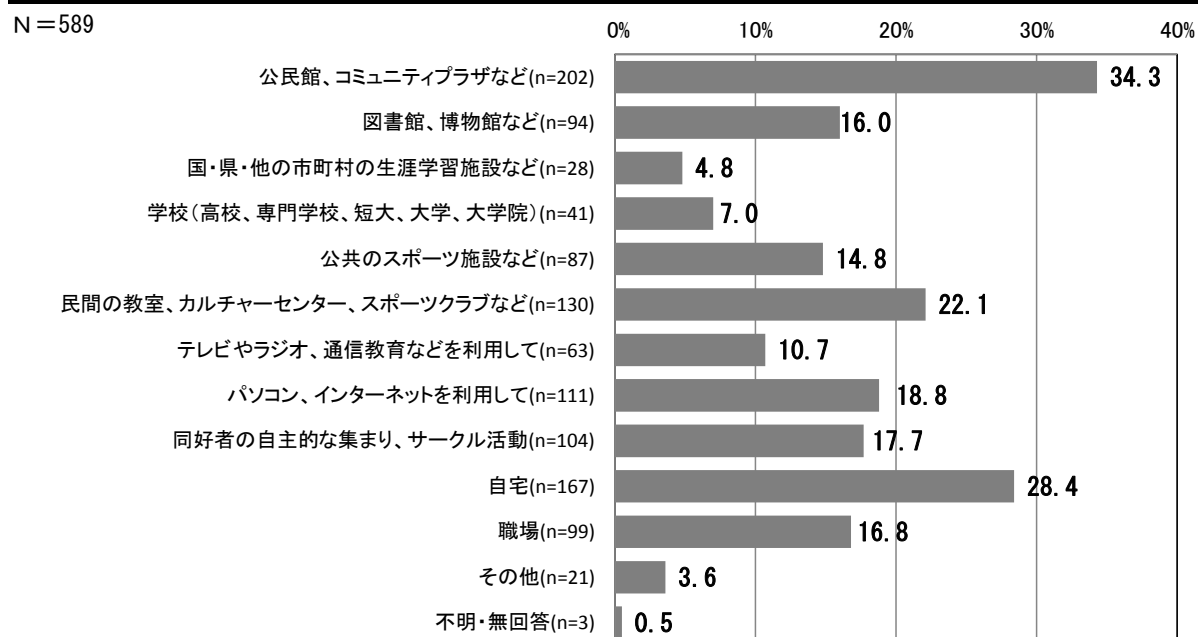


問3で、「頻繁に行った」「よく行った」「時々行った」を選んだ人におたずねします。

■問4 あなたは、どこで生涯学習を行っていますか。(MA)

生涯学習を行っている場所については、「公民館・コミュニティプラザなど」が34.3%と最も高く、次いで「自宅」が28.4%、「民間の教室・カルチャーセンター、スポーツクラブなど」が22.1%となっています。

H.21 調査と比べると、「自宅」が9.6%から28.4%へ、「パソコン、インターネットを利用して」が5.0%から18.8%へと利用割合が増えています。



【比較】

H.21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	公民館・コミュニティプラザなど	45.2	164
2	図書館・博物館など	14.9	54
3	国・県・他市町村の生涯学習施設など	6.6	24
4	学校(高校・専門学校、短大、大学、大学院)など	7.4	27
5	公共のスポーツ施設など	21.8	79
6	民間の教室、カルチャーセンターやスポーツクラブなど	25.9	94
7	テレビ・ラジオ・通信教育などを利用して	5.0	18
8	パソコン・インターネットを利用して	5.0	18
9	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	24.2	88
10	自宅	9.6	35
11	職場	2.8	10
12	その他	4.1	15
13	無記入	1.4	5
	サンプル数(%ベース)	100.0	363

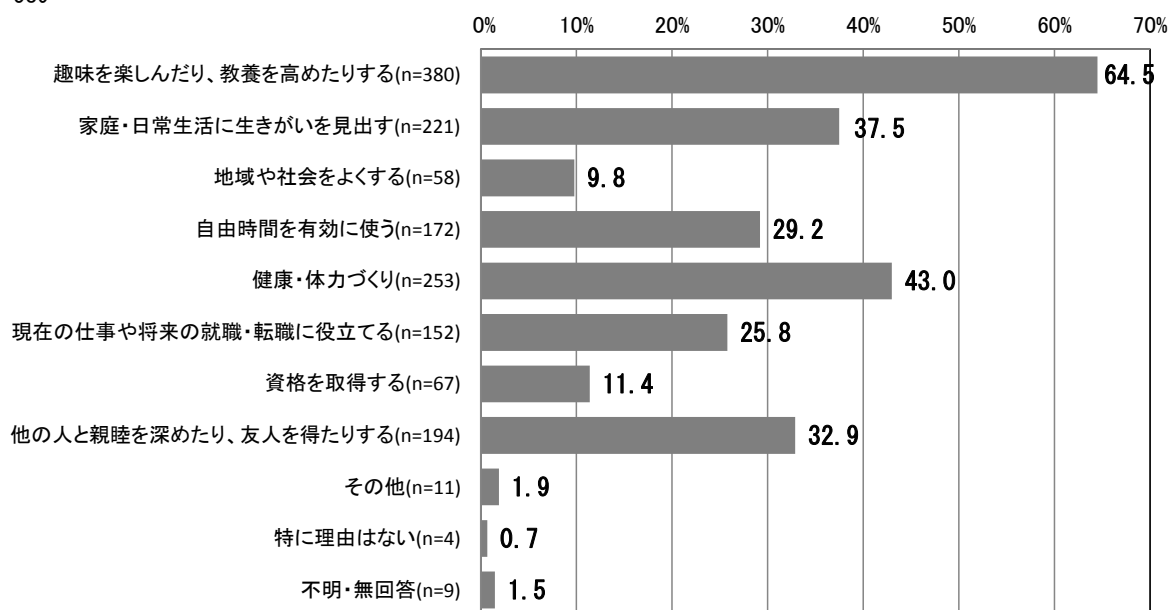
問3で、「頻繁に行った」「よく行った」「時々行った」を選んだ人におたずねします。

■問5 あなたが生涯学習を行う理由はなんですか。(MA)

生涯学習を行う理由については、「趣味を楽しんだり、教養を高めたりする」が64.5%と最も高く、次いで「健康・体力づくり」が43.0%、「家庭・日常生活に生きがいを見出す」が37.5%となっています。

H.21 調査と比べると、上位にあがった項目に変化はありませんが、「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てる」が7.4%から25.8%へと18.4%増えています。

N=589



【比較】 .21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	趣味を楽しんだり、教養を高めたりするため	68.0	247
2	家庭・日常生活に生きがいを見出すため	40.5	147
3	健康・体力づくりのため	54.8	199
4	現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため	7.4	27
5	資格を取得するため	4.1	15
6	他の人と親睦を深めたり、友人を得たりするため	41.0	149
7	自由時間を有効に活用するため	37.2	135
8	地域や社会をよくするため	12.1	44
9	その他	1.7	6
10	特に理由はない	1.1	4
11	無記入	2.5	9
	サンプル数(%ベース)	100.0	363

問3で、「ほとんど行わなかった」「まったく行わなかった」を選んだ人におたずねします。

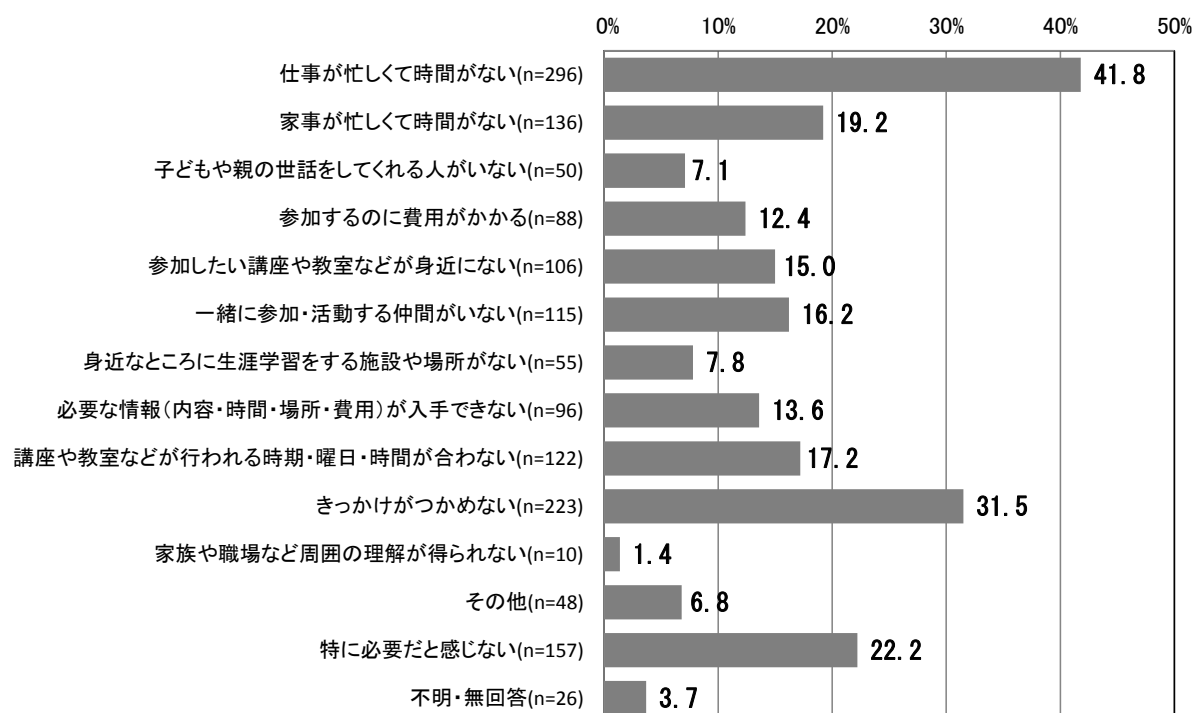
■問6 あなたが生涯学習を行っていない理由はなんですか。(MA)

生涯学習を行っていない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が41.8%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が31.5%、「特に必要だと感じない」が22.2%となっています。

年代別では、20歳代～60歳代で「仕事が忙しくて時間がない」の割合が高くなっています。また、70歳代以下で「きっかけがつかめない」の割合が約3割～4割となっています。

H.21調査でも、「仕事が忙しくて時間がない」が38.7%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」が26.5%、「特に必要だと感じない」が23.7%となっています。

N=708



【比較】H. 21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	仕事が忙しくて時間がない	38.7	234
2	家事が忙しくて時間がない	15.1	91
3	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	9.6	58
4	学習に費用がかかるから	13.6	82
5	学習したい講座や教室などが身近にない	19.2	116
6	一緒に学習や活動をする仲間がいない	12.6	76
7	身近なところに学習施設や学習場所がない	8.1	49
8	必要な情報(内容・時間・場所・費用)が入手できない	14.6	88
9	講座や教室などが行われる時期・曜日・時間が合わない	21.4	129
10	きっかけがつかめない	26.5	160
11	家族や職場など周囲の理解が得られない	2.5	15
12	その他	5.6	34
13	特に必要を感じない	23.7	143
14	無記入	3.6	22
	サンプル数(%ベース)	100.0	604

(単位: %)

	仕事 が忙しく 時間がない	家事 が忙しく 時間がない	子どもや 親の世話を してくれる 人がいない	参加 するの に費用が かかる	参加 したい 講座や 教室が 身近に ない	一緒 に参加 ・活動 する仲 間がい ない	身近な ところに 施設や 場所が ない	必要 な情報 が入手 できな い	講座 の時期 ・曜日 ・時間 が合わ ない	きつ かけが つかめ ない	家族 や職場 など周 囲の理 解が得 られな い	その他	特に 必要だ と感じ ない	不明 ・無回 答
全体 (N=708)	41.8	19.2	7.1	12.4	15.0	16.2	7.8	13.6	17.2	31.5	1.4	6.8	22.2	3.7
【年代】														
20歳代 (N=54)	42.6	9.3	7.4	11.1	18.5	18.5	5.6	9.3	11.1	38.9	-	5.6	20.4	1.9
30歳代 (N=109)	54.1	30.3	20.2	15.6	22.0	13.8	7.3	23.9	19.3	33.0	-	3.7	11.9	2.8
40歳代 (N=118)	59.3	31.4	9.3	16.9	12.7	11.9	6.8	12.7	25.4	36.4	2.5	3.4	16.1	3.4
50歳代 (N=125)	55.2	18.4	4.8	16.0	16.0	17.6	13.6	16.0	17.6	37.6	2.4	1.6	16.8	1.6
60歳代 (N=141)	34.8	14.9	3.5	7.8	12.8	16.3	5.7	13.5	21.3	27.0	1.4	10.6	27.0	1.4
70歳代 (N=120)	16.7	12.5	0.8	9.2	15.0	19.2	9.2	6.7	9.2	30.0	1.7	8.3	32.5	7.5
80歳代以上 (N=38)	15.8	2.6	-	5.3	2.6	21.1	-	5.3	2.6	2.6	-	26.3	42.1	10.5
不明 (N=3)	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3

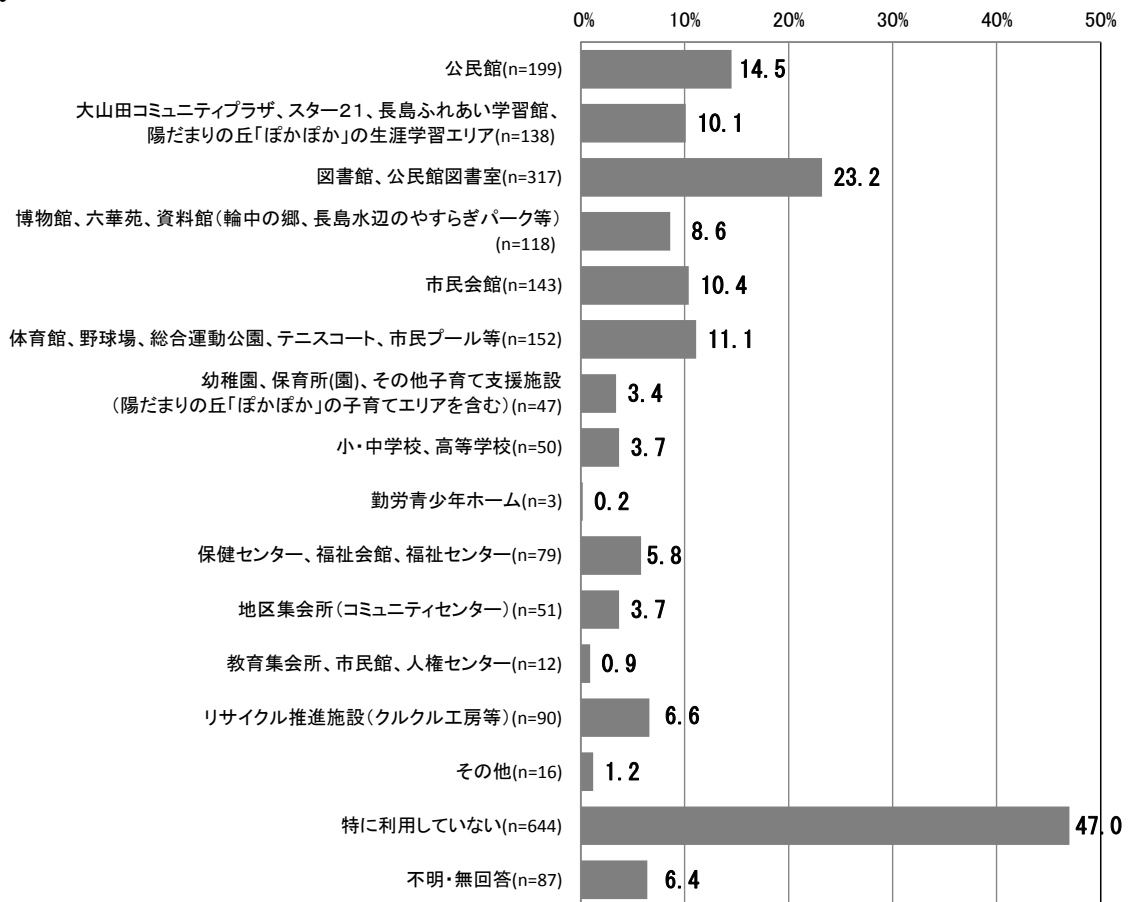
2. 桑名市の生涯学習関連施設について

■問7（1） あなたは、最近1年間で生涯学習のために市内の次の公共施設を利用したことがありますか。（MA）

生涯学習のための公共施設利用については、「図書館、公民館図書室」が23.2%、「公民館」が14.5%となっています。「特に利用していない」は47.0%となっています。

H.21 調査でも、「図書館、公民館図書室」が23.1%、「公民館」が17.2%となっており、「特に利用していない」は44.9%でした。

N=1,369



【比較】H. 21 調査の結果 →

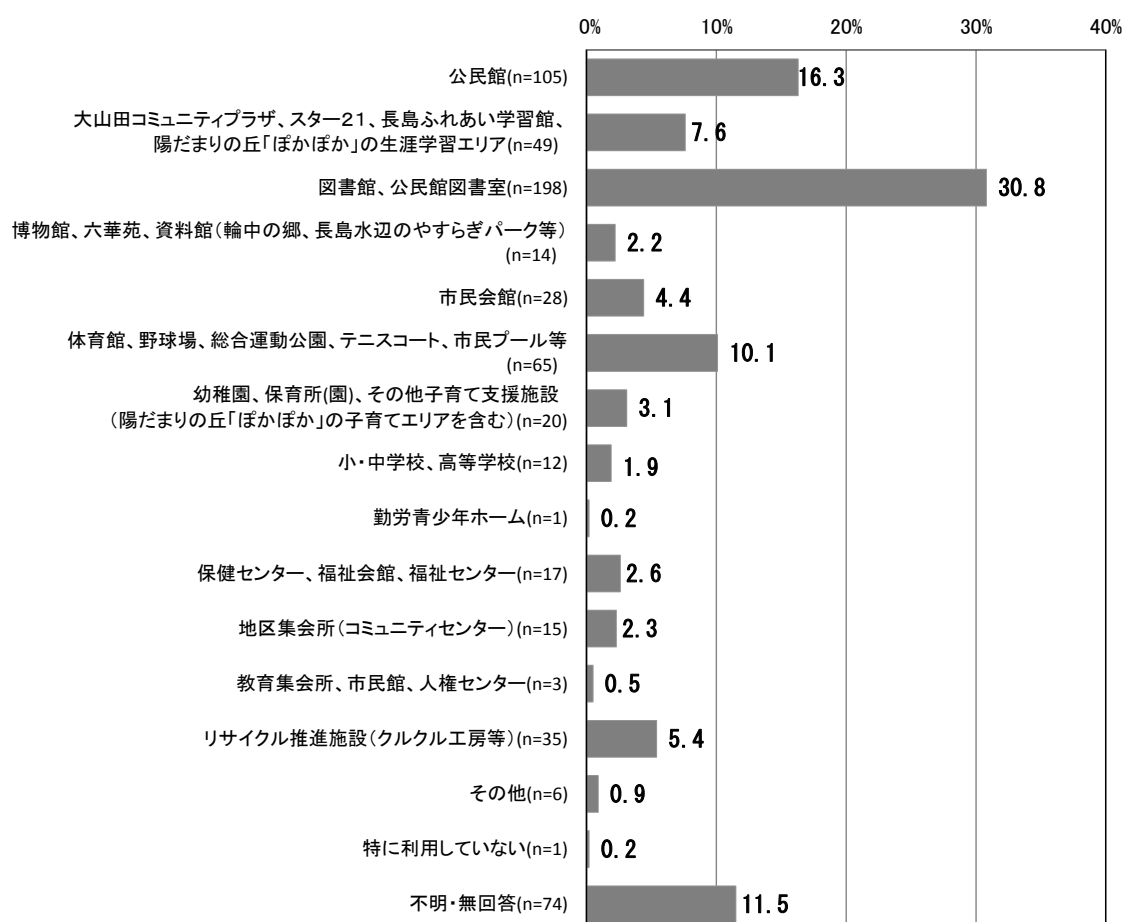
No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	公民館	17.2	170
2	コミュニティプラザ、スター21、長島ふれあい学習館	10.7	106
3	図書館、公民館図書室	23.1	229
4	博物館、六華苑、資料館（輪中の郷、長島水辺のやすらぎパーク等）	9.2	91
5	市民会館	10.2	101
6	体育館、野球場、総合運動公園、テニスコート、市民プール等	14.7	146
7	幼稚園、保育園、その他子育て支援施設	2.6	26
8	小・中学校、高等学校	3.5	35
9	勤労青少年ホーム	0.4	4
10	保健センター、福祉会館、福祉センター	5.5	54
11	地区集会所（コミュニティセンター）	3.2	32
12	教育集会所、市民館、人権センター	1.4	14
13	リサイクル推進施設（クルクル工房等）	5.5	54
14	その他	0.7	7
15	特に利用していない	44.9	445
16	無記入	4.0	40
	サンプル数（%ベース）	100.0	990

問7（1）で、1つでも利用した施設があった人におたずねします。

■問7（2） 利用した施設のなかで、最も頻繁に利用した施設を1つ選んでください。
（SA）

公共施設利用者が最も頻繁に利用した施設は、「図書館、公民館図書室」が30.8%で最も高く、次いで「公民館」が16.3%、「体育館、野球場、総合運動公園、テニスコート、市民プール等」のスポーツ施設が10.1%となっています。

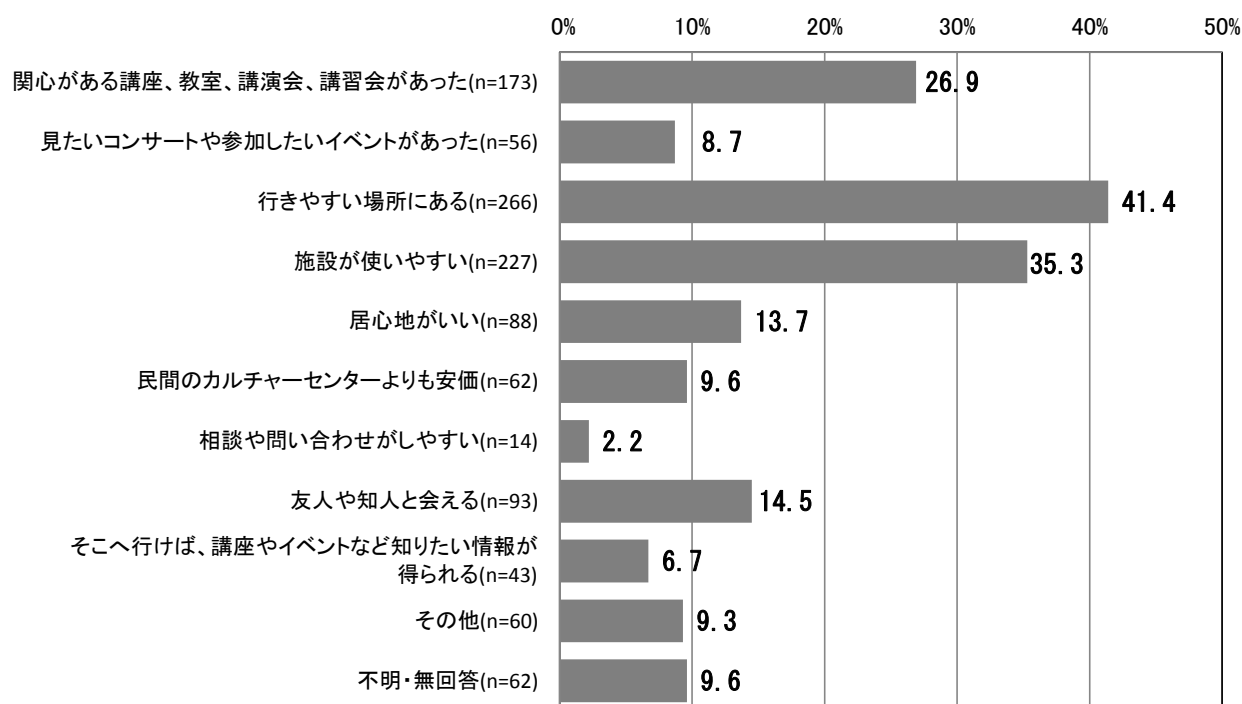
N=643



■問 7（3） あなたが問 7（2）の施設を利用した理由はなんですか。（MA）

施設利用者の利用理由としては、「行きやすい場所にある」が 41.4%と最も高く、次いで「施設が使いやすい」が 35.3%、「関心がある講座、教室、講演会、講習会があった」が 26.9%となっています。

N = 643

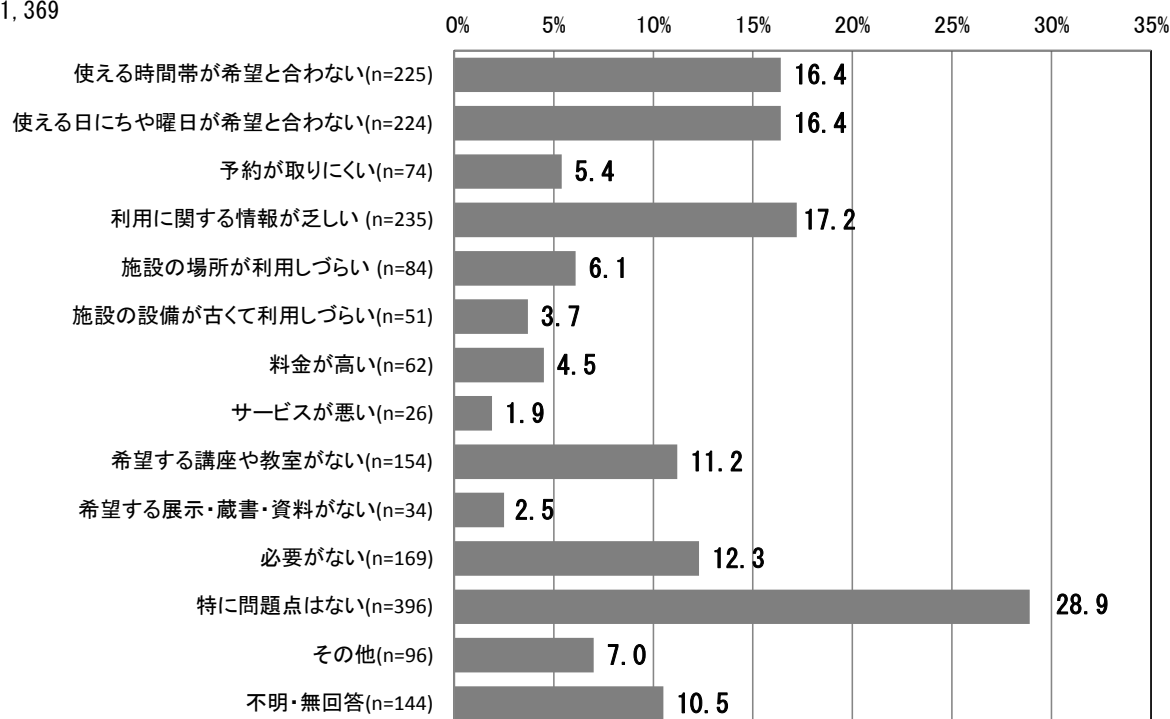


■問8 市内の公共施設を利用するうえでの問題点はなんですか。(MA)

公共施設利用の問題点としては、「特に問題点はない」が28.9%と最も高く、次いで「利用に関する情報が乏しい」が17.2%、「使える時間帯が希望と合わない」「使える日にちや曜日が希望と合わない」がそれぞれ16.4%となっています。

年代別でみると、60歳代以上で「特に問題点はない」が30%を超えています。また、30歳代～50歳代で「使える時間帯が希望と合わない」「使える日にちや曜日が希望と合わない」を合わせた割合が40%を超え、20歳代では「利用に関する情報が乏しい」が28.7%と高くなっています。

N=1,369



(単位: %)

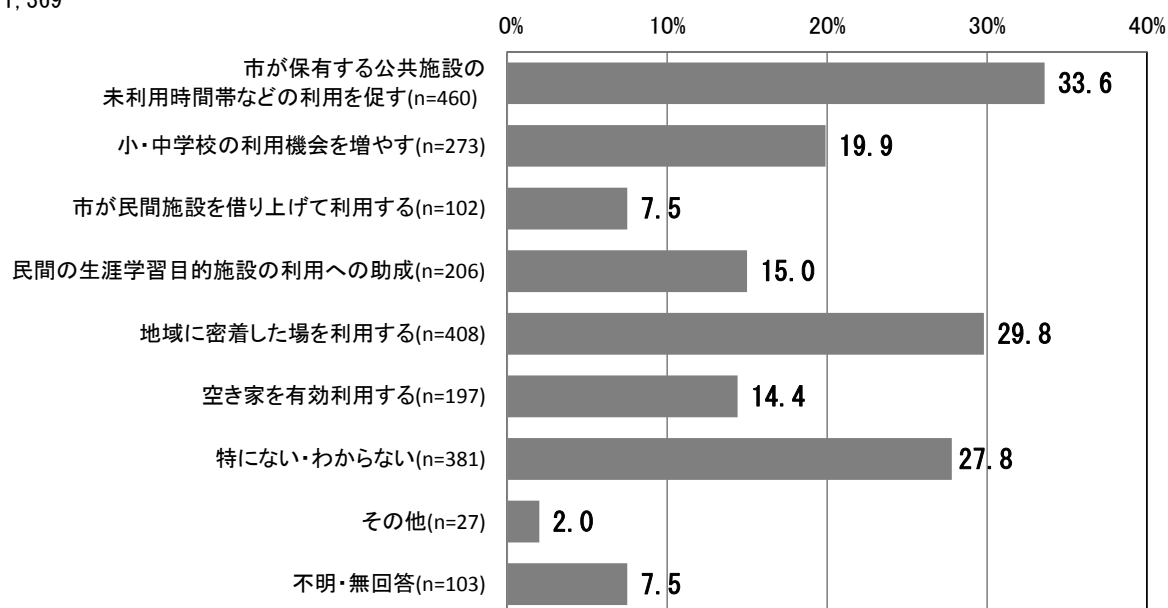
	使える時間帯が希望と合わない	使える日にちや曜日が希望と合わない	予約が取りにくい	利用に関する情報が乏しい	施設の場所が利用しづらい	施設の設備が古くて利用しづらい	料金が低い	サービスが悪い	希望する講座や教室がない	希望する展示・蔵書・資料がない	必要がない	特に問題点はない	その他	不明・無回答
全体 (N=708)	16.4	16.4	5.4	17.2	6.1	3.7	4.5	1.9	11.2	2.5	12.3	28.9	7.0	10.5
【年代】														
20歳代 (N=54)	15.5	10.9	4.7	28.7	6.2	5.4	5.4	0.8	11.6	2.3	15.5	30.2	7.0	4.7
30歳代 (N=109)	22.4	24.5	5.7	21.4	5.7	4.2	3.6	2.6	14.1	3.6	7.3	24.5	5.2	4.7
40歳代 (N=118)	21.4	22.8	8.4	19.1	7.9	4.7	7.0	3.3	13.5	5.1	8.8	28.8	11.2	5.6
50歳代 (N=125)	24.5	19.1	8.2	20.5	5.9	5.5	4.1	3.2	13.6	1.8	14.5	21.8	5.5	8.2
60歳代 (N=141)	14.9	16.3	3.7	13.9	6.4	3.1	2.7	1.0	11.2	1.7	10.5	33.6	5.8	11.9
70歳代 (N=120)	5.3	8.6	3.3	11.0	4.5	1.6	5.3	1.2	6.5	1.6	16.3	32.2	7.8	18.0
80歳代以上 (N=38)	3.1	3.1	-	3.1	4.7	1.6	1.6	-	3.1	-	18.8	32.8	6.3	29.7
不明 (N=3)	33.3	11.1	22.2	11.1	22.2	-	22.2	-	22.2	-	11.1	11.1	11.1	11.1

■問9 市は公共施設の最適な配置や総量の削減をしつつ、必要なサービスの維持が図れるよう取り組んでいます。こうした状況の中、保有すべき公共施設を有効に活用しつつ、桑名市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」について必要だと思われることを選んでください。（MA）

市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」については、「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」が33.6%と最も高く、次いで「地域に密着した場所を利用する」が29.8%となっています。

年代別でみると、20歳代～50歳代で「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」の割合が高く、50歳代～70歳代で「地域に密着した場を利用する」が高くなっています。

N=1,369



(単位: %)

	市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す	小・中学校の利用機会を増やす	市が民間施設を借り上げて利用する	民間の生涯学習目的施設の利用への助成	地域に密着した場を利用する	空き家を有効利用する	特にない・わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=1369)	33.6	19.9	7.5	15.0	29.8	14.4	27.8	2.0	7.5
【年代】									
20歳代 (N=129)	34.1	24.8	8.5	13.2	21.7	14.7	28.7	3.9	3.1
30歳代 (N=192)	40.1	27.1	6.3	22.4	28.6	16.7	26.0	1.6	3.6
40歳代 (N=215)	43.7	29.3	6.0	20.5	25.6	18.1	18.1	1.9	6.0
50歳代 (N=220)	43.2	27.3	11.8	13.2	33.6	13.6	19.1	1.4	5.9
60歳代 (N=295)	30.8	13.6	8.5	15.6	34.2	15.9	29.8	1.0	7.1
70歳代 (N=245)	18.4	8.6	4.9	9.0	32.7	9.8	38.0	3.7	11.8
80歳代以上 (N=64)	17.2	6.3	4.7	6.3	20.3	7.8	46.9	-	21.9
不明 (N=9)	33.3	11.1	-	11.1	22.2	11.1	22.2	-	22.2

生涯学習の活動頻度別にみると、まったく行わなかった人以外は、「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」の割合が最も高く、次いで「地域に密着した場を利用する」となっています。

(単位: %)

	市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す	小・中学校の利用機会を増やす	市が民間施設を借り上げる	民間の生涯学習目的施設の利用への助成	地域に密着した場を利用する	空き家を有効利用する	特にない・わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=1369)	33.6	19.9	7.5	15.0	29.8	14.4	27.8	2.0	7.5
【頻度】									
頻繁に行った (N=98) [週に3～5回程度]	36.7	26.5	4.1	19.4	29.6	16.3	19.4	2.0	7.1
よく行った (N=217) [週に1～2回程度]	42.9	18.9	9.2	22.6	31.3	14.7	17.5	3.2	8.3
時々行った (N=274) [月に1～2回程度]	37.6	20.1	7.7	17.5	33.2	15.0	22.6	2.6	4.7
ほとんど行わなかった (N=195) [月1回未満]	39.0	24.6	7.7	14.4	33.8	14.4	20.5	1.0	7.7
まったく行わなかった (N=513)	25.9	17.9	6.8	10.3	26.5	13.6	40.2	1.2	7.2
不明・無回答 (N=72)	26.4	15.3	9.7	12.5	25.0	13.9	22.2	4.2	18.1

3. 桑名市の生涯学習施策について

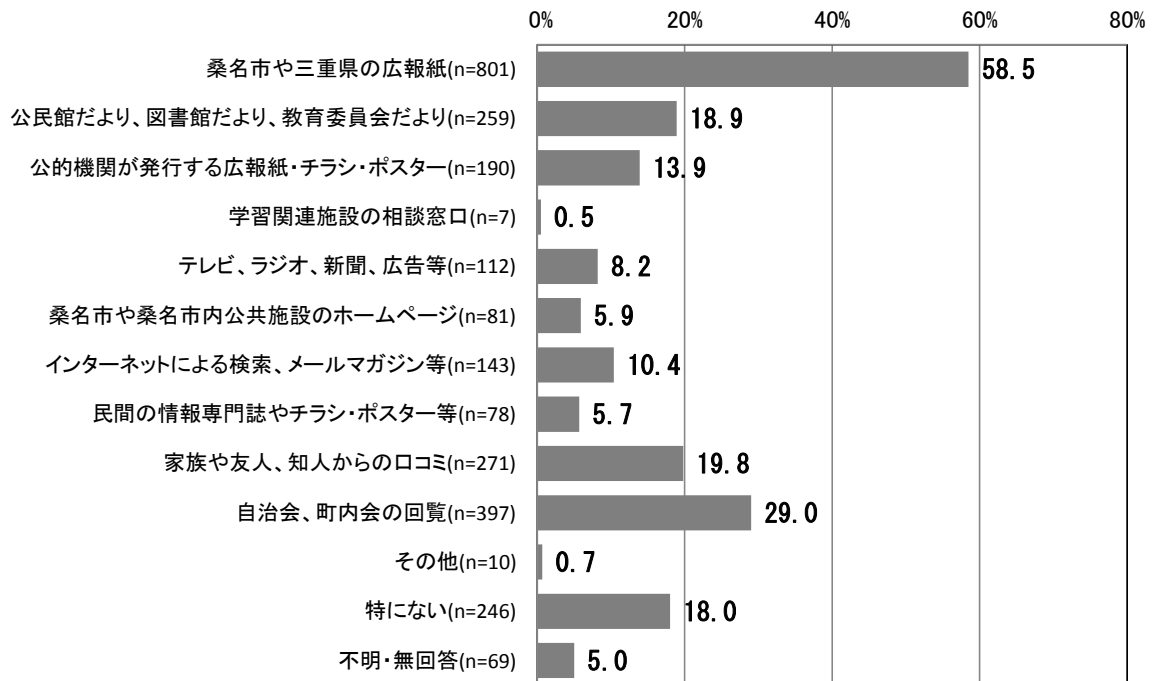
■問10 あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。（MA）

生涯学習に関する情報の入手先については、「桑名市や三重県の広報紙」が58.5%と最も高く、次いで「自治会、町内会の回覧」が29.0%、「家族や友人、知人からの口コミ」が19.8%となっています。

年代別では、30歳代以上の年代で「桑名市や三重県の広報紙」の割合が最も高くなっています。また、50歳代以上で「自治会、町内会の回覧」、60歳代と70歳代で「公民館だより、図書館だより、教育委員会だより」の割合が高くなっています。

H.21調査では、「桑名市や三重県の広報紙」が57.0%と最も高く、次いで「家族や友人、知人からの口コミ」が24.2%、「自治会、町内会の回覧」が22.3%となっており、ほぼ同じ傾向を示しています。

N=1,369



【比較】 H. 21 調査の結果 →

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	桑名市や三重県の広報誌	57.0	564
2	公民館だより、図書館だより、教育委員会だより	19.5	193
3	公的機関が発行する広報誌・チラシ・ポスター	13.6	135
4	学習関連施設の相談窓口	0.6	6
5	テレビ、ラジオ、新聞、広告等	11.4	113
6	桑名市や桑名市内公共施設のホームページ	5.4	53
7	インターネットの検索	9.9	98
8	民間の情報専門誌やチラシ・ポスター等	6.2	61
9	家族や友人、知人からの口コミ	24.2	240
10	自治会、町内会の回覧	22.3	221
11	その他	1.3	13
12	特にない	17.9	177
13	無記入	1.6	16
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

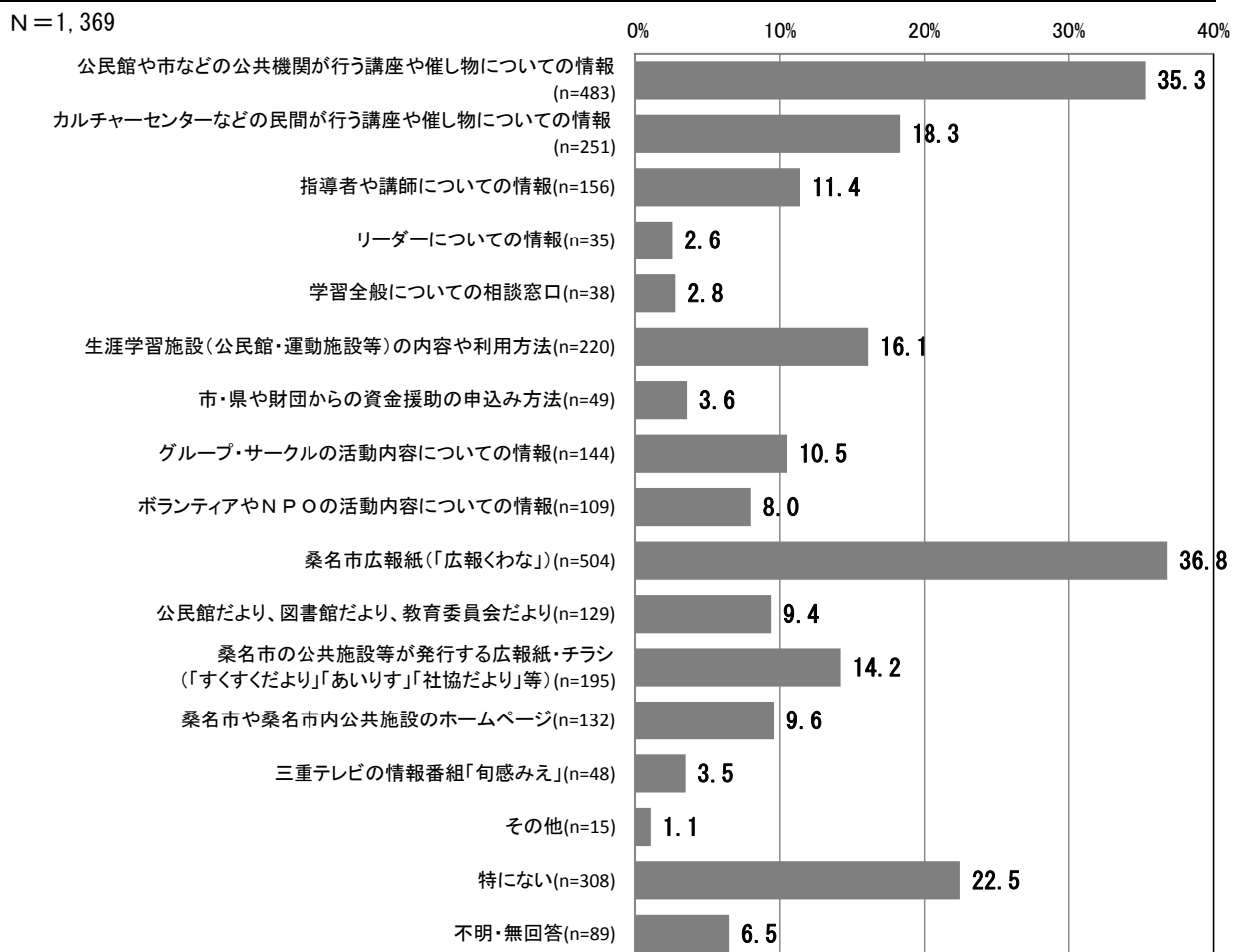
(単位: %)

	桑名市や三重県の 広報紙	公民館だより、図書館だより、教育委員会だより	公的機関が発行する 広報紙・チラシ・ポスター	学習関連施設の相談窓口	テレビ、ラジオ、新聞、広告等	桑名市や桑名市内公共施設のホームページ	インターネットによる検索、メールマガジン等	民間の情報専門誌やチラシ・ポスター等	家族や友人、知人からの口コミ	自治会、町内会の回覧	その他	特にない	不明・無回答
全体（N=1369）	58.5	18.9	13.9	0.5	8.2	5.9	10.4	5.7	19.8	29.0	0.7	18.0	5.0
【年代】													
20歳代（N=129）	26.4	8.5	6.2	-	13.2	5.4	20.9	6.2	18.6	7.0	-	39.5	3.9
30歳代（N=192）	58.3	8.9	9.4	0.5	8.9	7.3	17.2	5.7	22.4	20.8	1.0	24.0	3.1
40歳代（N=215）	65.6	21.4	11.6	0.5	5.1	5.1	14.4	4.7	18.1	24.7	0.5	15.3	5.1
50歳代（N=220）	68.2	15.9	14.5	1.4	5.5	10.5	11.8	9.5	20.5	31.4	0.5	10.9	3.2
60歳代（N=295）	68.8	26.1	18.6	-	7.1	4.7	5.4	5.1	19.7	35.3	0.7	12.9	4.1
70歳代（N=245）	52.2	24.1	18.0	0.4	9.8	4.1	3.7	4.1	22.4	38.0	1.2	18.0	7.8
80歳代以上（N=64）	43.8	20.3	12.5	1.6	12.5	3.1	-	4.7	9.4	42.2	1.6	15.6	12.5
不明（N=9）	55.6	11.1	-	-	22.2	-	11.1	-	11.1	22.2	-	-	11.1

■問11 あなたが生涯学習を行う上で、充実を希望する情報等がありますか。(MA)

情報の充実を希望するものとしては、「桑名市広報紙(「広報くわな」)」が最も高く 36.8% となっています。次いで「公民館や市などの公共機関が行う講座や催し物についての情報」が 35.3% となっています。

H.21 調査では、「公民館や市などの公共機関が行う講座や催し物についての情報」が 35.5%、「桑名市広報紙(「広報くわな」)」が 35.3% となっており、ほぼ同じ傾向を示しています。



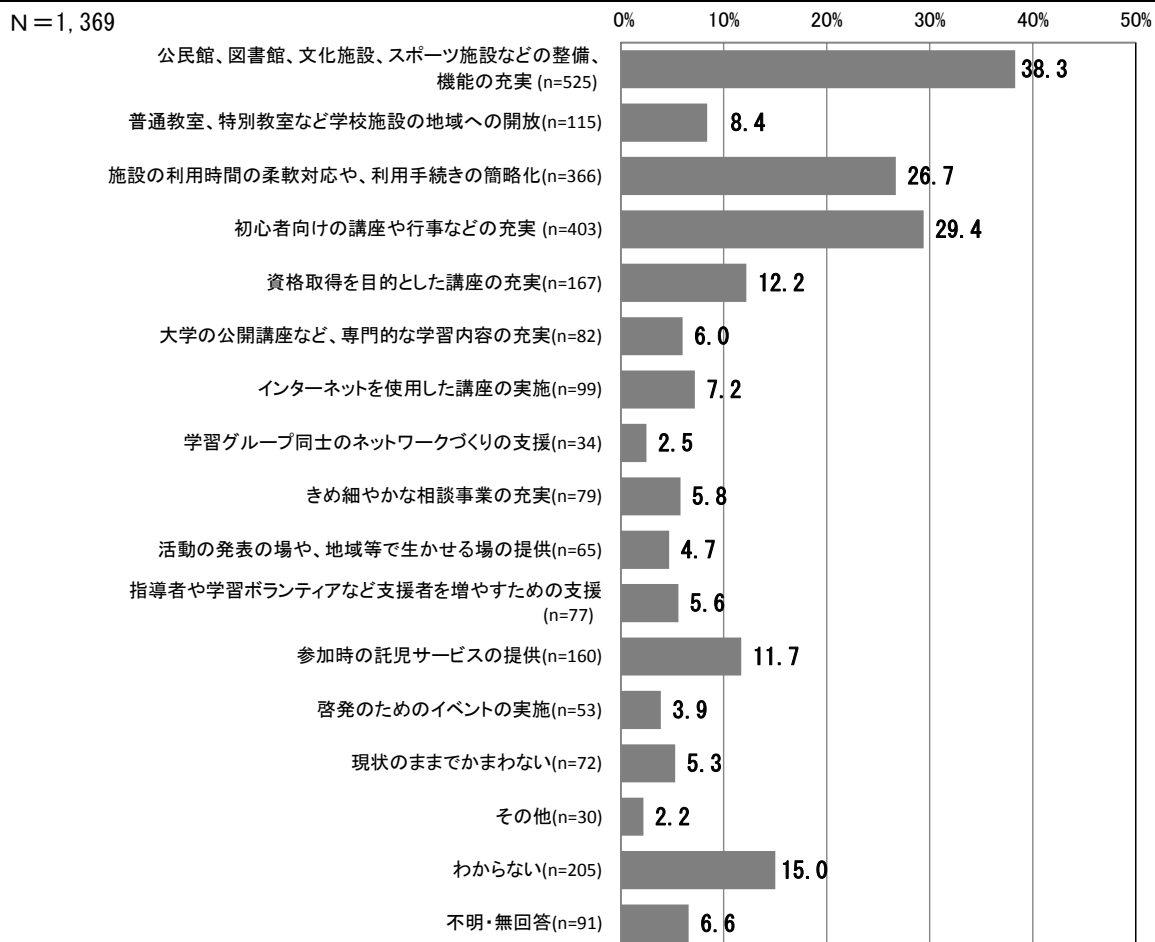
【比較】H.21 調査の結果→

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	公民館や市などの公共機関が行う講座や催し物についての情報	35.5	351
2	カルチャーセンターなどの民間が行う講座や催し物についての情報	14.6	145
3	指導者や講師についての情報	9.8	97
4	リーダーについての情報	2.7	27
5	学習全般についての相談窓口	2.6	26
6	生涯学習施設(公民館・運動施設等)の内容や利用方法	16.6	164
7	市・県や財団からの資金援助の申込み方法	2.7	27
8	グループ・サークルの活動内容についての情報	14.3	142
9	ボランティアやNPOの活動内容についての情報	7.0	69
10	桑名市広報誌(「広報くわな」)	35.3	349
11	公民館だより、図書館だより、教育委員会だより	9.8	97
12	桑名市の公共施設等が発行する広報誌・チラシ	12.0	119
13	桑名市や桑名市内公共施設のホームページ	9.0	89
14	ケーブルテレビの桑名市行政情報番組	5.4	53
15	その他	0.7	7
16	特になし	25.4	251
17	無記入	5.5	54
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

■問12 市民が学習や文化・スポーツ活動により気軽に、積極的に参加できるようにする支援として、市や教育委員会などの行政機関は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(MA)

市民の生涯学習参加を促すために行政機関が力を入れるべきこととしては、「公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設などの整備、機能の充実」が38.3%と最も高く、次いで「初心者向けの講座や行事などの充実」が29.4%、「施設の利用時間の柔軟対応や、利用手続きの簡略化」が26.7%となっています。

H.21 調査と比べると、「資格取得を目的とした講座の充実」が20.6%から12.2%へ、「指導者や学習ボランティアなど支援者を増やすための支援」が16.6%から5.6%へ、「活動の発表の場や、地域等で生かせる場の提供」が12.3%から4.7%へと減っています。



【比較】H. 21 調査の結果→

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設などの社会教育施設の機能を充実する	40.2	398
2	普通教室、特別教室など学校施設の地域への開放を進める	13.2	131
3	公民館、図書館などの講座を充実させる	25.9	256
4	啓発のためのフェスティバルやイベントを行う	11.6	115
5	学習グループ同士のネットワーク作りの支援を行う	5.3	52
6	大学の公開講座など専門的な学習内容の充実を図る	9.4	93
7	資格の取得などの講座の充実を図る	20.6	204
8	インターネットを使用した講座等を行う	7.5	74
9	活動の発表の場や、地域等で生かせる場を提供する	12.3	122
10	託児サービスを提供する	14.2	141
11	指導者や学習ボランティアなど支援者を増やす	16.6	164
12	現状のままでかまわない	5.9	58
13	その他	2.6	26
14	わからない	18.2	180
15	無記入	4.5	45
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

年代別でみると、20 歳代～70 歳代で「公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設などの整備、機能の充実」が最も高く、50 歳代、60 歳代で「初心者向けの講座や行事などの充実」が高くなっています。30 歳代では「参加時の託児サービスの提供」が 32.8%と高くなっています。

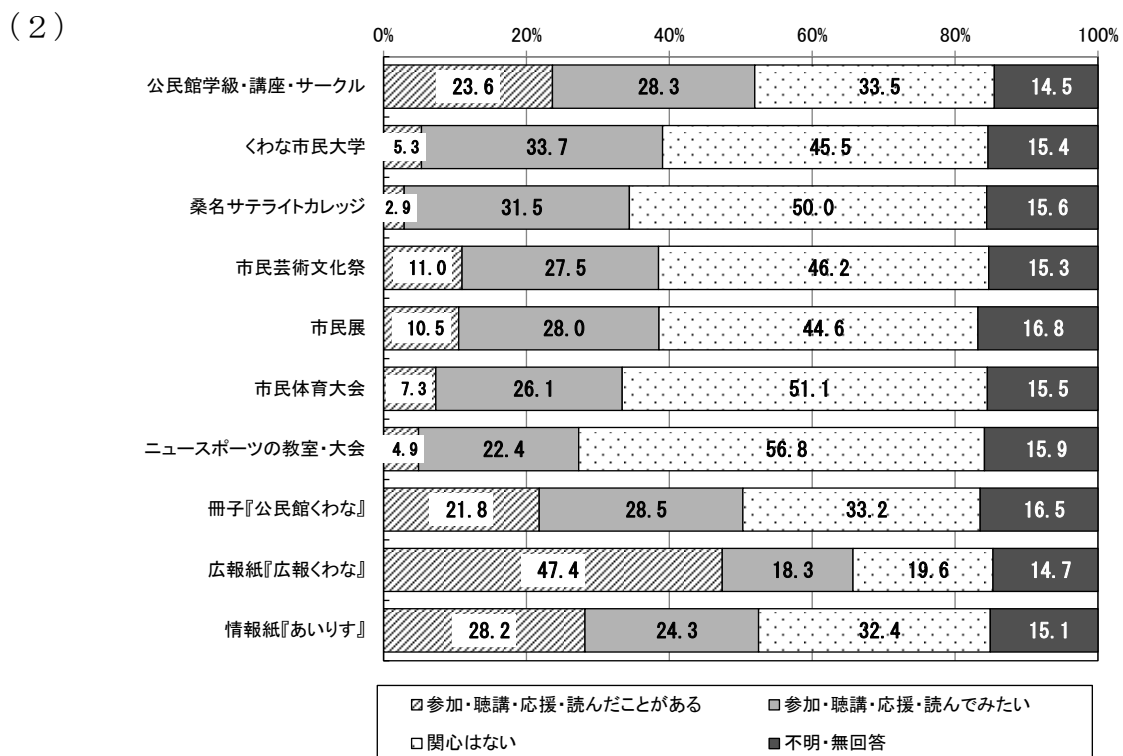
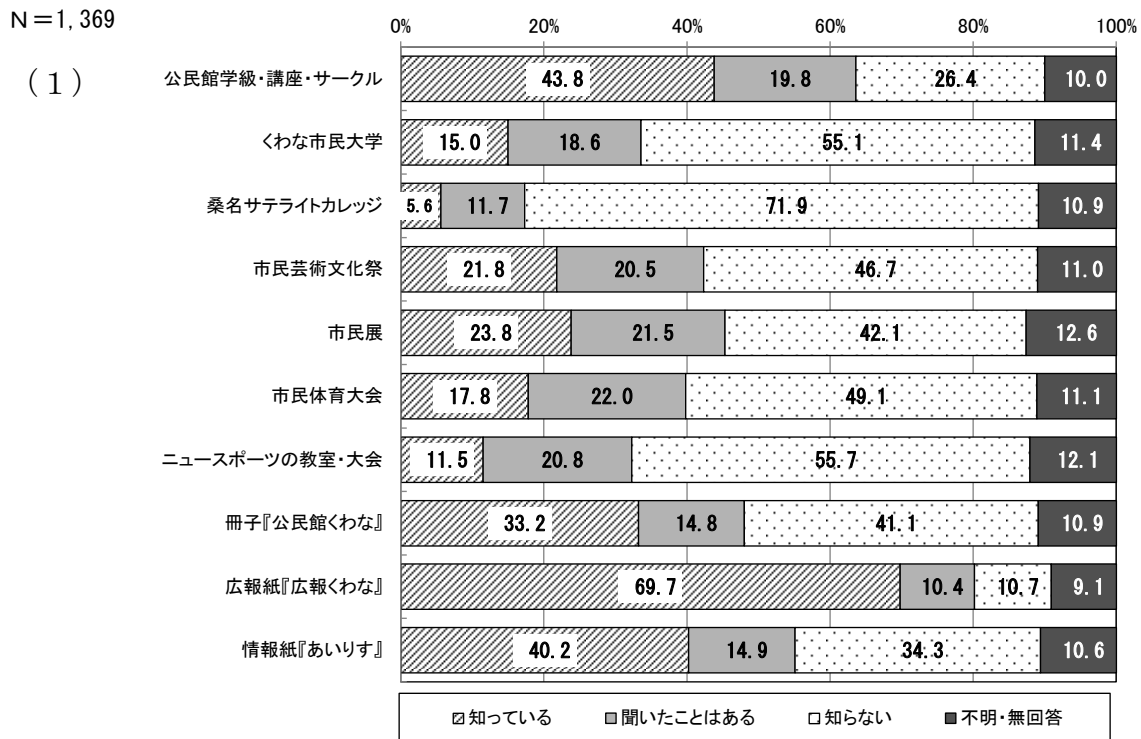
(単位：%)

	公民館、図書館、文化施設、スポーツ施設などの整備、機能の充実	普通教室、特別教室など学校施設の地域への開放	施設の利用時間の柔軟対応や、利用手続きの簡略化	初心者向けの講座や行事などの充実	資格取得を目的とした講座の充実	大学の公開講座など、専門的な学習内容の充実	インターネットを使用した講座の実施	学習グループ同士のネットワークづくりの支援	きめ細やかな相談事業の充実	活動の発表の場や、地域等で生かせる場の提供	指導者や学習ボランティアなど支援者を増やすための支援	参加時の託児サービスの提供	啓発のためのイベントの実施	現状のままでかまわない	その他	わからない	不明・無回答
全体 (N=1369)	38.3	8.4	26.7	29.4	12.2	6.0	7.2	2.5	5.8	4.7	5.6	11.7	3.9	5.3	2.2	15.0	6.6
【年代】																	
20歳代 (N=129)	45.7	15.5	26.4	21.7	16.3	12.4	9.3	2.3	5.4	5.4	6.2	14.0	4.7	1.6	4.7	11.6	4.7
30歳代 (N=192)	34.4	9.9	29.2	25.0	20.3	3.1	11.5	4.2	7.3	6.3	5.2	32.8	5.7	2.1	2.6	11.5	2.1
40歳代 (N=215)	40.9	13.0	36.7	29.8	20.9	8.4	7.0	4.7	5.1	5.1	5.6	18.1	5.1	2.3	1.9	6.5	2.8
50歳代 (N=220)	44.1	7.3	34.5	36.4	15.9	6.8	8.6	2.3	5.5	6.4	7.7	6.8	3.6	5.0	2.3	8.2	3.6
60歳代 (N=295)	42.4	4.7	24.4	33.9	6.4	6.8	6.1	1.7	6.1	3.1	6.1	5.4	3.1	7.8	1.4	16.9	8.8
70歳代 (N=245)	31.0	5.7	16.3	27.8	2.0	2.9	4.9	1.2	4.9	4.9	4.5	2.4	3.3	9.8	2.0	25.3	9.4
80歳代以上 (N=64)	20.3	6.3	10.9	20.3	3.1	-	1.6	-	6.3	-	1.6	1.6	-	4.7	1.6	32.8	23.4
不明 (N=9)	11.1	-	22.2	22.2	11.1	-	-	-	11.1	-	-	22.2	-	-	-	33.3	33.3

■問13（１）あなたは、桑名市民の皆さんを対象にした、次の生涯学習事業や広報冊子について知っていますか。（ＳＡ）
（２）今後、参加してみたい・見に行きたい・読んでみたいと思いますか。（ＳＡ）

生涯学習事業や広報冊子の認知については、「広報紙『広報くわな』」で、「知っている」が69.7%と最も高く、次いで「公民館学級・講座・サークル」が43.8%、「情報誌『あいりす』」が40.2%となっています。

また、生涯学習事業への参加意向については、多くの事業で、「参加・聴講・応援してみたい」が3割前後の割合となっています。

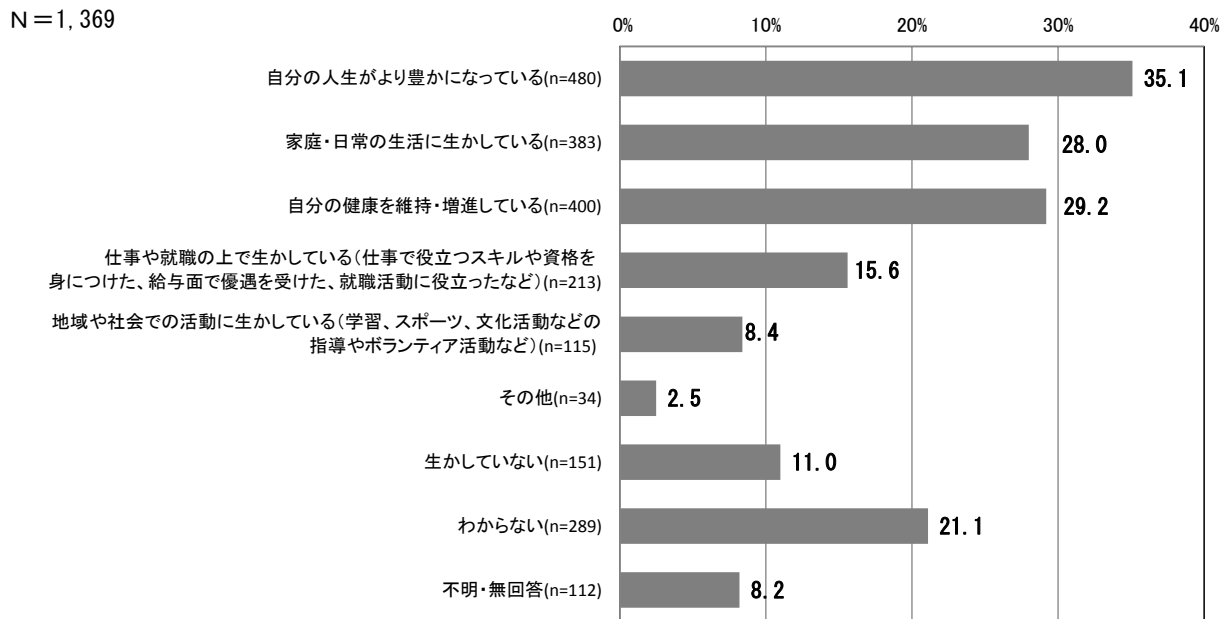


4. 生涯学習の成果について

■問 14 あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。（MA）

生涯学習の成果の生かし方については、「自分の人生がより豊かになっている」が 35.1%と最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」が 29.2%、「家庭・日常の生活に生かしている」が 28.0%となっています。

年代別でみると、20 歳代～60 歳代で「自分の人生がより豊かになっている」の割合が、70 歳代で「自分の健康を維持・増進している」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



(単位：%)

	自分の人生がより豊かになっている	家庭・日常の生活に生かしている	自分の健康を維持・増進している	仕事や就職の上で生かしている	地域や社会での活動に生かしている	その他	生かしていない	わからない	不明・無回答
全体 (N=1369)	35.1	28.0	29.2	15.6	8.4	2.5	11.0	21.1	8.2
【年代】									
20歳代 (N=129)	44.2	26.4	20.9	37.2	7.0	0.8	7.0	20.9	3.1
30歳代 (N=192)	33.9	31.8	19.8	25.5	4.2	2.1	10.9	27.1	2.1
40歳代 (N=215)	30.7	28.4	21.9	21.9	9.8	1.4	9.3	27.0	5.1
50歳代 (N=220)	36.4	24.1	32.7	20.5	9.1	3.2	14.1	14.5	6.4
60歳代 (N=295)	39.7	28.5	35.3	4.1	9.2	2.0	11.2	20.0	9.2
70歳代 (N=245)	32.7	29.8	38.8	2.4	11.0	4.9	12.2	18.4	13.9
80歳代以上 (N=64)	20.3	21.9	21.9	3.1	4.7	1.6	9.4	25.0	23.4
不明 (N=9)	22.2	33.3	33.3	44.4	-	-	11.1	-	33.3

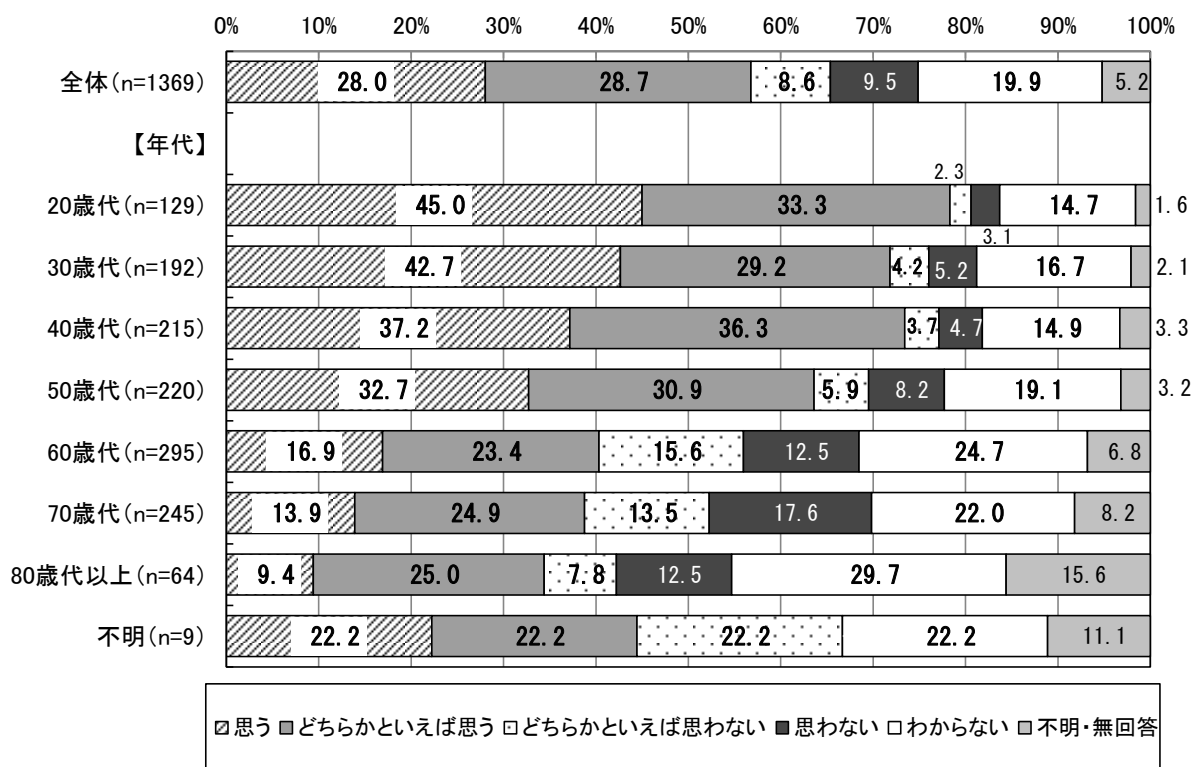
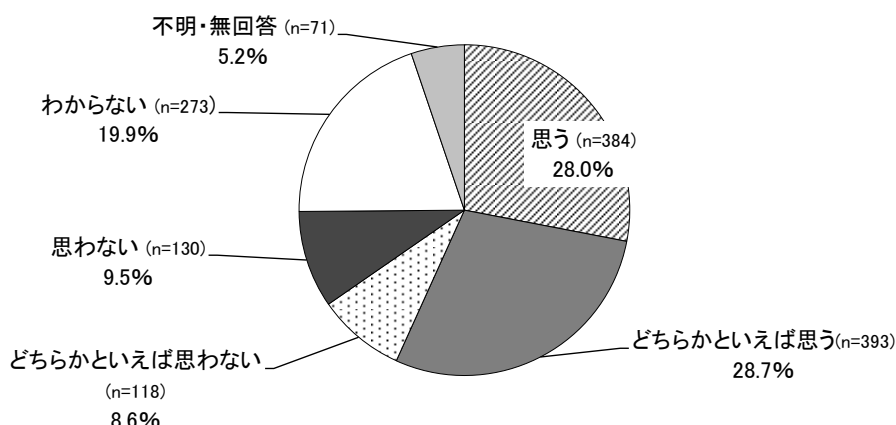
■問 15（１） あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。（ＳＡ）

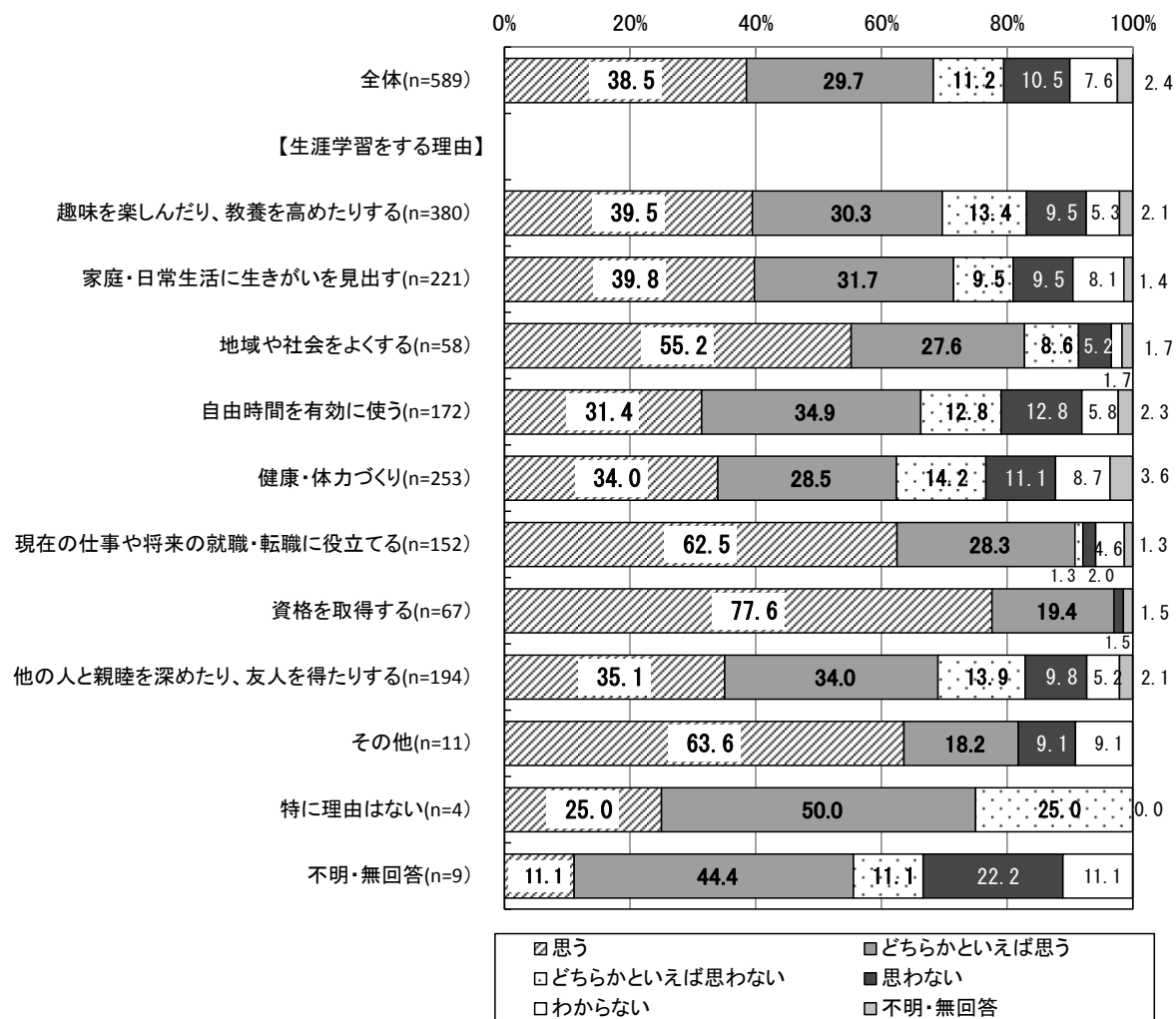
生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かしたいかどうかについては、『生かしたいと思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）が 56.7%、『生かしたいと思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計）が 18.1%となっています。

年代別でみると、50 歳代以下で『生かしたいと思う』の割合が高くなっています。

また、生涯学習を行っている人の理由別にみると、地域をよくする・仕事に役立てる・資格取得など、目的を持っている人ほど『生かしたいと思う』の割合が高くなっています。

N=1,369





H. 24 年の「生涯学習に関する世論調査」(内閣府) と比べると、この 1 年の間に生涯学習を「頻繁に行った」「よく行った」「時々行った」人が、その成果を仕事や地域活動に『生かしたいと思う』(「思う」と「どちらかといえば思う」の合計) の割合は、低くなっています。

(単位: %)

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	わからない	不明・無回答
頻繁に行った (週に 3 ～ 5 回程度)	46.9	21.4	13.3	11.2	4.1	3.1
よく行った (週に 1 ～ 2 回程度)	38.2	30.0	12.0	9.7	7.8	2.3
時々行った (月に 1 ～ 2 回程度)	35.8	32.5	9.9	10.9	8.8	2.2

* この 1 年くらいの間に「生涯学習をしたことがある」とする者 (1, 117 人) に

(9) 身につけた知識等の仕事や地域活動への活用の意向

【比較】

「生涯学習に関する
世論調査」

(H. 24 内閣府) の結果

思う (小計 77.7%)	思う	43.3%
	どちらかといえば思う	34.4%
思わない (小計 21.5%)	どちらかといえば思わない	11.0%
	思わない	10.5%

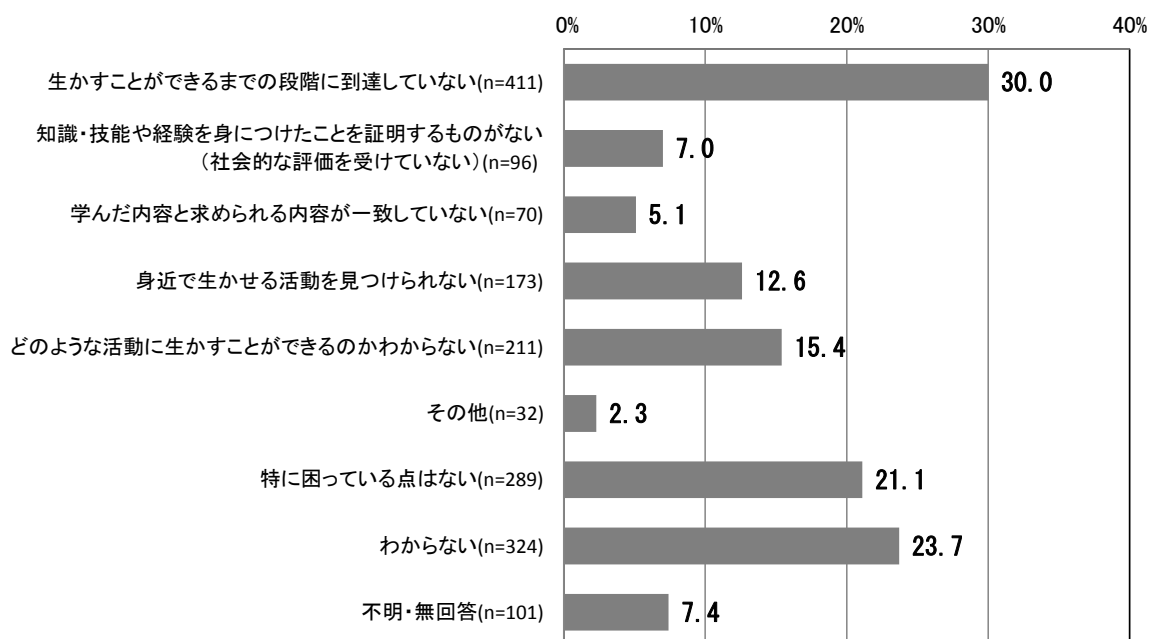
■問 15（２）あなたが、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点はなんですか。（MA）

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かす際のハードルとしては、「生かすことができるまでの段階に到達していない」が 30.0%と最も高く、次いで「わからない」が 23.7%、「特に困っている点はない」が 21.1%となっています。

年代別にみると、20 歳代～60 歳代で「生かすことができるまでの段階に到達していない」の割合が最も高くなっています。また、20 歳代、30 歳代、60 歳代で「どのような活動に生かすことができるのかわからない」の割合が高くなっています。

H. 24 年の「生涯学習に関する世論調査」（内閣府）と比べると、桑名市は「どのような活動に生かすことができるのかわからない」の割合が高くなっています。

N=1,369



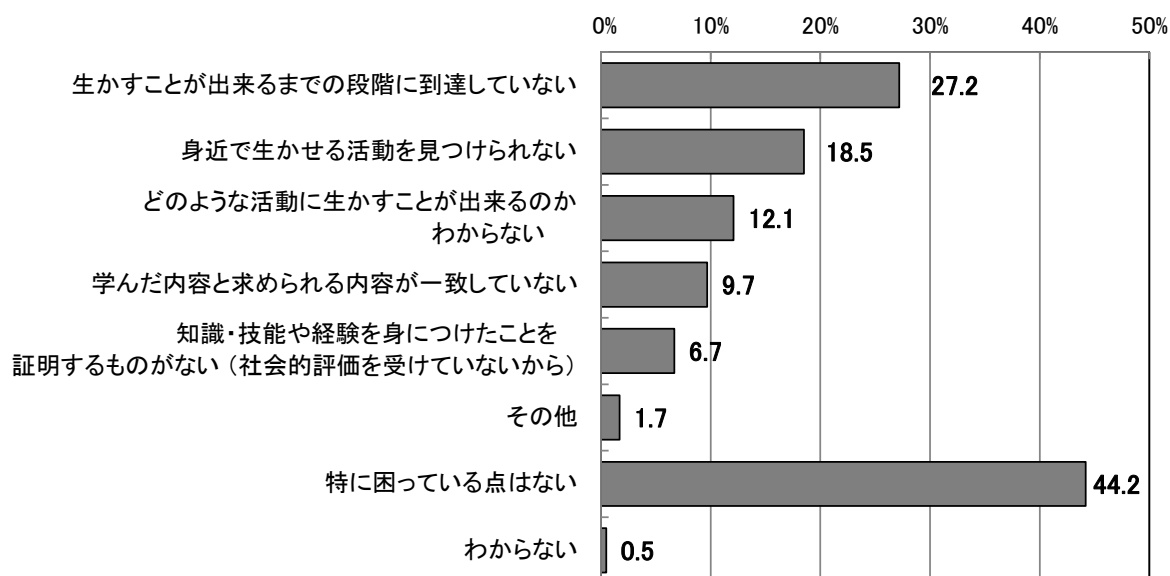
(単位：%)

	生かすことができるまでの段階に到達していない	知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない（社会的な評価を受けていない）	学んだ内容と求められる内容が一致していない	身近で生かせる活動を見つけれない	どのような活動に生かすことができるのかわからない	その他	特に困っている点はない	わからない	不明・無回答
全体（N=1369）	30.0	7.0	5.1	12.6	15.4	2.3	21.1	23.7	7.4
【年代】									
20歳代（N=129）	34.9	13.2	10.1	17.8	17.8	－	20.2	20.2	2.3
30歳代（N=192）	35.4	12.5	7.8	13.5	18.2	1.0	19.8	24.0	2.1
40歳代（N=215）	33.0	8.8	5.6	14.9	14.4	1.4	18.6	25.6	4.2
50歳代（N=220）	31.8	4.1	3.2	16.4	16.4	2.3	18.6	24.1	5.0
60歳代（N=295）	29.2	5.1	5.4	10.5	20.3	4.4	20.7	22.0	10.2
70歳代（N=245）	21.6	4.1	2.9	8.2	9.8	3.3	29.4	22.0	11.4
80歳代以上（N=64）	18.8	－	－	4.7	1.6	1.6	17.2	35.9	23.4
不明（N=9）	66.7	22.2	－	22.2	11.1	－	－	22.2	11.1

【比較】「生涯学習に関する世論調査」(H. 24 内閣府)の結果

*この1年くらいの間に「生涯学習をしたことがある」とする者で、生涯学習を通じて身につけた知識等を仕事や地域活動へ生かしたいと「思う」・「どちらかといえば思う」と答えた者に、複数回答 (N=868)

(10) 身につけた知識等を仕事や地域活動に生かすにあたっての課題

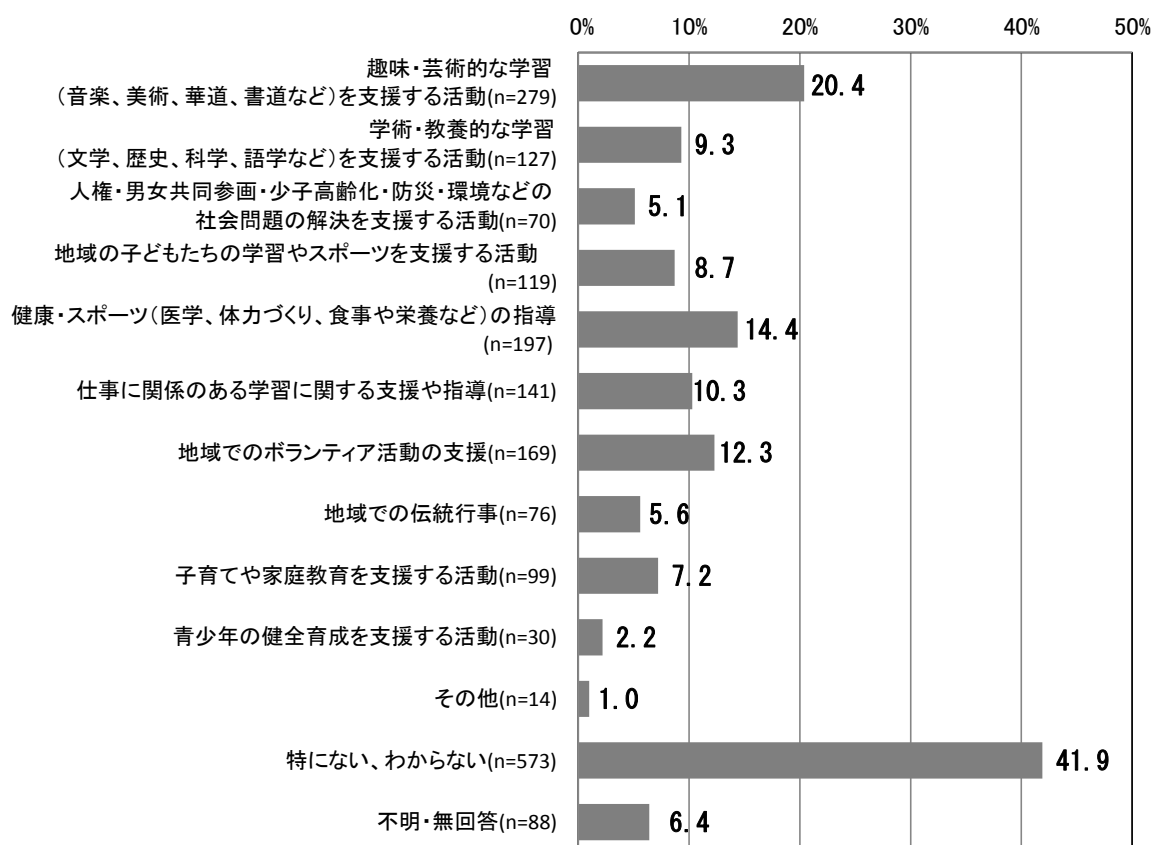


■問 15（3） あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を生かして、どのような活動に参加してみたいと思いますか。（MA）

生涯学習の成果を生かして参加してみたい活動としては、「特にない、わからない」が41.9%と最も高く、次いで「趣味・芸術的な学習を支援する活動」が20.4%、「健康・スポーツの指導」が14.4%となっています。

年代別でみても、どの年代においても「趣味・芸術的な学習を支援する活動」の割合が最も高くなっています。

N=1,369



(単位：%)

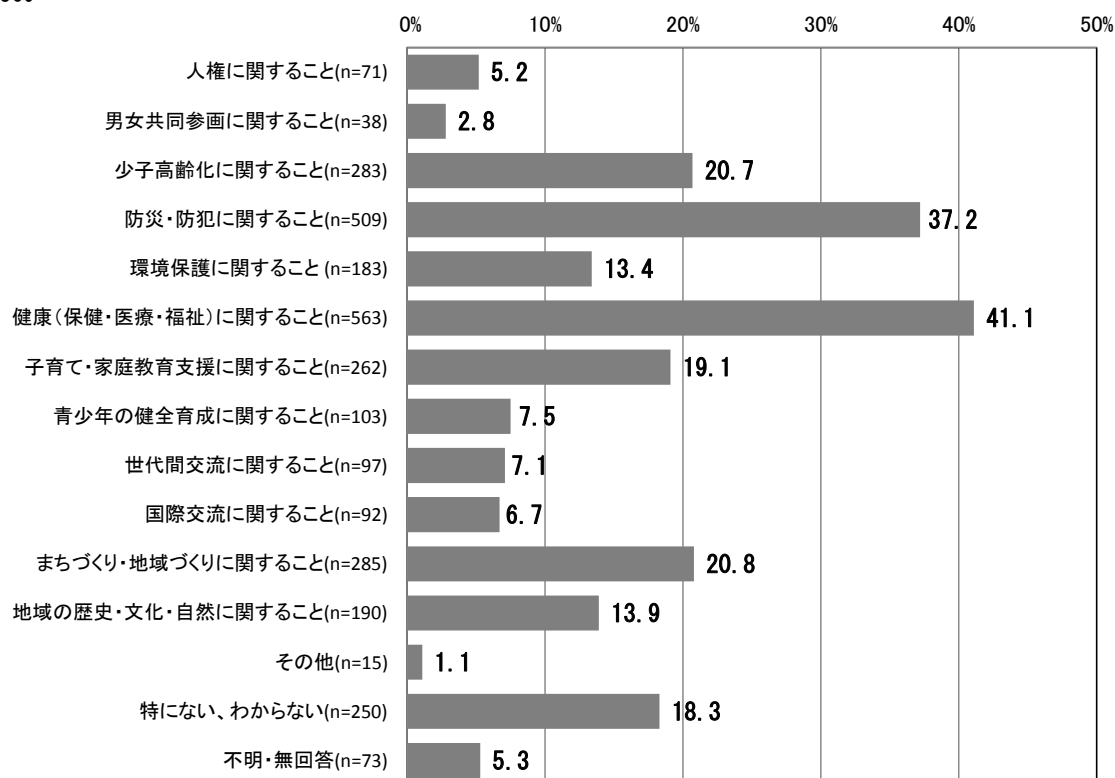
	趣味・芸術的な学習 (音楽、美術、華道、書道など)を支援する活動	学術・教養的な学習 (文学、歴史、科学、語学など)を支援する活動	人権・男女共同参画・少子高齢化・防災・環境などの社会問題の解決を支援する活動	地域の子どもの学習やスポーツを支援する活動	健康・スポーツ(医学、体力づくり、食事や栄養など)の指導	仕事に関係のある学習に関する支援や指導	地域でのボランティア活動の支援	地域での伝統行事	子育てや家庭教育を支援する活動	青少年の健全育成を支援する活動	その他	特にない、わからない	不明・無回答
全体 (N=1369)	20.4	9.3	5.1	8.7	14.4	10.3	12.3	5.6	7.2	2.2	1.0	41.9	6.4
【年代】													
20歳代 (N=129)	28.7	14.0	5.4	11.6	18.6	17.1	7.8	2.3	11.6	1.6	-	37.2	2.3
30歳代 (N=192)	22.4	9.9	3.6	15.6	19.3	17.2	13.5	5.7	19.3	3.1	-	36.5	2.6
40歳代 (N=215)	20.0	10.2	7.0	12.6	16.7	18.6	11.2	3.7	9.3	2.3	-	35.8	2.8
50歳代 (N=220)	21.8	12.3	7.3	8.6	14.5	13.2	14.5	6.4	7.3	3.6	1.8	35.9	4.5
60歳代 (N=295)	16.9	9.2	4.4	5.8	13.6	4.1	16.6	7.1	2.4	1.7	1.0	47.8	8.5
70歳代 (N=245)	19.6	5.7	4.1	3.7	9.8	2.0	9.4	6.5	1.6	1.6	2.9	49.4	9.0
80歳代以上 (N=64)	14.1	-	3.1	3.1	3.1	-	7.8	4.7	-	-	-	51.6	23.4
不明 (N=9)	11.1	-	-	-	22.2	-	-	-	-	-	-	44.4	22.2

■問 16 地域における課題として、あなたが関心のあるテーマはなんですか。（MA）

地域の課題で関心のあるテーマとしては、「健康に関すること」が41.1%と最も高く、次いで「防災・防犯に関すること」が37.2%「まちづくり・地域づくりに関すること」が20.8%となっています。

年代別でみると、20歳代と30歳代では「子育て・家庭教育支援に関すること」の割合が、40歳代以上では「健康に関すること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、30歳代～70歳代では「防災・防犯に関すること」の割合も高くなっています。

N=1,369



(単位：%)

	人権に関すること	男女共同参画に関すること	少子高齢化に関すること	防災・防犯に関すること	環境保護に関すること	健康(保健・医療・福祉)に関すること	子育て・家庭教育支援に関すること	青少年の健全育成に関すること	世代間交流に関すること	国際交流に関すること	まちづくり・地域づくりに関すること	地域の歴史・文化・自然に関すること	その他	特にない、わからない	不明・無回答
全体 (N=1369)	5.2	2.8	20.7	37.2	13.4	41.1	19.1	7.5	7.1	6.7	20.8	13.9	1.1	18.3	5.3
【年代】															
20歳代 (N=129)	10.9	7.0	14.0	28.7	8.5	28.7	30.2	6.2	7.0	10.9	24.0	16.3	2.3	17.8	1.6
30歳代 (N=192)	6.3	3.1	19.3	36.5	10.4	28.6	49.5	10.4	5.2	10.4	23.4	13.5	1.6	18.2	2.1
40歳代 (N=215)	3.7	4.7	20.9	40.5	14.0	42.8	28.4	9.3	4.7	9.3	20.5	11.2	1.4	15.3	2.8
50歳代 (N=220)	3.2	0.9	24.1	40.9	13.6	46.4	15.0	8.2	10.0	10.5	22.3	17.7	1.4	13.2	3.6
60歳代 (N=295)	4.7	3.1	23.7	40.7	20.3	49.8	7.1	7.1	7.8	4.4	22.7	17.3	-	17.6	6.1
70歳代 (N=245)	4.9	0.8	20.0	35.9	11.4	42.9	4.1	4.1	8.2	0.8	17.6	9.8	1.2	23.3	8.2
80歳代以上 (N=64)	6.3	-	17.2	23.4	6.3	35.9	1.6	9.4	4.7	-	9.4	7.8	-	29.7	18.8
不明 (N=9)	-	-	-	22.2	-	22.2	22.2	-	-	-	-	-	-	22.2	33.3

■問17（１） あなたは、この1年間にどのようなボランティア活動を行いましたか。（MA）
（２） 今後行ってみたいと思うボランティア活動（継続も含む）を選んでください。（MA）

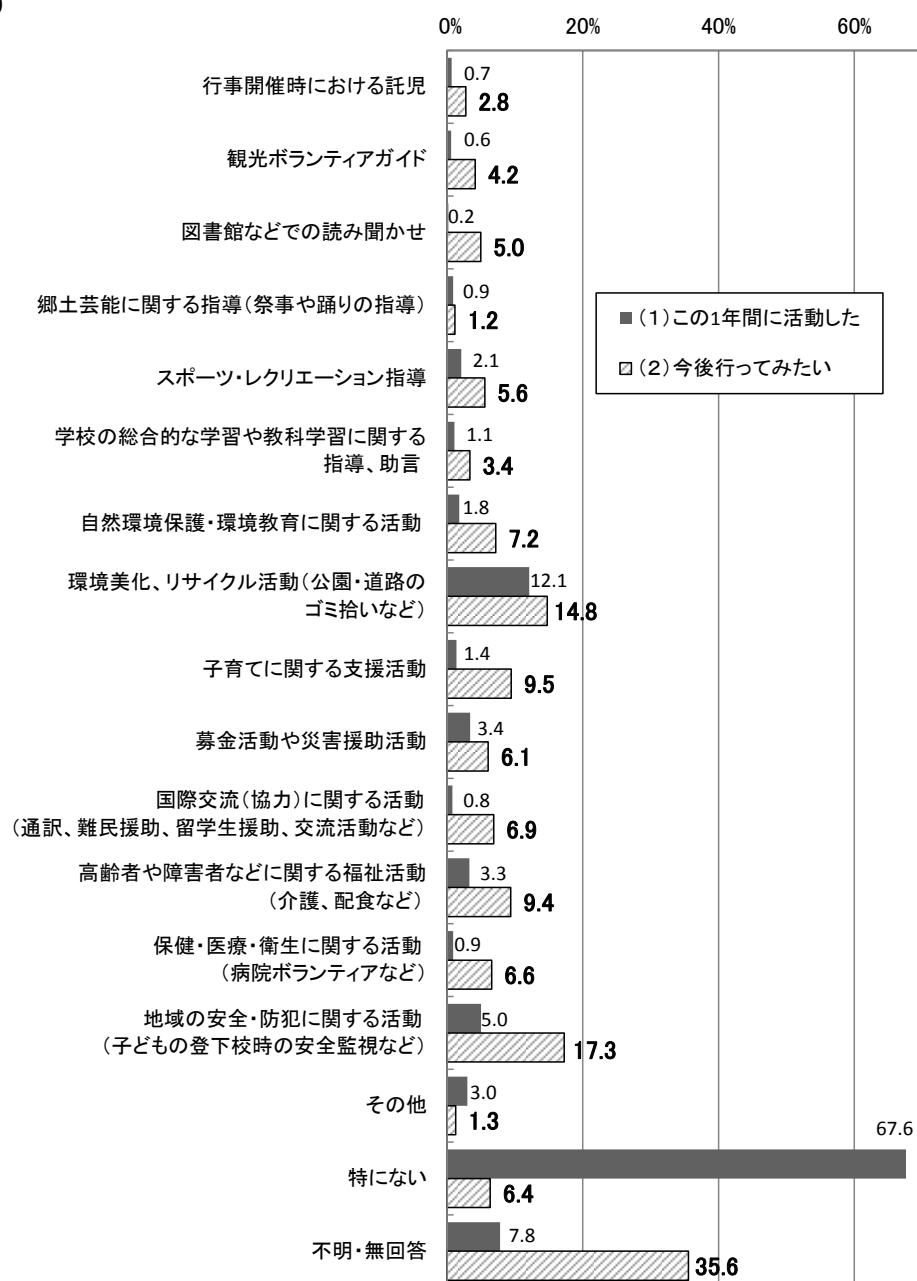
この1年間に行ったボランティア活動については、「特にない」が67.6%で最も高くなっています。

また、今後行ってみたいボランティア活動については、「地域の安全・防犯に関する活動」が17.3%、次いで「環境美化、リサイクル活動」が14.8%となっています。

今後行ってみたいボランティアについて年代別にみると、30歳代～70歳代で「地域の安全・防犯に関する活動」の割合が最も高くなっています。20歳代の意見は分散し、「環境美化、リサイクル活動」の割合が15.5%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション指導」「子育てに関する支援活動」「募金活動や災害援助活動」「国際交流（協力）に関する活動」がそれぞれ12.4%となっています。

H.21 調査と比べると、今後行ってみたいボランティア活動のうち「募金活動や災害援助活動」「地域の安全・防犯に関する活動」の割合が増えています。

N=1,369



(2) 今後行ってみたいボランティア活動

(単位：%)

	行事開催時における託児	観光ボランティアガイド	図書館などでの読み聞かせ	郷土芸能に関する指導（祭りや踊りの指導）	スポーツ・レクリエーション指導	学校の総合的な学習や教科学習に関する指導、助言	自然環境保護・環境教育に関する活動	環境美化、リサイクル活動（公園・道路のゴミ拾い活動など）	子育てに関する支援活動	募金活動や災害援助活動	国際交流（協力）に関する活動（通訳、難民援助、留学生活動など）	高齢者や障害者などに関する福祉活動（介護、配食など）	保健・医療・衛生に関する活動（病院ボランティアなど）	地域の安全・防犯に関する活動（子どもの登下校時の安全監視など）	その他	特にない	不明・無回答
全体（N=1369）	2.8	4.2	5.0	1.2	5.6	3.4	7.2	14.8	9.5	6.1	6.9	9.4	6.6	17.3	1.3	6.4	35.6
【年代】																	
20歳代（N=129）	3.9	7.8	3.9	1.6	12.4	7.0	8.5	15.5	12.4	12.4	12.4	5.4	10.1	9.3	-	10.1	20.2
30歳代（N=192）	5.2	4.2	5.2	1.0	8.9	2.6	4.7	13.5	18.2	5.7	9.9	5.7	10.4	19.8	1.6	11.5	21.9
40歳代（N=215）	4.7	6.5	8.8	1.4	6.5	7.0	7.4	15.3	15.3	9.3	11.6	8.8	5.1	16.7	2.8	5.1	23.3
50歳代（N=220）	4.1	4.1	6.8	0.5	4.1	5.0	8.6	15.5	10.0	6.4	9.1	11.4	11.8	15.9	0.9	6.4	29.1
60歳代（N=295）	1.0	4.7	4.1	1.4	4.4	2.4	10.5	15.3	5.8	5.4	4.1	10.8	3.7	21.7	0.3	3.1	42.0
70歳代（N=245）	0.4	0.8	3.3	1.6	3.3	-	4.1	16.3	2.4	2.9	0.8	13.1	3.3	18.4	2.0	4.9	52.2
80歳以上（N=64）	-	-	-	1.6	-	-	1.6	7.8	1.6	-	-	4.7	1.6	10.9	1.6	7.8	73.4
不明（N=9）	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	66.7

【比較】H. 21調査の結果 →

（この1年に行ったボランティア活動）

No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	行事開催時における託児	0.9	9
2	観光ボランティアガイド	0.6	6
3	図書館などでの読み聞かせ	1.0	10
4	郷土芸能に関する指導	0.5	5
5	スポーツ・レクリエーション指導	2.4	24
6	学校の総合的な学習や、教科学習に関する指導助言者	0.9	9
7	自然環境保護・環境教育に関する活動	0.8	8
8	環境美化、リサイクル活動	9.4	93
9	子育てに関する支援活動	3.0	30
10	募金活動や災害援助活動	1.8	18
11	国際交流（協力）に関する活動	0.3	3
12	高齢者や障害者などに関する福祉活動	3.9	39
13	保健・医療・衛生に関する活動	0.5	5
14	地域の安全・防犯に関する活動	5.8	57
15	その他	2.2	22
16	特にない	63.5	629
17	無記入	12.0	119
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

【比較】H. 21調査の結果 →

（今後行ってみたいボランティア活動）

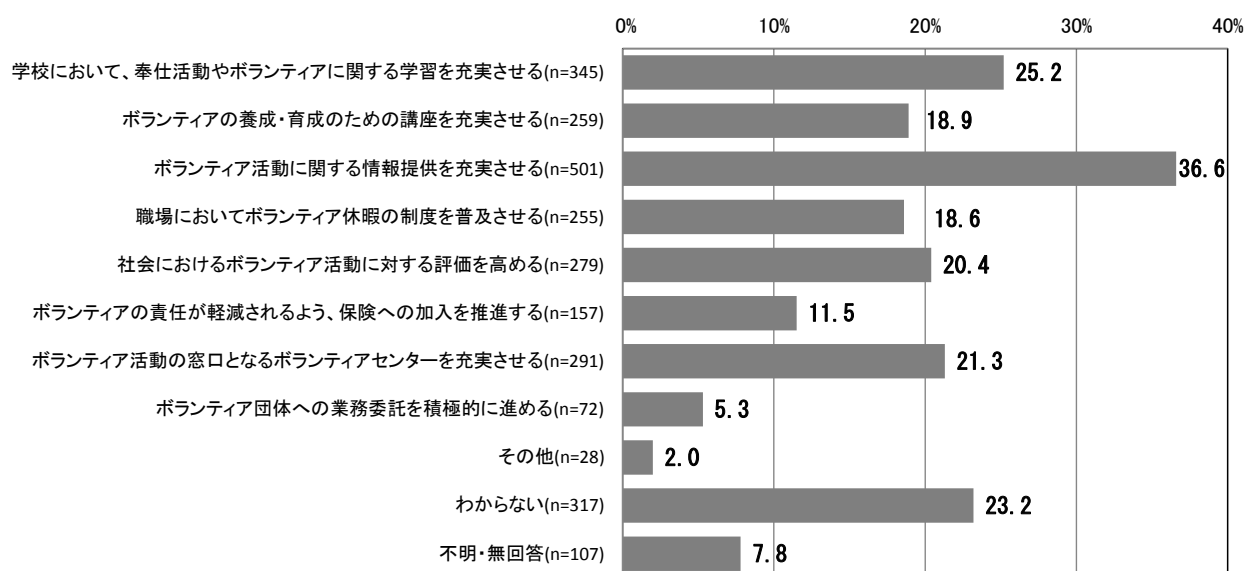
No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	行事開催時における託児	1.8	18
2	観光ボランティアガイド	3.6	36
3	図書館などでの読み聞かせ	4.1	41
4	郷土芸能に関する指導	1.6	16
5	スポーツ・レクリエーション指導	5.1	50
6	学校の総合的な学習や、教科学習に関する指導助言者	2.3	23
7	自然環境保護・環境教育に関する活動	8.3	82
8	環境美化、リサイクル活動	12.4	123
9	子育てに関する支援活動	6.4	63
10	募金活動や災害援助活動	3.0	30
11	国際交流（協力）に関する活動	4.8	48
12	高齢者や障害者などに関する福祉活動	8.2	81
13	保健・医療・衛生に関する活動	4.1	41
14	地域の安全・防犯に関する活動	9.2	91
15	その他	1.2	12
16	特にない	1.1	11
17	無記入	55.9	553
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

■問18 ボランティア活動をもっと盛んにするために、どのような取組みが必要だと思いますか。（MA）

ボランティア活動を盛んにする取組みとして必要なものとしては、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「学校において、奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」が 25.2%となっています。

H.21 調査では、「ボランティア活動に関する情報提供を充実させる」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「学校において、奉仕活動やボランティアに関する学習を充実させる」が 25.9%となっており、同じ傾向を示しています。

N=1,369



【比較】

H.21調査の結果 →

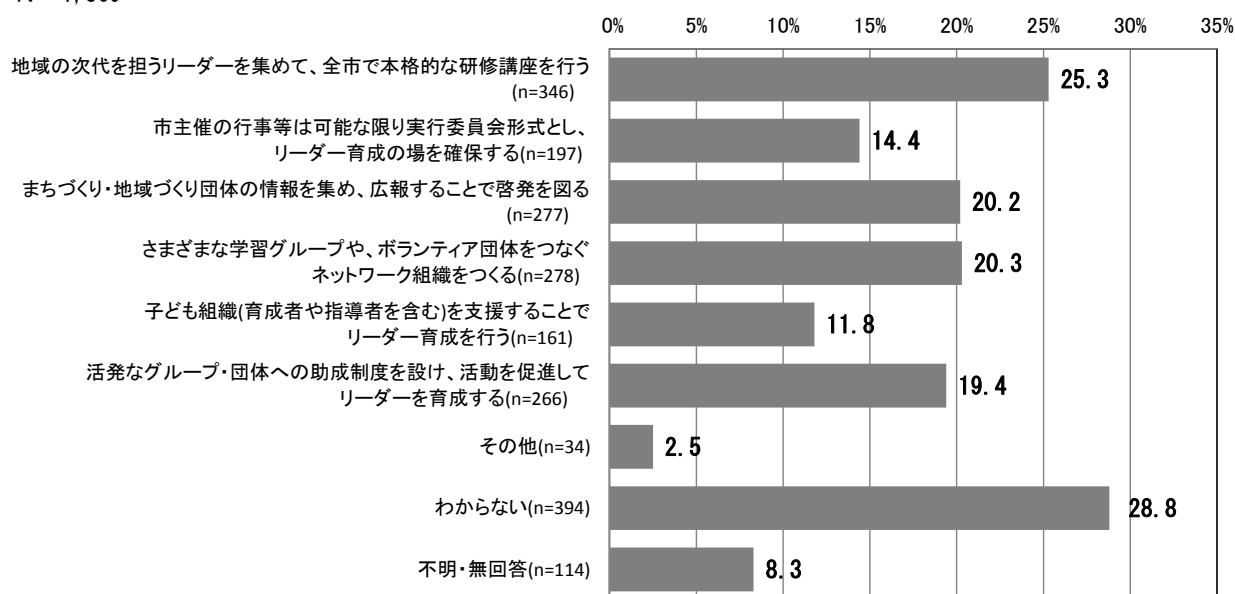
No.	カテゴリ	(全体)%	件数
1	学校において奉仕活動や、ボランティアに関する学習を充実させる	25.9	256
2	ボランティアの養成・育成のための講座を充実させる	19.3	191
3	ボランティア活動に関する情報提供を充実させる	39.6	392
4	職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	16.5	163
5	社会におけるボランティア活動に対する評価を高める	22.3	221
6	ボランティアの責任が軽減されるよう、保険への加入を推進する	10.5	104
7	ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターを整備する	19.4	192
8	ボランティア団体への業務委託を積極的に進める	6.0	59
9	その他	2.8	28
10	わからない	22.8	226
11	無記入	6.9	68
	サンプル数(%ベース)	100.0	990

■問19 生涯学習を通してリーダーや指導者を育成していくために必要なことはなんだと考えますか。（MA）

生涯学習を通してリーダーや指導者を育成するのに必要なことでは、「わからない」が28.8%と最も高く、次いで「地域の次代を担うリーダーを集めて、全市で本格的な研修講座を行う」が25.3%となっています。

年代別でみると、20歳代～40歳代、60歳代で「地域の時代を担うリーダーを集めて、全市で本格的な研修講座を行う」の割合が最も高くなっています。40歳代を除く年代で「まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る」、40歳代と50歳代で「さまざまな学習グループや、ボランティア団体をつなぐネットワーク組織をつくる」、30歳代～50歳代で「活発なグループ・団体への助成制度を設け、活動を促進してリーダーを育成する」の割合が高くなっています。

N=1,369



(単位：%)

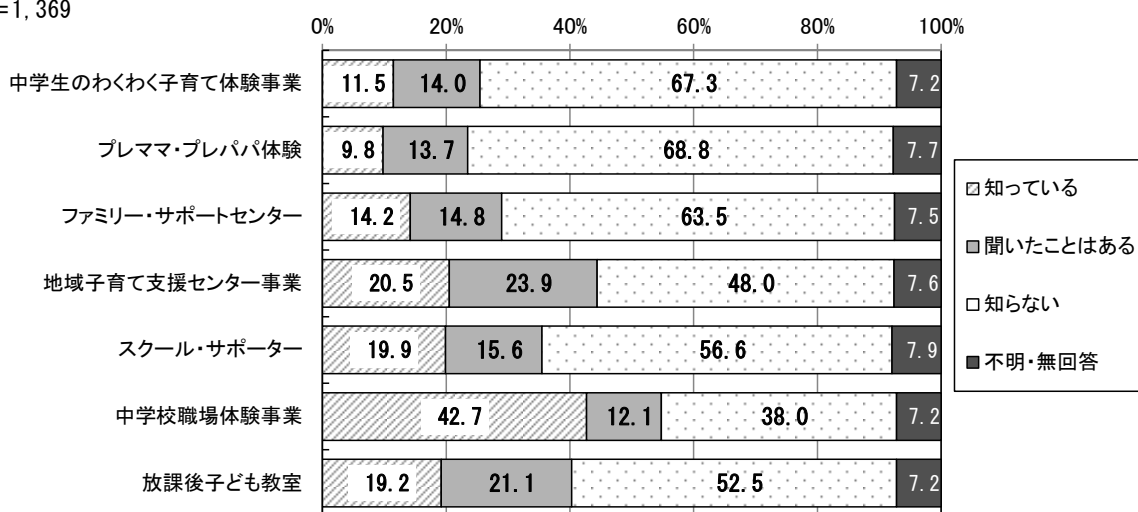
	地域の次代を担うリーダーを集めて、全市で本格的な研修講座を行う	市主催の行事等は可能な限り実行委員会形式とし、リーダー育成の場を確保する	まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る	さまざまな学習グループや、ボランティア団体をつなぐネットワーク組織をつくる	子ども組織(育成者や指導者を含む)を支援することでリーダー育成を行う	活発なグループ・団体への助成制度を設け、活動を促進してリーダーを育成する	その他	わからない	不明・無回答
全体 (N=1369)	25.3	14.4	20.2	20.3	11.8	19.4	2.5	28.8	8.3
【年代別】									
20歳代 (N=129)	24.0	16.3	21.7	23.3	14.7	17.1	3.1	23.3	1.6
30歳代 (N=192)	30.2	15.6	22.4	22.4	18.2	22.9	3.6	27.1	0.5
40歳代 (N=215)	26.0	14.4	15.8	26.0	15.8	24.2	2.3	29.3	3.3
50歳代 (N=220)	25.9	15.5	20.9	26.8	9.5	22.3	2.7	22.7	4.1
60歳代 (N=295)	27.8	14.9	21.4	19.7	10.8	19.7	1.7	29.8	9.8
70歳代 (N=245)	20.8	13.9	22.4	11.0	7.3	12.7	2.4	35.1	18.0
80歳代以上 (N=64)	14.1	3.1	10.9	7.8	3.1	15.6	1.6	37.5	25.0
不明 (N=9)	22.2	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	66.7

5. 生涯学習についての地域・学校・家庭の連携

■問20 あなたは、地域・学校・家庭が連携した「子育てに関わる学習」「地域に開かれた学校づくり」の推進に取り組む、桑名市の次の事業について知っていますか。
(S A)

子育てや学校づくりに関わる事業の認知度については、「地域子育て支援センター事業」と「中学校職場体験事業」以外の事業は、「知らない」の割合が5割を超えています。
年代別でみると、親の育成を目的とした事業についてはどの年代でも「知らない」が最も高く、子育ての助け合い事業については30歳代、40歳代で、地域の児童・生徒の支援事業については、30歳代～50歳代で認知度が高くなっています。

N=1,369

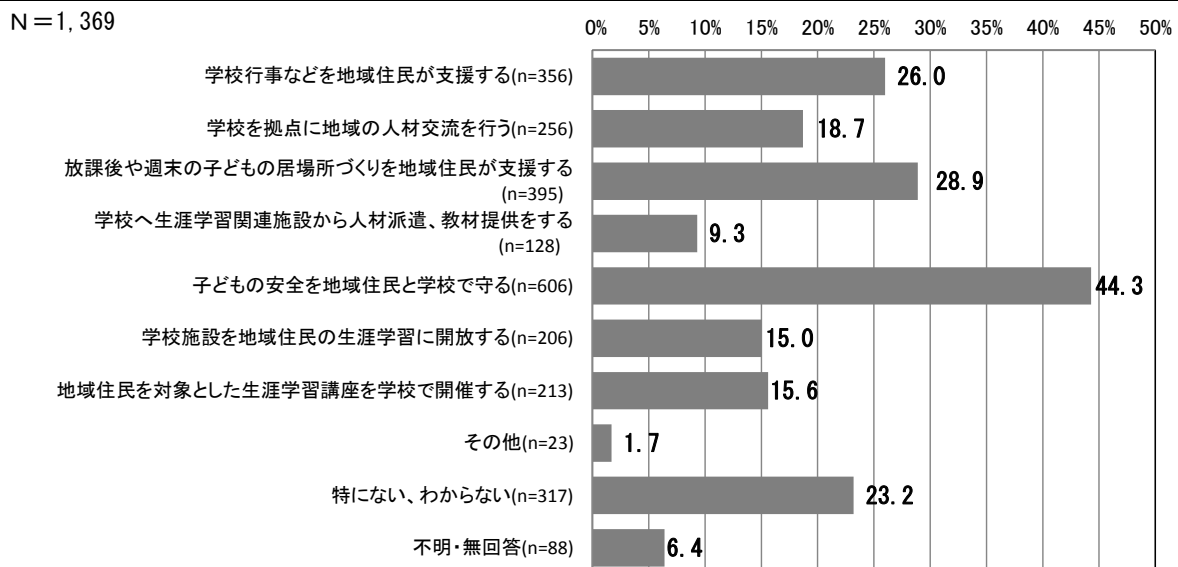


		知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答
20歳代 (N=129)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	4.7	15.5	78.3	1.6
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	8.5	13.2	76.7	1.6
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	9.3	10.9	79.1	0.8
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	13.2	22.5	63.6	0.8
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	15.5	13.2	69.8	1.6
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	56.6	6.2	36.4	0.8
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	16.3	16.3	66.7	0.8
30歳代 (N=192)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	26.6	16.1	57.3	—
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	27.1	19.3	53.6	—
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	28.6	21.9	49.5	—
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	46.4	22.9	30.7	—
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	25.0	16.1	58.3	0.5
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	47.9	16.1	35.9	—
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	19.3	22.4	58.3	—
40歳代 (N=215)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	20.5	18.1	59.5	1.9
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	16.7	18.6	62.8	1.9
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	26.0	16.7	55.3	1.9
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	34.9	25.6	37.7	1.9
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	39.5	16.3	42.3	1.9
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	60.9	9.3	27.9	1.9
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	22.3	26.0	49.3	2.3

		知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答	(単位: %)
50歳代 (N=220)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	8.2	14.1	75.9	1.8	
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	6.4	9.5	82.3	1.8	
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	14.5	15.0	68.6	1.8	
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	16.4	27.7	54.1	1.8	
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	25.5	16.8	55.9	1.8	
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	55.5	10.0	32.3	2.3	
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	25.5	19.5	53.2	1.8	
60歳代 (N=295)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	6.4	12.5	74.2	6.8	
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	3.4	12.9	76.9	6.8	
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	9.8	13.6	69.2	7.5	
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	12.5	29.2	50.8	7.5	
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	12.2	17.3	62.0	8.5	
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	33.9	13.2	46.1	6.8	
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	19.0	23.7	50.2	7.1	
70歳代 (N=245)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	6.9	11.8	63.3	18.0	
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	3.3	11.8	64.9	20.0	
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	4.1	13.5	63.7	18.8	
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	10.2	18.4	53.1	18.4	
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	10.2	13.5	57.1	19.2	
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	22.9	15.9	43.7	17.6	
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	14.7	20.4	46.9	18.0	
80歳代 (N=64)	[親の育成]中学生のわくわく子育て体験事業	3.1	7.8	57.8	31.3	
	[親の育成]プレママ・プレパパ体験	3.1	9.4	56.3	31.3	
	[子育ての助け合い]ファミリー・サポートセンター	1.6	3.1	62.5	32.8	
	[子育ての助け合い]地域子育て支援センター事業	3.1	7.8	54.7	34.4	
	[地域の児童・生徒の支援]スクール・サポーター	3.1	12.5	51.6	32.8	
	[地域の児童・生徒の支援]中学校職場体験事業	12.5	10.9	43.8	32.8	
	[地域の児童・生徒の支援]放課後子ども教室	10.9	9.4	50.0	29.7	

■問21 あなたは、地域の教育力向上を目的に、学校と家庭、地域住民の連携を推進するためには、どのような点に力を入れる必要があると思いますか。(MA)

地域の教育力向上のために必要なことでは、「子どもの安全を地域住民と学校で守る」が 44.3%と最も高く、次いで「放課後や週末の子どもの居場所づくりを地域住民が支援する」が 28.9%、「学校行事などを地域住民が支援する」が 26.0%となっています。

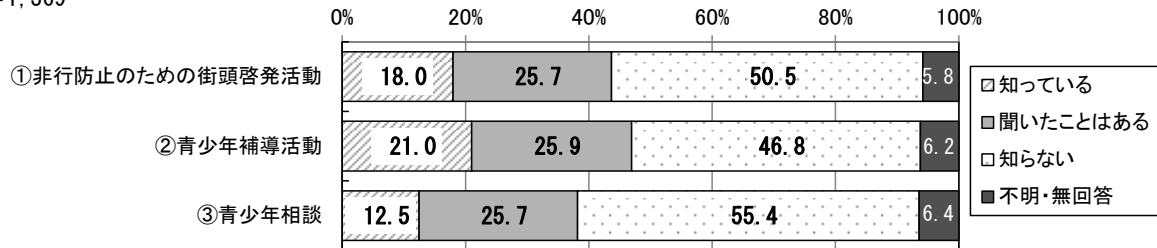


6. 青少年健全育成を推進するための市の取組み

■問22 あなたは、桑名市が青少年健全育成の推進として取り組んでいる次の事業を知っていますか。（S A）

青少年健全育成に関する事業の認知度については、「非行防止のための街頭啓発活動」と「青少年相談」の「知らない」が5割を超えています。

N=1,369



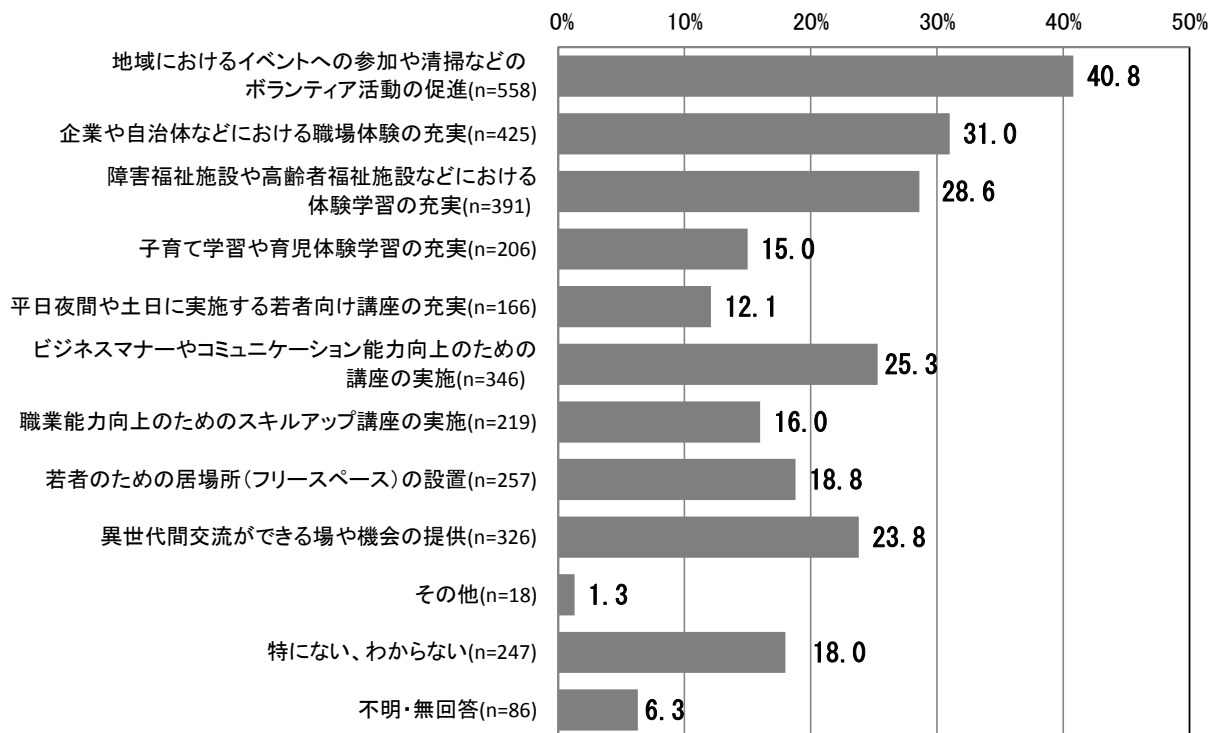
(単位: %)

		知っている	聞いたことはある	知らない	不明・無回答
20歳代 (N=129)	非行防止のための街頭啓発活動	7.8	20.9	71.3	—
	青少年補導活動	20.2	19.4	60.5	—
	青少年相談	12.4	24.0	63.6	—
30歳代 (N=192)	非行防止のための街頭啓発活動	15.6	23.4	60.9	—
	青少年補導活動	19.3	18.8	62.0	—
	青少年相談	14.6	25.5	59.9	—
40歳代 (N=215)	非行防止のための街頭啓発活動	18.6	22.8	56.7	1.9
	青少年補導活動	24.7	27.0	46.5	1.9
	青少年相談	16.3	24.7	57.2	1.9
50歳代 (N=220)	非行防止のための街頭啓発活動	20.5	28.2	49.5	1.8
	青少年補導活動	29.1	27.3	41.8	1.8
	青少年相談	15.0	28.2	55.0	1.8
60歳代 (N=295)	非行防止のための街頭啓発活動	21.7	29.8	43.7	4.7
	青少年補導活動	20.7	28.8	45.8	4.7
	青少年相談	12.5	25.8	56.3	5.4
70歳代 (=245)	非行防止のための街頭啓発活動	19.6	29.0	36.3	15.1
	青少年補導活動	16.3	31.0	35.5	17.1
	青少年相談	7.3	26.9	48.2	17.6
80歳代 (N=64)	非行防止のための街頭啓発活動	14.1	14.1	45.3	26.6
	青少年補導活動	10.9	21.9	40.6	26.6
	青少年相談	6.3	21.9	45.3	26.6

■問23 あなたは、地域の青少年（概ね中学生～高校生）に対する生涯学習施策として、どのような点に力を入れる必要があると思いますか。（MA）

青少年に対する生涯学習施策で必要なことについては、「地域におけるイベントへの参加や清掃などのボランティア活動の促進」が 40.8%と最も高く、次いで「企業や自治体などにおける職場体験の充実」が 31.0%、「障害福祉施設や高齢者福祉施設などにおける体験学習の充実」が 28.6%となっています。

N=1,369



7. その他の回答・自由回答

「その他」欄および「自由回答」欄への回答の主なものは次のとおりです。

<その他>

問2（1）この1年間に行った学習の内容

「その他」の内容	件数
国内外の子どもの貧困について	1
心理カウンセラー	1
スポーツ少年団の活動	1
人間関係力、コミュニケーション	1
ペット問題、動物愛護など	1
ボランティア活動	1
桑名に関連する歴史、旧跡	1

問4 どこで生涯学習を行っているか

「その他」の内容	件数
個人レッスン	5
自治会	2
撮影旅行先	1
道の駅	1
ホテル会議室	1
電車の中	1

問5 生涯学習を行う理由

「その他」の内容	件数
子どものため	5
婚活のため	1

問6 生涯学習を行っていない理由

「その他」の内容	件数
病気・ケガまたは体調不良のため	15
体が不自由なため	9
高齢のため	2
何をしたらいいかわからない	2
交通手段がない	2

問7（3）最近1年間に利用した施設の中で、最も頻繁に利用した施設の利用理由

「その他」の内容	件数
本等を読む・借りるため	15

「その他」の内容	件数
スポーツをするため	5
会場が指定されていた	2
放課後クラブのボランティアのため	2
家族や友人に誘われたため	2
ひまをつぶすため	2

問8 市内の公共施設を利用するうえでの問題点

「その他」の内容	件数
駐車場の問題（少ない、狭いなど）	23
交通手段がない、または不便	7
仕事で多忙のため時間がない	5
病気や高齢のため体が思うように動かない	4
施設が狭い	2
託児のある講座がほとんどない	2

問9 市が保有すべき公共施設を有効に活用しつつ、桑名市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」について必要だと思うこと

「その他」の内容	件数
閉園した公立幼稚園の利用	3
マーケティング調査による需要把握	2
施設統合による利便性向上、経費削減	2

問11 生涯学習を行う上で、充実を希望する情報等

「その他」の内容	件数
インターネット媒体でのわかりやすい情報発信	2
ランキング、人気ランキングレビューなどの感想	2
講座の空状況	1
駐車場の情報	1

問 12 市民が学習や文化・スポーツ活動により気軽に、積極的に参加できるようにする支援として、市や教育委員会などの行政機関が力を入れるべきだと思うこと

「その他」の内容	件数
駐車場の確保	5
無駄な予算の削減、無駄な事業の見直し	4
市民へのプロモーション活動の強化	3
施設の利用料金を下げる	3
交通網の充実	2
働いている人も参加しやすい曜日、時間帯の講座の開催	2
民間委託の拡大と管理方法見直し	2

問 15 (2) 生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたって困っていること

「その他」の内容	件数
年齢的・体力的に難しい	5
生かすための手段・場所確保が困難	2
時間が合わない	2

問 16 地域における課題として関心のあるテーマ

「その他」の内容	件数
独身者が多いことについて	1
農地の荒廃について	1
ボランティアについて	1

「その他」の内容	件数
芸術的なことについて	1

問 18 ボランティア活動をもっと盛んにするために必要な取り組み

「その他」の内容	件数
交通費、保険、謝礼などを支給する	7
気軽に参加できるようにする	2

問 19 生涯学習を通して地域のグループや団体、組織をまとめたりお世話したりするリーダーや指導者を育成していくために必要なこと

「その他」の内容	件数
リーダーに対する責任・仕事量の軽減	3
高齢者の有効活用	3
リーダー、指導者への報酬の充実	2
リーダー、指導者に対する評価を高める	2

問 21 地域の教育力向上を目的に、学校と家庭、地域住民の連携を推進するために力を入れるべきこと

「その他」の内容	件数
親や大人の教育をする	4
学校と企業が積極的に交流する	3
地域行事への参加を促進する	2

<自由回答> ※「これからの生涯学習の推進」について

【講座などに関して】

- 社会人、学生を問わず、資格取得のための夕方以降の講座などがあるといい
- 生涯学習には参加したいが、一人で参加することを躊躇している人向けに、「体験会」を行ってはどうか
- 月曜から金曜までは仕事があるため芸術的なものには参加できない。土、日の講座を充実させてほしい
- 平日昼間の講座の開催が多く、主婦向けだと思う。就労している人が参加できるような環境づくりをしてほしい
- 市の講座への参加意欲はあるが、いざ参加してみるとベテランばかりで初心者はほとんどいない。やはり経験者クラスとは分けてほしい
- 生涯学習の講座はお年寄り向けなものが多い。これからの人たちを対象にした講座をもっと増やすべき

- 老後を健康に過ごすために生涯学習は大切だ。各自生き方の考え方はあるだろうが、地域性も十分考慮し、できれば公民館活動など、より身近なところで学習できる講座があれば好ましい
- 公民館の講座は民間に比べ安価だし、物を売りつけられることなどがないので安心して受講できる。しかし、長年受講しているメンバーでグループができていて、入りにくいという話を聞く。若い人が入りやすいように、オープンな講座にしてほしい

【その他 事業に関して】

- 生涯学習に興味はあるが、パートタイマー等で日々の暮らしに追われてなかなか…。また、車のない者にとっては参加するためにもう少し巡回バス等を増やしてほしい
- 小、中、高に來ているALTの先生に、一般市民向けの授業も行ってほしい
- 自分たちの住んでいる街の歴史を知るための教育が必要だと思う
- 防災教育は喫緊の課題。津波から逃げるための教育を行ってほしい
- 60余年生きてきて、まだまだ知らないことがたくさんある。いろいろな分野の方たちの講演会があれば嬉しい
- パソコンの操作で困ったとき自由に聞ける場所がほしい
- お年寄り向けなのか、学生向けなのか、どちらを重視するのか、方針をはっきりさせた方がよい
- 大人になってからいろいろ学び直しをしたい人は、たくさんいる。学習できる場所が駅から近いとか駐車場がたくさんあると便利だ
- 地域のイベントに子どもが参加するよう、学校で伝えてもらおうとよい
- 桑名市は名古屋や四日市のベッドタウンというイメージが否めず、文化的事業がかなり不足しているように思う。人々はアクティビティを市外へ求めている。桑名市民会館を例にとっても、自主公演はしておらず、常に企画が持ち込まれるのを待っているという状態だ。結果、とても良いホールなのに利用料も高く、全く活用できないように思う
- もっと地域の行事についてアピールする機会を増やしてほしい
- 高齢者の活用を考えてほしい
- このアンケートで初めて知った事業名がたくさんある。知らないものをやろうと思う人は少ないと思うので、まずは事業の知名度を上げることが必要だと思う。このアンケートでいろいろな講座を知ったので、今度調べてみて何かに参加してみたい
- 市町村が行う必要性を感じない。お金を出してカルチャーセンターへ行った方が充実している。中途半端なことをするのは税金のムダ使い。各個人が自分のために自分で選択するのが生涯学習だ。中途半端なものを推進しても市民のためにならないのではないかと
- 異なる世代が幅広く集える方法、場所、イベントがあるとよい
- 誰もが参加できる生涯学習を行ってください。例えば、認知症に関すること、私たち老人の食生活、身体に関すること等
- 市の中心地に重点をおいて他の地域への支援は少なくなり、だんだん地域がさびれていく。中心地に行くには費用がかかり、今後大きな負担になる。市は地域を切り捨てている
- 長年名古屋に通勤し、桑名市の事業に参加する機会がなかった。最近、時間に余裕ができたが「生涯学習」等は女性の参加が多いので、男性でも参加しやすい企画をしてほしい。そういう企画もあるのかもしれないが情報が少なく、また調べる気になれない
- 市民を巻き込んだ防災ネットワークを生涯学習などを通して構築してほしい

【参加に関して】

- 40代後半になった自分でもできる生涯学習の何かに携われたらと考えている
- 60歳代までは、自分の仕事や生活で精一杯やってきたが、70歳を過ぎて自由な時間が少しできた今、何か始められることがあればいいと思う。今の関心は健康でいられること
- 80歳を超えた戦争経験者として、戦争体験や市に対する考えを話したいと思っている人が私のまわりにも数名いる。ぜひ話せる機会をもうけてほしい
- 現在働いていて、普段は生涯学習について考えていない。何かボランティアをしたいが、何をしたいのかわからない状態である
- 市が行っている生涯学習やボランティアなどの情報を目にしたことがないので、もっと多くの人がこのような情報を知る手段があればよい。私自身、難病で生きづらさを感じているので、これからはこのような活動に参加できる機会があればよい

【生涯学習全般について】

- 学校で、子どもたちと地域の人との交流があったり、地域でお互い顔の見えるコミュニケーションがとれると、よい街づくりや人との付き合いができる
- まず家庭からスタート、大人が子どものお手本になると地域が変わっていく。また、桑名に対しての愛着が必要になってくる
- 公民館講座の受講生には積極的な方が多く、ボランティアなど地域活動にも参加する方が多い。この方たちの活動が将来の桑名市をつくる土台の一つになる
- 現在は自分で行動できるが、足腰が弱くなったとき、近くで活動したり仲間と集える場所があると嬉しい
- 自治会の班長となって初めて体験させてもらったことが多いが、生涯学習に関しても知らないことが多いのにびっくりした。一人ひとりの意識を高めることも重要だが、市民と市役所のつながりがもっと密になり、理解してもらうことが一番だと考える
- 市に対して意見を言う前に、私自身わからないことが多く、もっと地域のことに関心を持たなければと思った
- 生涯学習が具体的にどのように市民生活に結びついているのか実感できない
- 生涯学習の場（公民館）が市の中心に集められ、不便な所に住んでいる人は行けない。たとえば、なぜ地域にあった“ふれあいサロン”が縮小、予算減となったのか。地域の運動会は、若い人も老人もみんなで盛り上がり、地域が活性していたのに、なぜなくなったのか。市の隅々まで目を向けるべき
- 生涯学習を広める第一段階として、生涯学習を行うメリットを伝えるとよい。社会のため・地域のためと考えることは立派だが、各個人がその体験・経験を経て得られるものを知ること、より前向きな取り組み姿勢や参加人数の増加が期待できる。個より人とつながりを強くすることでどう生活を豊かにできるのかわからなくなっている人が多いと感じる
- 人との関わりがだんだん減ってきた今日、学ぶ場所があることでつながりができれば、少しは暮らしやすくなるのかもしれない
- 名古屋で勤務していることもあり、地元桑名のことをよく知らないのが正直なところ。関心は強いので、引き続き活動促進をお願いする
- スポーツを通して仲間づくりや上下関係を学んだ。スポーツは人のつながりだけでなく、あいさつなど勉強以外のことをたくさん学べ、今の仕事も問題なく頑張れている
- 若い世代に生涯学習の大切さを伝えることが大事だ
- 自分自身のための生涯学習というより、3人の子どもの心身共に豊かな人間になってほしいという思いから、親子で一緒にできるものに参加したり、自分自身の知識を深めたりしたことが多かった

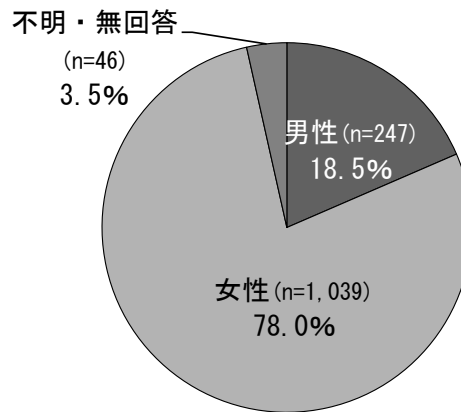
IV 集計結果(施設利用者アンケート)

回答者の属性

■ F 1 あなたの性別を教えてください。(S A)

回答者の性別は、全体で「男性」が 18.5%、「女性」が 78.0%となっており、女性の方が多くなっています。

N=1,332

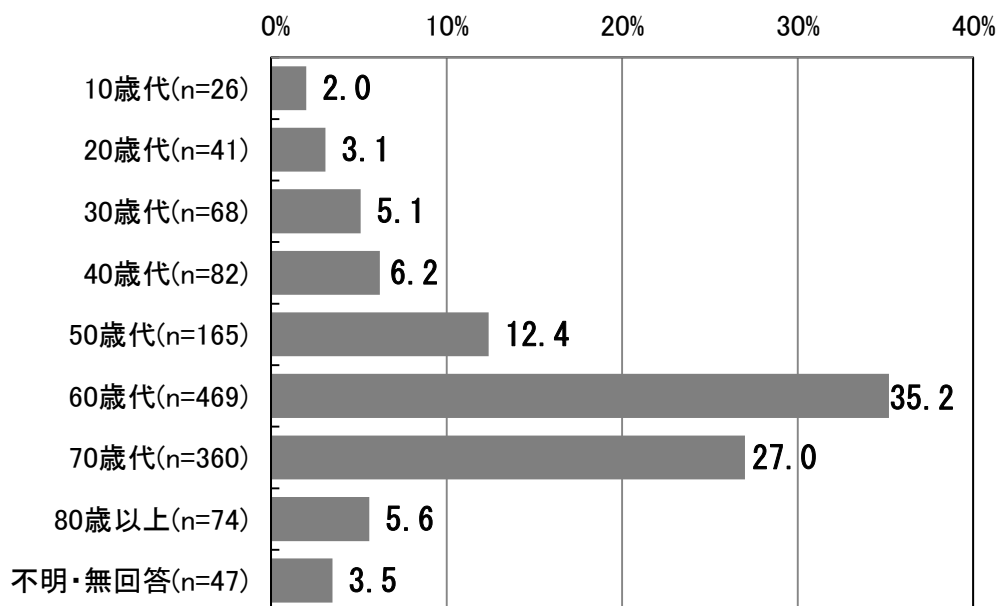


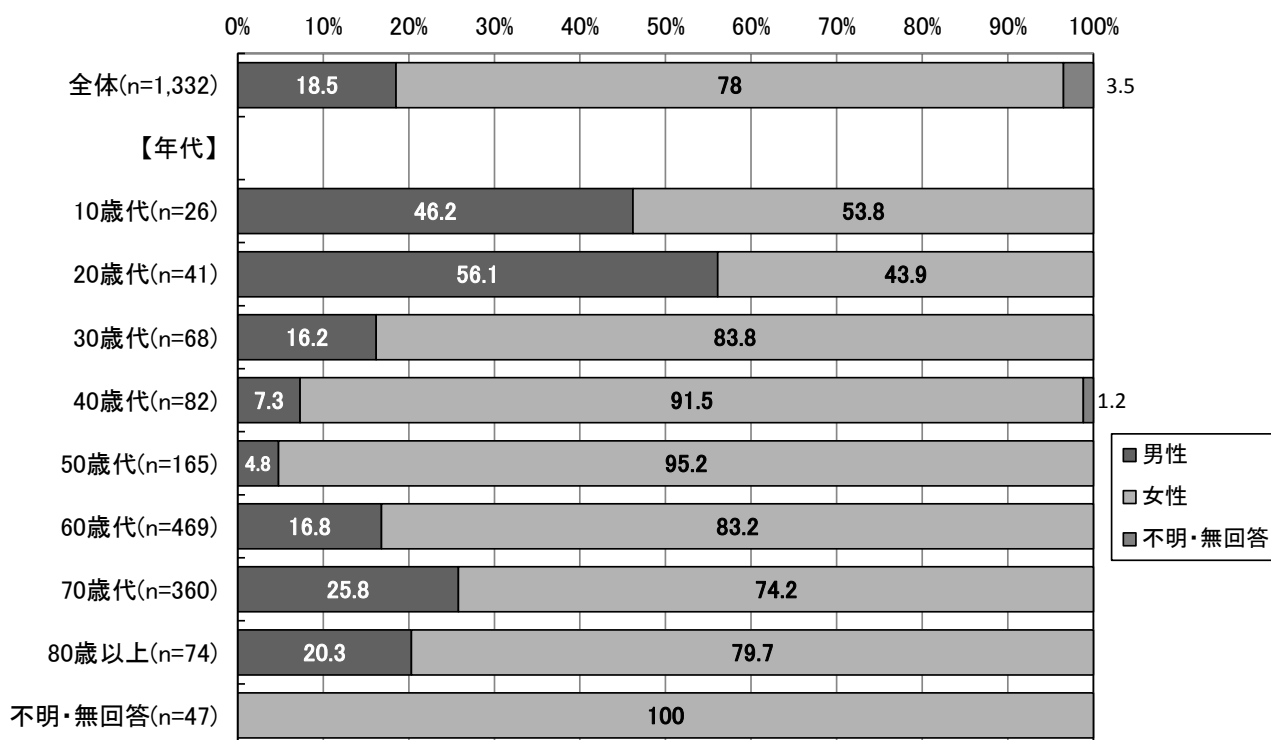
■ F 2 あなたの年代はどれですか。(S A)

年齢については、「60 歳代」が 35.2%で最も高く、次いで「70 歳代」の 27.0%、「50 歳代」が 12.4%となっています。

性別でみると、20 歳代以外の年代で女性が高く、30 歳代以上は 7 割を超えています。

N=1,332

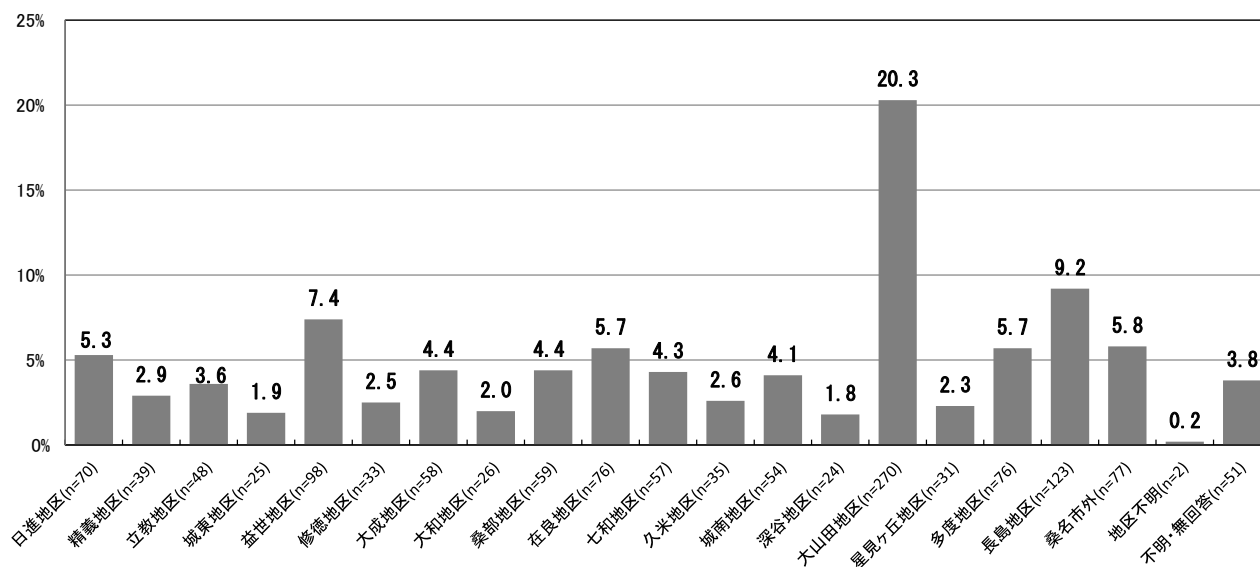




■ F 3 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(S A)

住んでいる地区については、「大山田地区」が20.3%と最も高く、次いで「長島地区」が9.2%、「益世地区」が7.4%となっています。

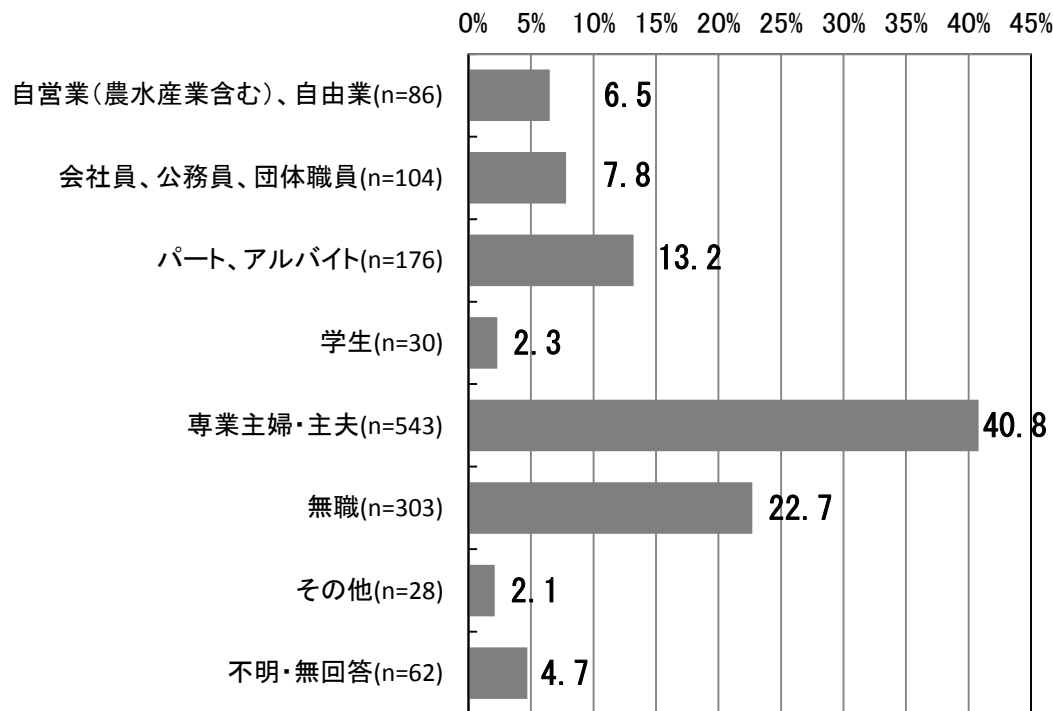
N=1,332



■ F 4 あなたの主な職業はどれですか。(S A)

回答者の職業をみると、「専業主婦・主夫」が40.8%で最も高く、次いで「無職」が22.7%、「パート、アルバイト」が13.2%となっています。

N=1,332



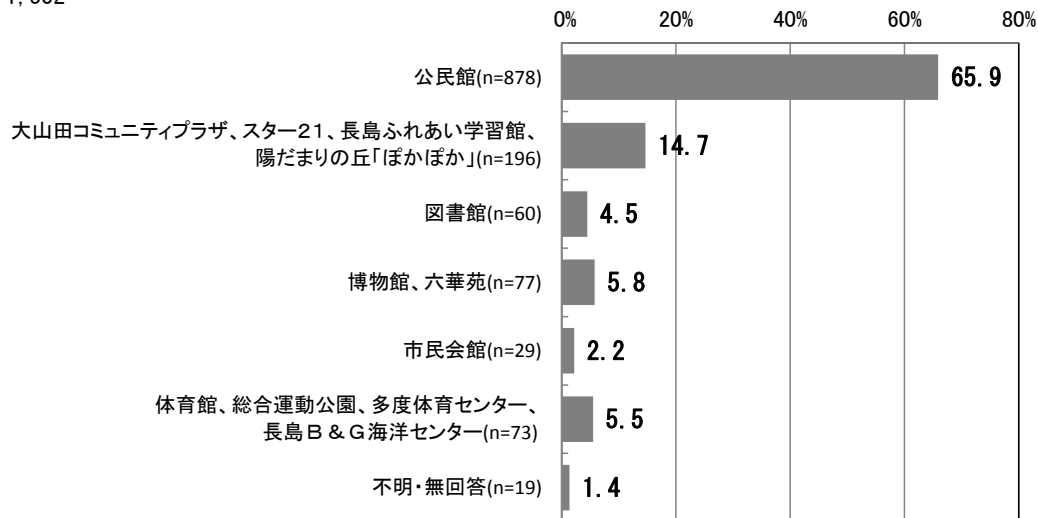
1. 桑名市の生涯学習関連施設について

■問1 あなたがこのアンケートを手にした場所を教えてください。（SA）

アンケートを手にした場所については、「公民館」が65.9%と最も高く、次いで「大山田コミュニティプラザ、スター21、長島ふれあい学習館、陽だまりの丘『ぽかぽか』」が14.7%となっています。

年代別でみると、すべての年代で「公民館」の割合が最も高くなっています。また10歳代では「体育館、総合運動公園、多度体育センター、長島B&G海洋センター」が、20歳代では「図書館」が、「公民館」と同じ割合で高くなっています。

N=1,332



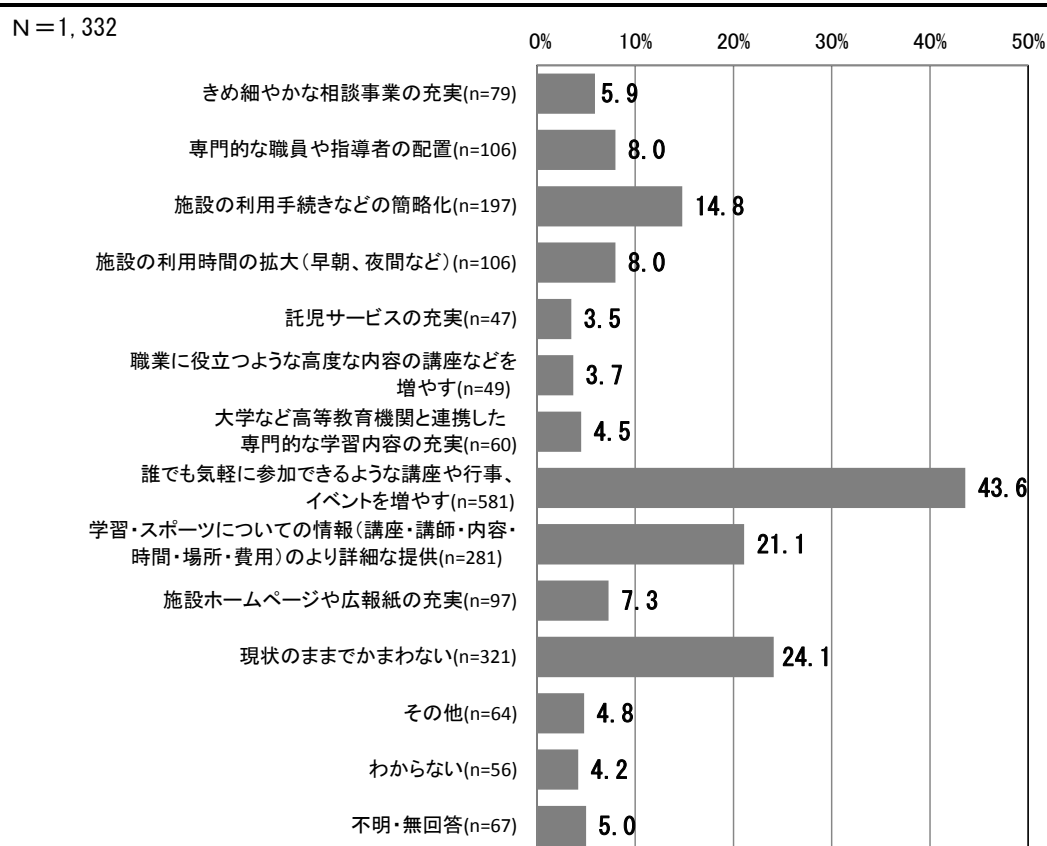
(単位：%)

	公民館	大山田コミュニティプラザ、スター21、長島ふれあい学習館、陽だまりの丘「ぽかぽか」	図書館	博物館、六華苑	市民会館	多度体育センター、長島B&G海洋センター、総合運動公園、体育館	不明・無回答
全体(n=1,332)	65.9	14.7	4.5	5.8	2.2	5.5	1.4
【年代】							
10歳代(n=26)	26.9	19.2	23.1	—	—	26.9	3.8
20歳代(n=41)	29.3	—	29.3	12.2	9.8	14.6	4.9
30歳代(n=68)	54.4	11.8	11.8	14.7	2.9	4.4	—
40歳代(n=82)	56.1	12.2	4.9	12.2	—	14.6	—
50歳代(n=165)	58.2	14.5	6.1	10.9	1.8	8.5	—
60歳代(n=469)	68.7	18.6	3.2	3.8	2.3	3.0	0.4
70歳代(n=360)	74.2	13.9	1.1	3.9	1.4	4.2	1.4
80歳以上(n=74)	89.2	5.4	—	—	2.7	1.4	1.4
不明・無回答(n=47)	53.2	17.0	2.1	4.3	4.3	2.1	17.0

■問2 あなたが今回利用した生涯学習関連施設について、希望や要望はありますか。
(MA)

利用した施設への希望や要望については、「誰でも気軽に参加できるような講座や行事、イベントを増やす」が43.6%と最も高く、次いで「現状のままでかまわない」が24.1%となっています。

年代別では、このほか、10歳代、30歳代、50歳代、60歳代で「学習・スポーツについての情報のより詳細な提供」の割合が高くなっています。



(単位：%)

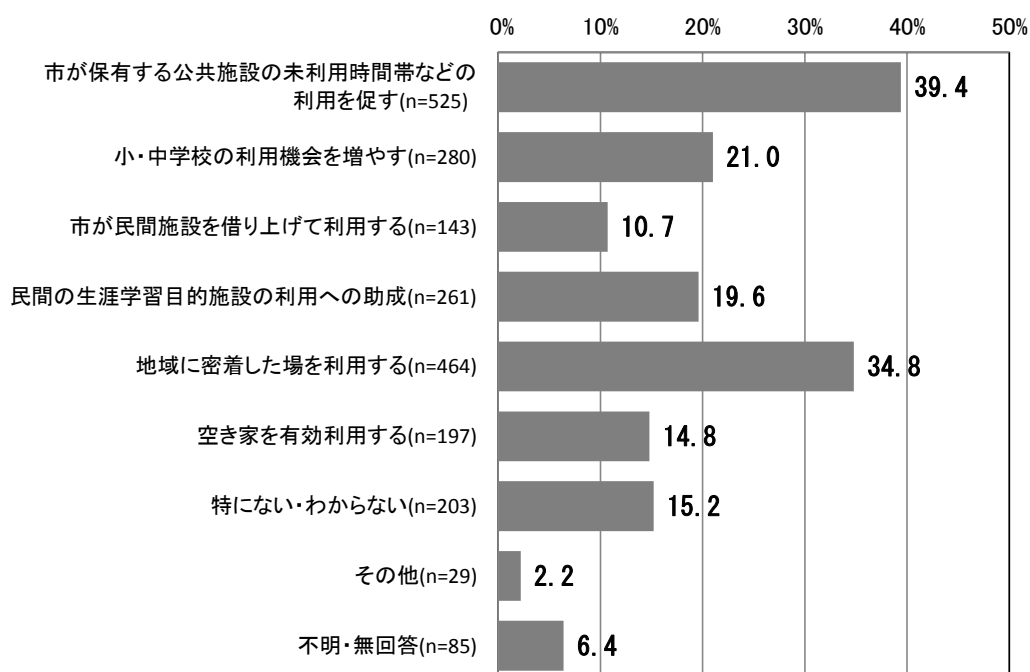
	きめ細やかな相談事業の充実	専門的な職員や指導者の配置	施設の利用手続きなどの簡略化	施設の利用時間の拡大(早朝、夜間など)	託児サービスの充実	職業に役立つような高度な内容の講座などを増やす	大学など高等教育機関と連携した専門的な学習内容の充実	誰でも気軽に参加できるような講座や行事、イベントを増やす	学習・スポーツについての情報(講座・講師・内容・時間・場所・費用)のより詳細な提供	施設ホームページや広報紙の充実	現状のままでかまわない	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=1,332)	5.9	8.0	14.8	8.0	3.5	3.7	4.5	43.6	21.1	7.3	24.1	4.8	4.2	5.0
【年代】														
10歳代(n=26)	-	7.7	3.8	15.4	-	-	11.5	15.4	23.1	-	26.9	7.7	19.2	11.5
20歳代(n=41)	26.8	4.9	9.8	4.9	4.9	4.9	-	26.8	12.2	12.2	12.2	4.9	4.9	4.9
30歳代(n=68)	10.3	7.4	10.3	17.6	17.6	8.8	2.9	33.8	22.1	7.4	16.2	4.4	2.9	2.9
40歳代(n=82)	1.2	7.3	11.0	12.2	6.1	11.0	2.4	42.7	19.5	3.7	28.0	3.7	4.9	-
50歳代(n=165)	7.3	9.1	11.5	8.5	4.2	5.5	5.5	54.5	20.6	8.5	14.5	7.3	3.6	2.4
60歳代(n=469)	3.8	7.2	16.8	7.0	3.4	2.6	6.0	46.7	28.4	7.2	24.3	4.9	3.8	3.2
70歳代(n=360)	6.9	8.6	15.6	6.9	1.1	2.2	3.3	40.8	16.1	7.2	27.5	4.7	3.9	6.4
80歳以上(n=74)	2.7	4.1	16.2	5.4	-	2.7	1.4	45.9	12.2	6.8	37.8	-	4.1	10.8
不明・無回答(n=47)	6.4	17.0	21.3	4.3	2.1	2.1	6.4	38.3	10.6	10.6	21.3	4.3	4.3	21.3

■問3 市は公共施設の最適な配置や総量の削減をしつつ、必要なサービスの維持が図れるよう取り組んでいます。こうした状況の中、保有すべき公共施設を有効に活用しつつ、桑名市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」について必要だと思われることを選んでください。(MA)

市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」については、「市が保有する公共施設の未利用時間帯などの利用を促す」が39.4%と最も高く、次いで「地域に密着した場所を利用する」が34.8%、「小・中学校の利用機会を増やす」が21.0%となっています。

年代別でみると、30歳代以下で「小・中学校の利用機会を増やす」の割合が高く、40歳代以上で「地域に密着した場を利用する」の割合が高くなっています。

N=1,332



(単位: %)

	設 市 の が の 未 利 用 有 す る 時 間 公 共 施 設	小 ・ 中 学 校 の 利 用 機 会 を 増 や す	市 が 民 間 施 設 を 借 り 上 げ て 利 用 す る	民 間 の 生 涯 学 習 目 的 施 設 の 利 用 に 向 け た 助 成	地 域 に 密 着 し た 場 を 利 用 す る	空 き 家 を 有 効 利 用 す る	特 に な い ・ わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=1,332)	39.4	21.0	10.7	19.6	34.8	14.8	15.2	2.2	6.4
【年代】									
10歳代(n=26)	7.7	38.5	7.7	7.7	11.5	23.1	34.6	3.8	11.5
20歳代(n=41)	63.4	39.0	26.8	9.8	17.1	12.2	9.8	7.3	2.4
30歳代(n=68)	38.2	30.9	8.8	11.8	19.1	13.2	17.6	4.4	4.4
40歳代(n=82)	39.0	26.8	8.5	20.7	31.7	13.4	17.1	4.9	2.4
50歳代(n=165)	45.5	22.4	12.1	22.4	38.2	12.1	9.7	0.6	4.2
60歳代(n=469)	43.5	22.8	9.4	19.6	40.3	16.0	13.4	2.1	3.6
70歳代(n=360)	34.7	16.1	12.5	23.6	36.9	14.4	16.1	1.4	9.4
80歳以上(n=74)	31.1	5.4	5.4	13.5	25.7	12.2	25.7	1.4	10.8
不明・無回答(n=47)	25.5	10.6	8.5	12.8	23.4	21.3	17.0	2.1	21.3

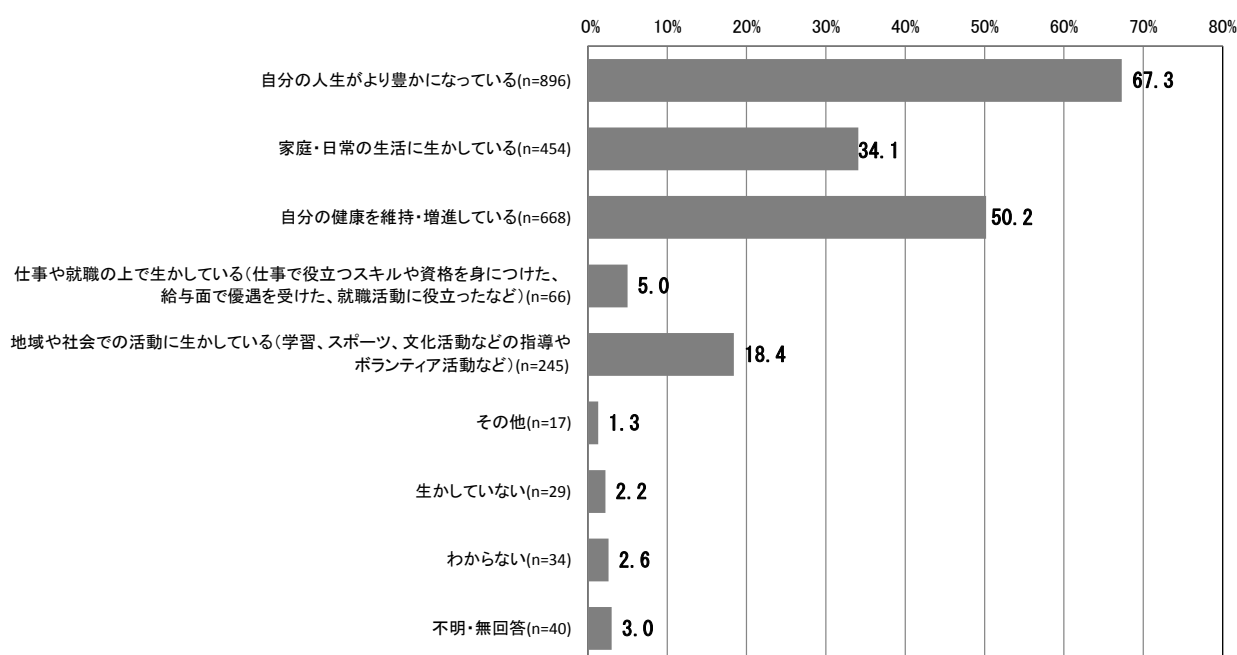
2. 生涯学習の成果について

■問4 あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。(MA)

生涯学習の成果の生かし方については、「自分の人生がより豊かになっている」が67.3%と最も高く、次いで「自分の健康を維持・増進している」が50.2%、「家庭・日常の生活に生かしている」が34.1%となっています。

年代別でみると、すべての年代で「自分の人生がより豊かになっている」の割合が最も高くなっています。

N=1,332



(単位：%)

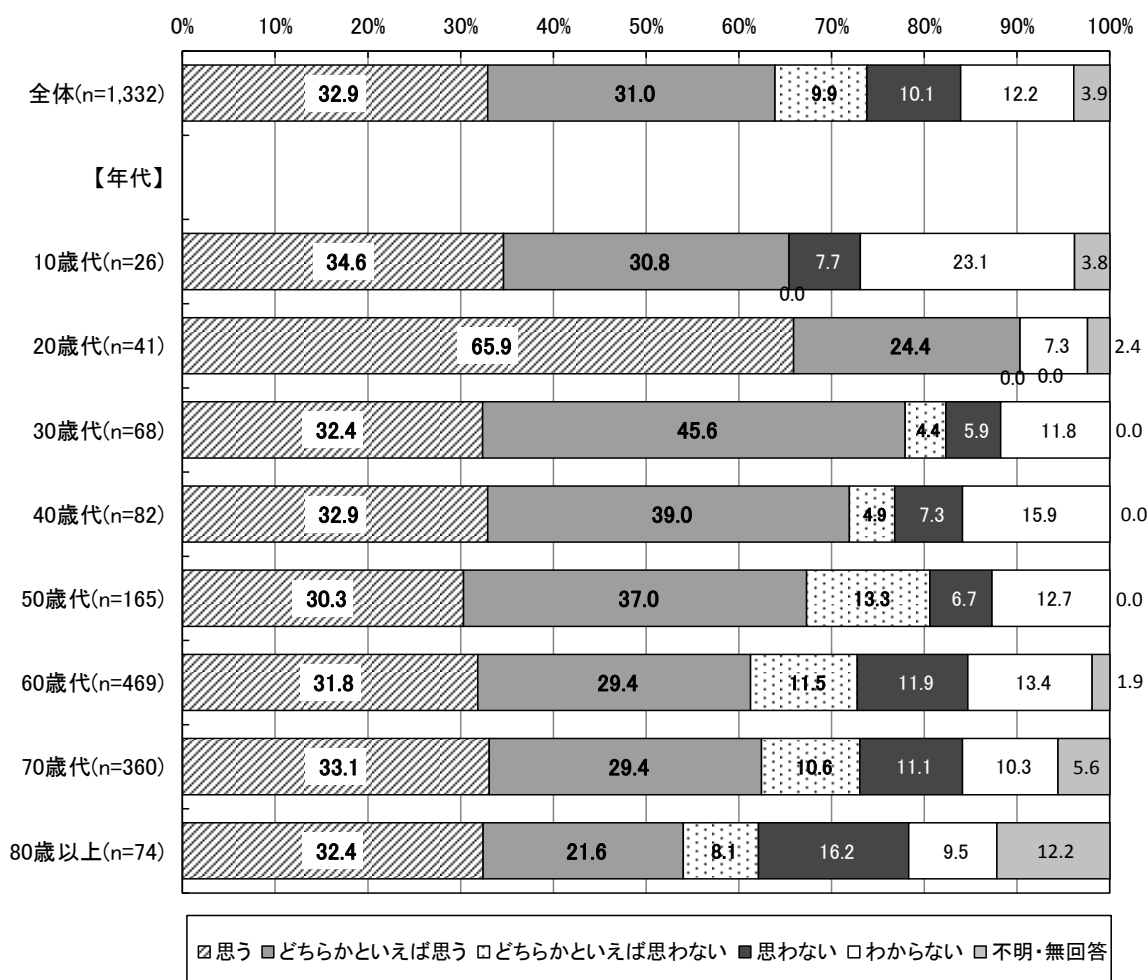
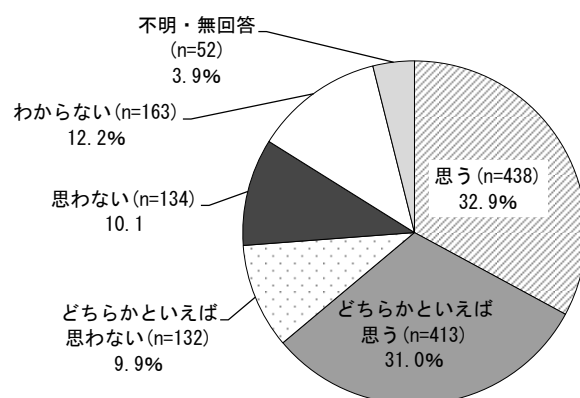
	自分の人生がより豊かになっている	家庭・日常の生活に生かしている	自分の健康を維持・増進している	仕事や就職の上で生かしている	地域や社会での活動に生かしている	その他	生かしていない	わからない	不明・無回答
全体(n=1,332)	67.3	34.1	50.2	5.0	18.4	1.3	2.2	2.6	3.0
【年代】									
10歳代(n=26)	34.6	30.8	15.4	—	23.1	—	3.8	15.4	7.7
20歳代(n=41)	39.0	19.5	17.1	12.2	24.4	7.3	2.4	4.9	2.4
30歳代(n=68)	61.8	48.5	20.6	19.1	19.1	1.5	2.9	2.9	—
40歳代(n=82)	69.5	41.5	35.4	11.0	13.4	—	1.2	4.9	2.4
50歳代(n=165)	69.7	35.8	46.7	7.9	13.3	1.2	1.2	0.6	0.6
60歳代(n=469)	72.9	36.0	54.8	3.4	20.5	1.3	1.9	1.9	1.1
70歳代(n=360)	66.9	28.3	57.2	1.9	19.7	0.8	3.6	2.2	4.4
80歳以上(n=74)	67.6	28.4	66.2	—	10.8	1.4	—	4.1	4.1
不明・無回答(n=47)	51.1	42.6	53.2	6.4	17.0	2.1	—	2.1	21.3

■問5（1） あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。（S A）

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かしたいかどうかについては、『生かしたいと思う』（「思う」と「どちらかといえば思う」の合計）が 63.9%、『生かしたいと思わない』（「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計）が 20.0%となっています。

年代別でみると、20 歳代で『生かしたいと思う』の割合が最も高く 90.3%となっています。また、30 歳代～70 歳代で『生かしたいと思う』の割合が6割を超えています。

N=1,332

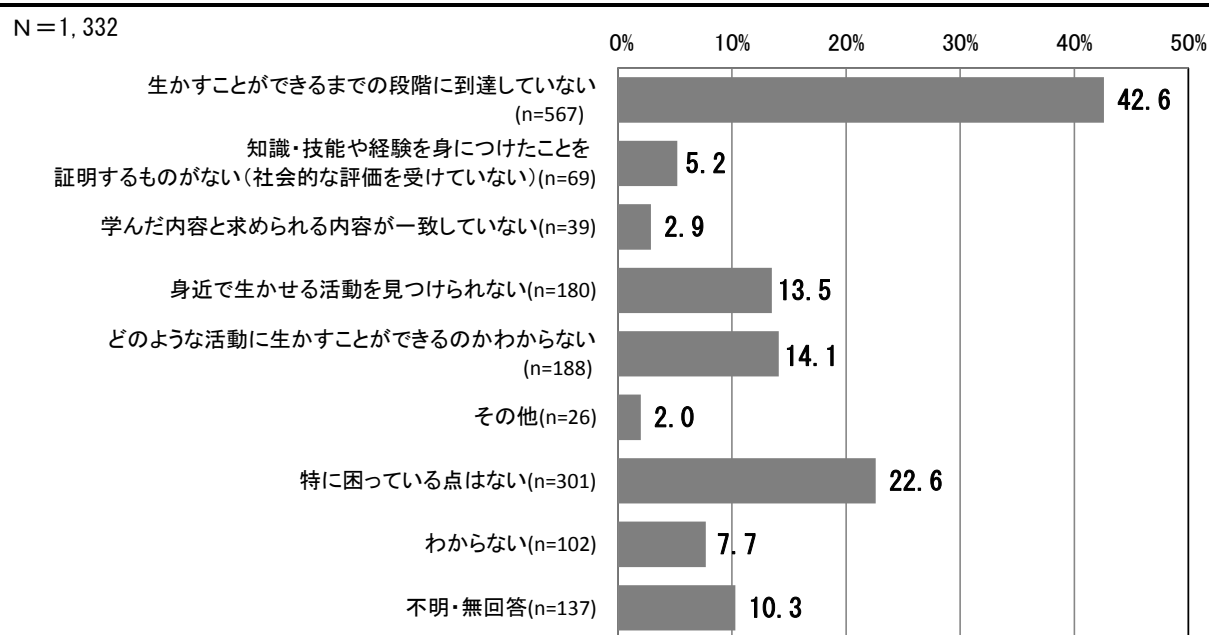


■問5（2） あなたが、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かすにあたってお困りの点はなんですか。（MA）

生涯学習の成果を仕事や地域活動に生かす際の障害については、「生かすことができるまでの段階に到達していない」が 42.6%と最も高く、次いで「特に困っている点はない」が 22.6%となっています。

年代別にみると、20 歳代以上の年代で「生かすことができるまでの段階に到達していない」の割合が最も高くなっています。

また、30 歳代で「どのような活動に生かすことができるのかわからない」の割合が、比較的高くなっています。



(単位 ; %)

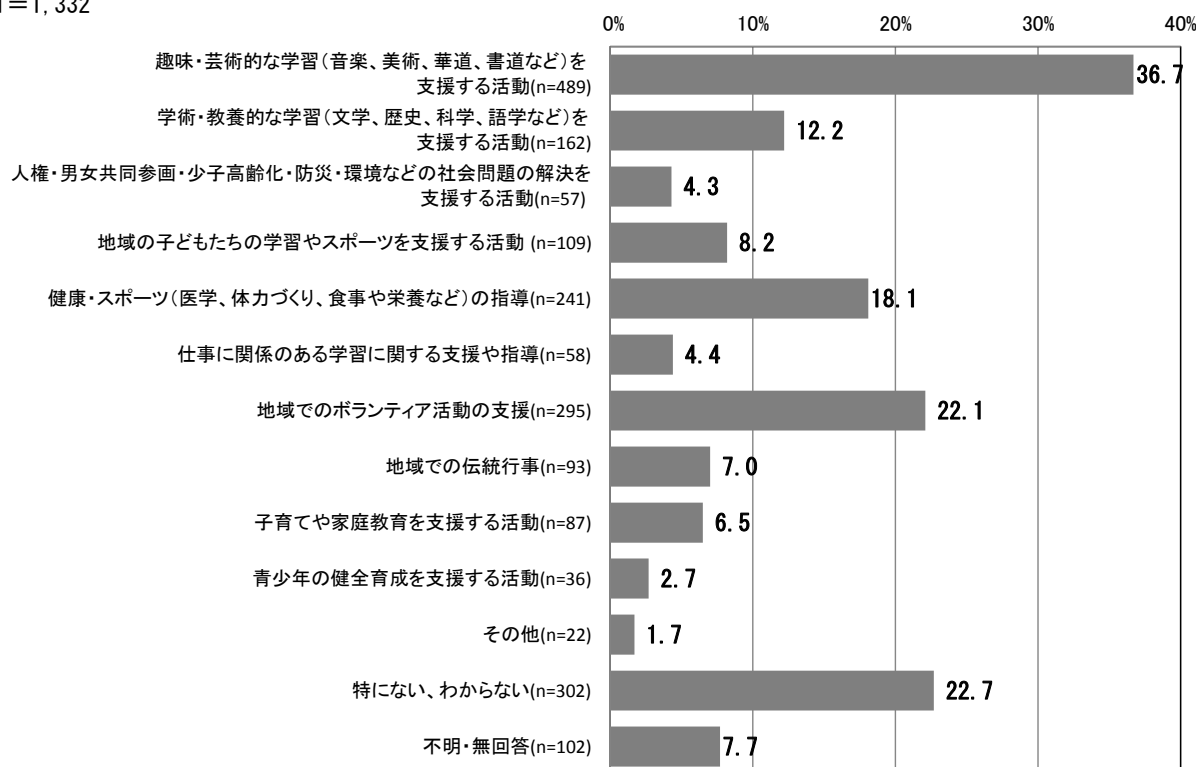
	生かすことができるまでの段階に到達していない	知識・技能や経験を身につけたことを証明するものがない(社会的な評価を受けていない)	学んだ内容と求められる内容が一致していない	身近で生かせる活動を見つけられない	どのような活動に生かすことができるのかわからない	その他	特に困っている点はない	わからない	不明・無回答
全体(n=1,332)	42.6	5.2	2.9	13.5	14.1	2.0	22.6	7.7	10.3
【年代】									
10歳代(n=26)	11.5	-	3.8	7.7	7.7	-	30.8	34.6	11.5
20歳代(n=41)	46.3	9.8	2.4	9.8	14.6	4.9	19.5	7.3	4.9
30歳代(n=68)	36.8	14.7	2.9	19.1	25.0	-	20.6	4.4	2.9
40歳代(n=82)	50.0	13.4	2.4	14.6	19.5	1.2	20.7	3.7	1.2
50歳代(n=165)	49.1	3.6	2.4	14.5	15.8	1.2	25.5	6.1	5.5
60歳代(n=469)	47.8	4.7	4.1	13.4	16.2	1.7	23.0	6.6	6.4
70歳代(n=360)	37.5	3.1	2.8	14.7	10.0	2.5	21.7	9.4	15.3
80歳以上(n=74)	33.8	4.1	-	4.1	2.7	5.4	27.0	6.8	21.6
不明・無回答(n=47)	29.8	4.3	-	12.8	14.9	-	12.8	8.5	40.4

■問5（3） あなたは、生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を生かして、どのような活動に参加してみたいと思いますか。（MA）

生涯学習の成果を生かして参加してみたい活動としては、「趣味・芸術的な学習を支援する活動」が36.7%で最も高く、次いで「地域でのボランティア活動の支援」が22.1%、「健康・スポーツの指導」が18.1%となっています。

年代別でみると、10歳代～70歳代で「趣味・芸術的な学習」の割合が最も高くなっています。20歳代～50歳代で「健康・スポーツの指導」、30歳代、50歳代～70歳代で「地域でのボランティア活動の支援」の割合が高くなっています。

N=1,332



(単位：%)

	趣味・芸術的な学習(音楽、美術、華道、書道など)を支援する活動	学術・教養的な学習(文学、歴史、科学、語学など)を支援する活動	人権・男女共同参画・少子高齢化・防災・環境などの社会問題の解決を支援する活動	地域の子どもたちの学習やスポーツを支援する活動	健康・スポーツ(医学、体力づくり、食事や栄養など)の指導	仕事に関係のある学習に関する支援や指導	地域でのボランティア活動の支援	地域での伝統行事	子育てや家庭教育を支援する活動	青少年の健全育成を支援する活動	その他	特にない、わからない	不明・無回答
全体(n=1,332)	36.7	12.2	4.3	8.2	18.1	4.4	22.1	7.0	6.5	2.7	1.7	22.7	7.7
【年代】													
10歳代(n=26)	46.2	19.2	7.7	11.5	11.5	3.8	3.8	-	3.8	-	-	38.5	3.8
20歳代(n=41)	48.8	17.1	2.4	4.9	19.5	17.1	7.3	12.2	7.3	-	-	4.9	4.9
30歳代(n=68)	38.2	16.2	1.5	13.2	17.6	16.2	17.6	8.8	17.6	2.9	-	11.8	1.5
40歳代(n=82)	30.5	14.6	2.4	14.6	19.5	7.3	17.1	4.9	13.4	3.7	-	26.8	2.4
50歳代(n=165)	42.4	19.4	3.6	7.3	22.4	3.6	21.2	4.8	7.3	1.8	1.8	21.2	1.8
60歳代(n=469)	38.0	11.7	6.0	9.0	18.3	3.2	27.9	8.1	5.8	3.2	0.9	24.5	4.5
70歳代(n=360)	32.8	7.8	3.6	6.7	15.8	2.8	21.9	7.5	4.7	2.5	3.3	22.5	12.2
80歳以上(n=74)	28.4	9.5	1.4	1.4	13.5	-	16.2	6.8	-	1.4	4.1	31.1	18.9
不明・無回答(n=47)	40.4	10.6	6.4	8.5	25.5	4.3	17.0	-	8.5	6.4	-	12.8	29.8

3. その他の回答・自由回答

「その他」欄および「自由回答」欄への回答の主なものは次のとおりです。

<その他>

問2 今回利用した生涯学習関連施設についての希望や要望

「その他」の内容	件数
施設利用料の軽減	7
最低限気持ち良く使える設備の維持	7
エレベーターの設置	6
公民館講座の3年以上継続可能化	4
施設の充実	4
講座の回数の増	3
多少の音量は認めてほしい	3
飲食を可能にしてほしい	2

問3 市が保有すべき公共施設を有効に活用しつつ、桑名市民が生涯学習を推進・充実させていくために利用・参加できる「場」について必要だと思うこと

「その他」の内容	件数
現施設のさらなる有効利用	2
現状維持	2
民間とのコラボ	2

問4 生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしているか

「その他」の内容	件数
人との交流に生かしている	5
国際交流活動に生かしている	1

問5 (2) 生涯学習を通して身につけた知識・技能や経験を仕事や地域活動に生かすにあたって困っていること

「その他」の内容	件数
年齢や体力的な面で心配	5
場所、機会が見つからない	2
仕事の都合で時間がない	2

<自由回答> ※「市内の生涯学習関連施設」について

○図書館について、持込学習が可能な自習席をもっと増やしてほしい。狭くなってもいいので席数が多い方がいい。席を取るために並ぶ時間がもったいないので、時間の区切りを無くして1日中利用できるようにしてほしい。お弁当を食べられる飲食スペースを設置してほしい

- 卓球場の利用料金が施設によって異なるので統一してほしい
- B & G プールを今後も続けてほしい
- 空き家を公民館のような学習関連施設にして、通える時間を休日の日中にしてもらえると、会社員も通いやすくなる。平日の日中では、高齢者や専業主婦のような時間にゆとりのある方でないと通えない
- エレベーター希望。年齢が増えるにつれ階段が上げられなくなっていく
- 同じ時間帯を同じ人が何年も通して使用しているのは不公平だ。要望があれば1年・半年単位で変更出来るようにしてほしい
- 公共施設の最適な配置や総量の削減は大切だが、新しい施設のほうが利用者も増えるので、精査してメリハリをつけて実施してほしい。少子高齢化ではあるが、できれば未来を担う子ども達に有意義なものとなる施設、事業にお金をかけてほしい
- 公共施設の統廃合により、交通弱者はますます講座から遠のかざるをえない。それぞれの地区内にある集合所等に講師を派遣するほうが有効だ
- 施設使用料が安くなれば有難い
- 市の施設を貸教室として市民に「1部屋 “いくら”」で貸しだしてほしい。メディアライヴ等、築年数の比較的浅い施設を市民が広く使用できないのはムダだ。施設は市民がたくさん利用してなんぼではないか
- 駐車場が少ない。調理室がほしい
- 町内の集会所を利用した活動をしてほしい
- 年金生活者にとって、生涯学習を気軽に安価で学べる公民館などの施設は、生きる希望を与えてくれる最後の砦的な存在である

桑名市生涯学習推進計画策定のための
アンケート調査報告書

平成 28 年 3 月発行

編集／発行 桑名市総務部生涯学習課
〒511 - 8601
三重県桑名市中央町二丁目 37 番地
電 話 0594 - 24 - 1244
E-mail shogakum@city.kuwana.lg.jp
市HP <http://www.city.kuwana.lg.jp/>